

# 大同大学紀要

第 59 卷

2 0 2 3

---

# 大同大学紀要

第 59 卷

2 0 2 3

---

**建学の精神**

**産業と社会の要請に応える  
人材の養成**

**大学の理念**

**実学主義**

**大同大学は  
実学の教育と研究を通じて  
産業と社会に貢献します**

## 目 次

---

発達障害のある子どもの母親の経験と主体性

—Aさんの語りから

日高直保 ..... 1

クリストファー・ホーランド『老婆たち』（翻訳・解説）

小西章典 ..... 11



## 発達障害のある子どもの母親の経験と主体性 —Aさんの語りから

### Mothers' Experiences and Subjectivity of Children with Developmental Disabilities: From Ms. A's Narrative

日高直保\*

Nao Hidaka

#### Summary

This study discusses the experiences and subjectivity of mothers of children with developmental disabilities. Specifically, we interviewed Ms. A, who was raising a child diagnosed with autism spectrum disorder and attention deficit hyperactivity disorder, and described her life story from the data obtained. Ms. A's experience consisted of a style of thinking and doing in which, when faced with a problem, she would consider its cause and take countermeasures; this style was demonstrated repeatedly in various situations related to her work and child-rearing. The events involved in confronting the possibility that her child had a developmental disability and reaching out to the hospital professionals for a diagnosis were crises that prevented Ms. A from initially exercising her own style. However, ultimately, her awareness of her child, her strong determination, and her desire for her child's "happiness" led her to think and act. Through our research, we were able to depict Ms. A as a person who undertakes child-rearing and work with her own thoughtful approach and action style as her main axis, and as one who enthusiastically and creatively acts with "joyful" thoughts and wishes for "happiness".

キーワード：発達障害、母親、主体性、ライフストーリー

Keywords : developmental disabilities, mother, subjectivity, life story

#### 1. 問題と目的

本研究は、発達障害のある子どもの母親の経験と主体性について論じたものである。

発達障害とは、「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの<sup>1)</sup>」と定義されている。発達障害者支援法の施行以来、発達障害という概念は広く知られるようになり、発達障害者への支援だけでなく、発達障害のある子どもの母親も支援を必要とする

と認識されるようになった<sup>2,3)</sup>。

発達障害のある子どもの母親に関する研究において、大きなトピックの一つが母親の障害受容に関する研究であり<sup>4,5)</sup>、もう一つ大きなトピックは、母親が抱えるストレスや不安に関する研究である<sup>6)</sup>。たとえば、発達障害のある子どもの母親は、育児への負担感、将来への不安、自責感などが原因でうつ状態に陥りやすいと指摘されている<sup>6)</sup>。

一方で、発達障害のある子どもの母親に関するこれまでの研究は、障害受容や育児ストレスといったテーマに偏っており、葛藤する母親というストーリーが支

---

\* 大同大学教養部講師

配的であるという批判がある<sup>7)</sup>。沼田<sup>7,8)</sup>は、障害受容や育児ストレスといったテーマに限らず、日常生活の具体的な経験を丹念に分析することを通じ、「主体的な生活者としての母親<sup>8)</sup>」の姿を描くことを試みている。

障害受容や育児ストレス、そして葛藤といったテーマに限らず、発達障害のある子どもの母親の経験を描き出した研究として、遠藤<sup>9)</sup>の研究も存在している。遠藤<sup>9)</sup>は、発達障害のある子どもの母親の語りから、子どもの生活の代行業を「どこまでやるか<sup>9)</sup>」という葛藤を抱えながらも、周囲に働きかけながら「自ら能動的に支援を作り出す<sup>9)</sup>」母親の姿を記述している。「母親にとって子どもの可能性は自分の可能性<sup>9)</sup>」であり、状況に対して受動的になりがちな子どもと対になるかのように自らが能動的になり、子どもの可能性を実現すべく周囲に働きかけ、支援を生み出していく姿から、発達障害のある子どもの母親の「生き生きとした強さ<sup>9)</sup>」を遠藤は描き出した。

発達障害のある子どもの母親たちは、葛藤や迷いを感じながらも、自らの人生を主体的に生き、それぞれが独自の強さを発揮する存在である。しかしながら、「主体的な生活者としての母親<sup>8)</sup>」や母親の「強さ<sup>9)</sup>」といった、これまで主流であったテーマとは異なる視点から、発達障害のある子どもの母親の経験を論じた研究は少ない。そこで本研究では、発達障害のある子どもの母親の経験を記述すると同時に、母親の主体性を描き出すことを目指したい。

また本研究では、主体の定義として、「能動的そして創造的に行為を遂行するのが主体である<sup>10)</sup>」という村上の定義を採用する。遠藤<sup>9)</sup>が描き出した母親の能動性、すなわち「強さ」は、母親の主体性とも読み替えうるものであろう。本研究では、発達障害のある子どもの母親が、どのように能動的かつ創造的に行為する主体たりえるのか、言い換えれば、どのように主体性を発揮しているのかを検討し、発達障害のある子どもの母親に関する言説を豊かにすることを目指す。

## 2. 方法

### 2.1 調査協力者

発達障害のある子どもの母親である、40代の女性1名（Aさんと表記）を対象とした。

### 2.2 調査協力者

1対1の半構造化インタビューを行った。インタビューの時間は2時間ほど、全1回実施した。インタビューは、プライバシーが守られる環境で行われた。インタビューでは、「母親になられる前後からのご経験につ

いて、おうかがいできれば」という問いを皮切りに、Aさんが幼少期の頃から現在に至るまでの経験を聴取した。

### 2.3 倫理的配慮

研究協力に際し、仁愛大学研究倫理委員会より承認を得た。インタビューに際しては、「調査協力へのお願い」および「同意書」の書面を用いて研究内容の説明を行い、面接内容の録音、記録も含めて同意を得た。加えて、インタビューの途中でも中止が可能であることを十分に説明した上、研究の途中で協力を中止した場合でも、不利益を被ることは無いことを保証した。また、研究の発表に際しては、原稿をAさんに渡し、誤りや発表を希望しない点が無いかなど、内容に関する確認をおこなっている。

### 2.4 分析方法

#### 2.4.1 ライフストーリー研究について

本研究では、小林<sup>11,12)</sup>および村上<sup>13,14)</sup>のライフストーリー研究に倣い、インタビューで得た語りからAさんのライフストーリーを記述した。ライフストーリーとは、「人間の生きられた経験を言葉で表現するもの<sup>15)</sup>」を意味し、ライフストーリー研究とは、「ある人たちのライフを描くために行われる<sup>12)</sup>」研究である。

ライフストーリー研究の意義の一つは、社会において支配的なストーリーとは異なるストーリーを示しうる点にある<sup>16)</sup>。以上を考慮すれば、個人の語りを詳細に分析するライフストーリー研究は、発達障害のある子どもの母親に関する言説を豊かにすることを目指す上で、方法として適切であるといえよう。

また、複数人へのインタビュー・データを混ぜることで失われてしまうデータの個別性も存在している<sup>16,17)</sup>。よって本研究は、個人の語りを詳細に分析する一事例研究の形をとる。個別性を尊重した記述を行う中で、新たなストーリーの可能性を描き出すことが、発達障害のある子どもの母親に関する言説を豊かにすることに結びつくだろう。

#### 2.4.2 分析について

分析は、小林<sup>11,12)</sup>が提示した「クロノロジーによる編集<sup>12)</sup>」の手法と、村上<sup>13,14)</sup>による「語りのディテールと文脈を尊重した細かい読解<sup>14)</sup>」の手法をもとに行なった。詳しい分析手法は以下の通りである。

ライフストーリーの記述に際する「クロノロジーによる編集<sup>12)</sup>」とは、個人の語りを、語りに含まれる時間の流れに注目して編集することである<sup>11,12)</sup>。ライフストーリーの記述は、個人の語りを、他者にも理解できるよ

う時系列にそってまとめながら、語りに含まれる様々な意義を解釈するという手順でなされうる<sup>11,12)</sup>。

以上の方法をもとに、Aさんの語りを、母親となる以前からインタビュー時までの経験としてまとめた。具体的には、はじめにAさんの語りを繰り返し読み、その内容を把握した。次いで、主たるライフイベントや、語りに関してキーワードとなっていた言葉に注目しながら、Aさんの語りを時系列に沿ってまとめた。

また本研究では、語りの内容だけでなく、Aさんの語りにみられる特徴にも注目した分析を行った。個人特有の言葉の使用法、繰り返し用いられる単語や口ぐせ、そして文法の崩れといった語りの特徴に注目し、その意味を分析することで、語られた経験の時間・空間構造や行為の成立過程といった、個人の経験の成り立ちを描き出すことができる<sup>13,14,16,17)</sup>。

本研究でも、ライフストーリーの記述に際し選び出された語りを中心に、語りにみられる特徴を分析することでAさんの経験の成り立ちを描き出し、ライフストーリーの記述を厚くすることを試みた。

### 3. 分析結果

以下の記述において、「」が付けられた語句や語りは全てインタビューの語りからの抜粋である。逐語録から引用した部分では、重要な語りに下線を引き、語りの省略や補足説明は〔〕内に記載した。

Aさんは、中学生になる息子(Bさんと表記)を育てる二児の母親である。Bさんは、小学1年時に自閉スペクトラム症および注意欠陥・多動症と診断されている。本章では、Aさんが母親となる前の経験を含めた、Aさんのライフヒストリーを記述していく。

#### 3.1 母親となるまでのAさんの経験

##### 3.1.1 Aさんの思いと思考と行為のスタイル

インタビューは、Aさんが行なっている仕事に関する語りからスタートした。Aさんの語りおよび、経験における特徴が明確に表れている部分なので、はじめに引用したい。

H: お母さんになられる以前から、発達障害に関するお仕事をしていました。

A: そうです。もともと私は障害福祉が専門で、大学でも社会福祉で障害をずっと学んでたので、卒業後はそういった福祉関係の事業所さんのほうにお世話になっていました。その中でも特に、今はもういわれないけど、アスペルガー症候群っていうグループの人たちに対してすごい興味があった

というか。自閉症、今はあんまいわないですけど、自閉症のどっちかっていうと知的に障害のある自閉症の方、こだわりが強かったりとか、同じことを繰り返すとか、突然パニックになるとか、他害・自傷があるみたいな方がすごく好きで。すごく好きっていうと、ちょっとあれですけど。パニックになったりするのって何かしら原因があるじゃないですか。それを探ってって「これだ」っていうのがばしっと見つかった時がすごい楽しいなっていうので、その方の支援がすごい好きだったんですよ、もともと。

まず、Aさんの語りに見られる特徴を指摘したい。上記の語りでは、「すごい」「すごく」といった言葉が頻出している。「すごい」や「すごく」といった強調表現が用いられる際は、Aさんを強く印象付け、その後の人生に影響を与えるような事柄が語られることが多い。この場面でも、「すごい興味があった」「すごく好き」であった発達障害の当事者について語られている。そして、「すごい」や「すごく」と強調して語られる思いが、Aさんの職業選択に結びついていく。

また、上記の語りでは「楽しい」という思いに言及されている。「パニックになったりする」という事態の原因を探り、「「これだ」っていうのがばしっと見つかった時」が「すごい楽しい」のであり、「その方の支援がすごい好き」なのである。問題への直面と原因の探索、そして対処という一連の思考と行為のスタイルは、「すごい」と強調される「楽しい」思いとともに、Aさんの仕事や子育てにおける主軸となっていく。

##### 3.1.2 Aさんのスタイルのルーツ

そしてこのスタイルは、Aさんの小学生時代のエピソードと繋がっている。時間軸が前後するが、Aさんの経験を理解する上で重要な場面なので、記述しておきたい。以下の場面は、Aさんの母親が教員として務める支援学校でのイベントに、Aさんが参加した場面である。

A: なぜか、私と弟と一緒に動物園に行ってるんです。その時に、1人の男の子がうちの弟の頭をかんだんですね。多分小学校の時ぐらいと思うんです。これ、ちょっとあんまり覚えてないけど。頭をかんだ。泣きますよね。そしたら、親だったらどうすると思います？普通、怒るじゃないですか、かんだ子を。その時にうちの母は「何か嫌なことがあったんだわ」みたいな感じで「何があった？どうした？」みたいな感じで、怒らずに原因を探し始めたんで

すよ、その起こった〔出来事の〕。あれ、ちょっとすごい衝撃的だったから多分覚えてると思うんだけど、「何でこの人、自分の子どもがかまれたのかんだやつを怒らないんだ」みたいに思った記憶があるんです、小っちゃい時に。その場面しか覚えてないですけど。ただ、何かあるたびにそこがリフレインするっていうか、思い出されて。

小学校とかに特別支援学級とかがあるじゃないですか。その子たちが例えば授業中とかに突然大きい声出したりとか、交流学級でいる時とかにしても、そう思ったんですよ、私も。母が多分そうやって言ってたからやと思うんですけど。何か困ることがあるんだろうとか、何が嫌だったんだろうみたいな。

引用した語りの冒頭で「なぜか」と語られていることから、「私と弟と一緒に動物園に行ってる」理由について、Aさんは覚えていない様子うかがえる。しかし、そのイベントにて、Aさんの母親が勤めていた支援学校の生徒が「弟の頭をかんだ」一連の出来事ははっきりと記憶している。ここでも、「すごい」という言葉とともに、Aさんの人生に影響を与え続けている事柄が語られている。この時Aさんは、母親がその生徒を怒るものと考えたようだが、Aさんの母親はAさんの想像と違う行動をとった。「怒らずに原因を探し始めた」のである。母親のこの行動は、Aさんの想像を超えるものであったがゆえに、「すごい衝撃的だった」ようだ。そしてその「すごい衝撃」ゆえに、現在でもAさんの記憶に残されているのだろう。

また、「何かあるたびにそこがリフレインする」と、Aさんの母親が「怒らずに原因を探し始めた」場面が、今でも思い出されることが述べられている。続く語りでは、小学校の支援学級において、「授業中とかに突然大きい声出したり」する子どもがいた場合も、「何があった？ どうした？」とAさんが当時から考えていたことが語られている。「私も」という語り口から、「衝撃」をもたらした母親の思考と行為がAさんに受け継がれている様子うかがえる。「リフレインする」のは、Aさんが目撃した場面だけではない。問題の原因を問い、それを発見し、そしておそらく対策を試みたであろう一連の母親の思考と行為そのものが、反復されていると推察される。なにか問題が生じたときに、その原因を考え、対処するという一連の思考と行為のスタイルは、Aさんが小学校時代に経験した「すごい衝撃的だった」出来事をルーツとして持つのである。

### 3.1.3 職業選択におけるAさんの思いと仕事におけ

## るスタイル

母親としてのAさんの経験を記述する前に、Aさんが仕事に臨む様子が語られた部分を引用したい。以下の語りから、Aさんの思いと、Aさんの思考と行為のスタイルが、自身の仕事に結びついている様子うかがえる。

大学卒業とともに、Aさんは「障害のある方の通所施設」に務めることとなるが、支援に対する考え方が合わず、「私が大学で勉強してきたことが、ここではもう全然活かされない」と感じ退職する。その後、中学校教諭として勤めるが、職員室の雰囲気「耐えられなくて、もう辞めるって辞めた」。それからの経験を、Aさんは以下のように語った。

A: 教員を辞めてから、重度の自閉症の人たちのことが忘れられなくて、やっぱりもう一回福祉をやろうと思って、大きい社会福祉法人さんがちょうど募集をしたので、そこに入ったんですよ。そして、たまたまその年にサマースクールっていうのを立ち上げる予定があって、その法人が。サマースクール要員として採用されたんです〔中略〕。でも、その後、すぐまた現場のほうに戻って、10年ぐらい作業指導員とか生活支援員っていう形で障害のある方と一緒にお仕事するっていうのをやってきたんですよ。私がやってきたのは、その人たちがどうしたら働きやすいかっていうのを考えるっていうのが私のお仕事で。例えばお仕事してるところを見て、前傾姿勢になって働いてると腰痛くなるじゃないですか。でも、前傾姿勢ってことは机が低いってことでしょ。だから、もうちょっと台を高くすればやりやすいかなみたいなのを観察して、作業環境を調整するみたいな仕事をずっとしてて。

教員を辞めた後、Aさんは、「重度の自閉症の人たちのことが忘れられな」という思いを抱き、再び福祉分野へと戻っていく。Aさんが「忘れられない」ことは、「すごい衝撃的だった」母親の行為であり、「すごい興味」があった「重度の自閉症の人たち」の存在である。「すごい」「すごく」という言葉と共に、「忘れられない」事柄が語られ、それらがAさんの人生に強い影響を与えている様子が描かれる点は、ここでも共通している。

「サマースクール」のスタッフを経験した後に、Aさんは、成人を相手とした「作業指導員とか生活支援員」を10年近く務めることになった。上記の引用では、仕事の内容が具体的に描かれている。作業員の「腰〔が〕痛くなる」という問題に際し、Aさんは状況を観察し、

「前傾姿勢になって働いてる」、「ってことは机が低いってこと」と原因を発見する。そして、「もうちょっと台を高くすればやりやすいかな」と対策を講じる。問題の発生に際し、原因を発見し対策する、という一連の思考と行為のスタイルは、以上のような形で、仕事においても発揮されているのである。

その後 A さんは、平成 24 年に制度化された相談支援事業の仕事に就き、子どもと親支援を中心とした活動を行なっている。

## 3.2 母親となった A さんの経験

### 3.2.1 子育てにおける「不思議」な体験とその意味

続く本節では A さんが B さんを出産した後の経験を記述していく。B さんは 0 歳の頃より保育園に通っていたが、「2〜3 歳ぐらいの時」から登園しぶりが見られ、「すごい大変だった」と語られた。その他にも、「今考えたら」発達障害の特徴と考えられる様子が、「2〜3 歳ぐらいの時」から見られはじめる。

A：私、すごい音楽が好きなので演奏会とかによく行くんだけど、子どもも 0 歳から入れるみたいな演奏会とかに連れて行ってたんです、上の子も下の子も一緒に。そしたら、2〜3 歳ぐらいの時に「B さんが」会場にとにかく入らなくて「やだ、やだ」ってすごい泣くんです。それまでは入ってたんですけど、急になんかそんなふうになったから、しょうがないからずっと演奏会中、外をぐるぐる散歩したりとかしてて。

今考えたら、発達障害だから、聴覚過敏あるんですよね。聴覚過敏だったんだと思うんです。演奏会で音が嫌だとか。当時はこんな仕事をして、たくさんのそういった「発達障害のある」お子さんたちと出会ってるにもかかわらず、ほんとにイコールにならなかった。「何でこんなに嫌なんだろう？」と思ってたんですよ。大きい音、ずっとこうやって「耳を塞いで」たりとかするんです。でも、イコールにならないんだね。これ、不思議だね。他のお子さんとか見たら「あ、発達だね」とか思うけど、自分の子の時は全然思わなかった。

A さんは「すごい音楽が好きなので演奏会とかによく行く」のであるが、一緒に連れて行った B さんが、「やだ、やだ」ってすごい泣く。演奏会の会場に入ることを「すごい」嫌がったのである。今から振り返ると、「聴覚過敏だったんだと思う」が、当時の A さんは「何でこんなに嫌なんだろう？」という問いにとどまっている。発達障害のある子どもと多く出会っている

が、「ほんとにイコールにならなかった」。つまり、B さんが発達障害である可能性を「全然思わなかった」のである。ここでは、問題に際し、その原因を探るという A さんの思考スタイルが発揮できていない。そしてそのような状況を振り返り、A さんは「不思議」と表現しているのであろう。自身が従来の思考スタイルを維持できなくなっていること、それにより、B さんが発達障害である可能性に思い至らなかったことに対し、A さんは「不思議」さを感じていると推察される。

A さんは、B さんが発達障害である可能性を考えることなく、保育園生活を送っていたと語った。また、「保育園はほんとに手厚く見てくださって、[B さんへの]理解のある先生方で楽しく通ってた」状況であった。しかし、保育園に続き進学した小学校では、担任に「理解してもらるのは難しい」と A さんが感じる状況となってしまう。

A：小学校に上がってから、とにかく絵とか字を書きたがらないっていうことがあって。でも、こっちも分かんないから、1 年生の時なんかは結構、必死でやらせてたわけです。夏休みに絵日記を書かないといけないうってなって。3 枚。その頃ぐらいには、「もうこの子、絶対特性がある」って分かってたんですよ。こんだけ字を書きたがらないとかおかしいと思って。多分すごく嫌なの。汚いし、字も。苦手さあるんだなと思ってたから、ちょっとこの子に合わせた感じでやってこうみたいな感じで家族とそんな話になって。日記も書けるとこ、頑張って書こうって言って、頑張って書いたんです。

遊園地に行った絵日記を書いたんです。2 泊 3 日行ってたから、3 日間とも遊園地の話を書いた。絵はとにかく描けない。自分の思ってるもの、イメージしたものを同じように表出することができないから、もう「嫌だ、嫌だ」って言ってたのを頑張ってキャラクターの絵を描いたんです。彼なりに頑張った。これが精いっぱいだと。これ、3 つとも遊園地だから 3 枚ともそうやって書けばいいよって言って、書いて、出したら、やり直して返ってきたんです。宿題の。「遊園地以外のことを書いてください」って言われたの。その時にこれはもう駄目だと。先生はこれを見ても、彼がどんだけ一生懸命やったかってことが伝わらないし、理解してもらうのは難しいなと思って。

上記の語りからは、A さんが B さんの特性に気づいている様子がうかがえる。演奏会のエピソードも含め、A さんは B さんが「すごい嫌」なことを察知している。

そしてその気づきが、「おかしい」という違和感を生じさせ、「この子、絶対特性がある」という気づきに結びついたのであろう。さらに A さんは、絵を描くことの「苦手さ」についても、「自分の思ってるもの、イメージしたものを同じように表出することができない」と原因について考えている。その上で、「この子に合わせた感じでやっとう」という対策が打ち出されている。A さんの思考と行為のスタイルが、ここでは復活しているといえよう。

B さんの抱える「苦手さ」とその原因を考え、3 枚の絵日記を全て遊園地に関する内容にするという対策を取ったが、担任からは「遊園地以外のことを書いてください」という返答が返ってきた。この時 A さんは、「苦手さ」がありながらの B さんの頑張りが「伝わらない」、「理解してもらうのは難しい」と考え、医療にかかり支援を受けることを決断する。

そして、医療にかかるまでの経験について語られた場面において、「不思議」という言葉が再び登場した。

A: ちょっと医療にかかって診断書もらってちゃんとした支援を受けようと思って、大学病院に電話をするんですけど、これが電話ができない。電話できないの。これ、ほんとに不思議だね。できないんですよ。

H: 電話できない?

A: 電話できない。何回か、私、仕事で大学病院電話することあるから、自分の仕事の携帯に大学病院の電話番号も入ってるんです。それ出して、押せばかかるんだけど、押せないんです。「今日はいつか」とかになっちゃうの。それを何回かやって、もう目つぶってギュッと押した。もうかけようと思って。で、予約取って行きました。で、いろいろ検査。話して「ちょっと特性あるかもね。アンケート取りましょう」みたいな感じでアンケートを学校に書いてもらって、うちでもアンケート書いて持ってって「ASD と ADHD の診断出ますね」みたいに言われて「それでちょっと先生に配慮してもらいたから診断書書いてもらっていいですか」って言って書いてもらって。

受付でもらって、〔診断書を〕見た時に「ああ、こんな気持ちか」ってなりました、他のお母さんたちが。ちよつとうまく表現できないんだけど。私はこの仕事をしているからある程度理解があるつもりなんです。発達障害に関しても、すごい困り感の強い子どもたちっていうのも理解してるつもりだし、他のお母さんに比べたら多分免疫があるんです。発達障害って言葉に、ASD、ADHD って言葉にも

すごい免疫があるはずなのに、自分の子どもの名前が書いてあって、その下に診断名「自閉症スペクトラム、注意欠陥多動性障害」って書いたのを見た時は「ああ、お母さんはこんな気持ちになるんだな」と思いました。

B さんの抱える「苦手さ」という問題に際し、発達障害の可能性という原因を考え、A さんは医療機関にかかるという対策を講じようとする。しかし、「大学病院に電話をするんですけど、これが電話ができない」。問題に際し原因は考えられているが、対策を講じる段階になると、実行に移せない。ここでも、A さんの思考と行為のスタイルが発揮できていない。この時に登場する言葉が、「不思議」という言葉だ。この言葉は、A さんが通常通り思考や行為できない状況について述べる時、用いられているといえよう。そして、現在から振り返っても、なぜ行為できなかったのか A さん自身でもその原因がわからないため、「不思議」なのであろう。

そして、「今日はいつか」という逡巡を何度か繰り返したのち、「もう目つぶってギュッと押した」。繰り返される「もう」が、A さんの覚悟を表しているだろう。

「目つぶって」電話のボタンを「ギュッと」押すという行為は、電話がかかるかどうかの結果を偶然に任せるような身振りであろう。病院に電話をかける行為は、自身のスタイルを通常通り発揮することが難しい状況下において、強い覚悟のもとなされたと推察される。

診断に際し A さんは、「ちよつとうまく表現できない」気持ちになったことを語っている。「発達障害って言葉に、ASD、ADHD って言葉にもすごい免疫があるはず」であるからこそ、A さんが感じた気持ちが際立ったのであろう。「ああ、お母さんはこんな気持ちになるんだな」という語りからは、診断に際し、専門家としての知識や考えは無効になり、「すごい免疫」があるわけではない「他のお母さん」たちと同じ心境になった、と A さんが考えている様子がうかがえる。

### 3.2.2 子育てにおいても発揮される A さんのスタイル

診断を受け、A さんは学校へとおもむき、「いろいろ配慮のお願い」をする。結果として、学校側の対応が変わり、小学 2 年時までは「いろんな配慮をしてくれてなんとか過ごせた」と A さんは語った。しかしながら、小学 3 年時には「相性がとにかく悪い」先生が担任となってしまう、「全く配慮が受けられない環境」となってしまう。この時も A さんは、学校側に働きかけ、校長や担任、特別支援の教員を含めた四者での面接の場を設け、なんとか B さんにあった配慮をしてもらえるよ

う行動していた。

その後、小学4年時より「すごくいい先生に当たったら安心したのか、学校行かなくなっちゃった」時期が生じる。その時もAさんは、校長と相談し、学習支援や心理的支援を行う学生サポーターを付けてもらうという形で、「週に1回」Bさんが学校に行けるような環境をセッティングする。そして、小学5年時より別室登校が可能になり、小学6年に進級してから、毎日学校へ通うようになっていた。

しかしながら、中学校に進学すると、「もうダメでしたね、全然」という状況に変わる。最も大きな要因は、部活動であった。Bさんはサッカーが好きであったため、サッカー部に入部するが、「[Aさんの見立てでは]DCDだから自分がイメージしてるように体が動かないし、運動神経すごい鈍い」。そのため、「真面目にやれ」と「先輩とかから」言われてしまい、「B君なりに真面目にやってるんだけど、うまくいかない」状況に陥ったのである。

その時から、現在に至る流れについて、Aさんは以下のように語った。

A: それ〔部活動〕がきっかけもあって学校にほんとは行けなくなっちゃって、今中3だから、中2の秋から学生サポーターさんがまた入ってくれるようになったんです。それはこっちから頼んで。別に学校で勉強しなくてもいいから、学びのきっかけをなくしたくない。彼が学びたいと思った時に学べるっていうふうなことはちょっと残しといてあげたいから〔中略〕週に2回。その週に2回だけ今は学校行ってるかな。

中1の時にD駅前にある放課後等デイサービス、完全個別療育の事業所なんですけど、そこに週に1回、行くようになって。それ、今でも行ってるんだけど。すごく楽しく行ってる。〔加えて〕今年の6月から不登校のお子さんたちの居場所っていうので、NPO法人を〔Aさんも〕一緒に立ち上げたんだけど、そこに毎週月曜日活動をしに行ってる。

Aさんが重要視しているのは、「居場所」と、「学びのきっかけ」を確保することである。学校に行けなくなったという問題に際し、Aさんは一因として部活動を想定する。そして、学校に行けなくとも、「学びのきっかけ」を確保できるように、さらにBさんが家以外でも「居場所」を得られるように、対策しているのである。その対策の内実が、「学生サポーター」への協力依頼であり、デイサービスやNPO法人の利用である。特にAさんは、自らNPO法人を立ち上げると言う形で、Bさ

らだけでなく、他の「お子さんたち」の「居場所」づくりも実行している。問題に際し原因を考え、対策するという思考と行為のスタイルが、子育てと仕事、両者において発揮されている様子が見えてくる。

### 3.3 現在に関するAさんの語り

#### 3.3.1 子育ての経験を仕事へと活かすAさん

Aさんの経験において、自身の仕事とBさんの子育ての経験は、密接に結びついている。本節では、両者の結びつきがどのようにAさんの現在に結実しているかを描き出したい。

インタビューにおいて、Aさんの仕事に関連して語られた話題の一つが、ゲームに関する話題であった。Aさんは、ゲームに関する相談を受けることが多いという。そして、「不登校のお子さんのお母さんなんかは、「ゲームがあるから学校行かないんだ」とおっしゃる」ことが多いが、Aさんは違う考えを持っていた。Aさんは、子どもたちにとってのゲームを「居場所」と考えているのである。

Aさんが考える「居場所」とは、子どもが「自分の価値を見つける」ことができる場所であり、時に人を「癒してくれる」場所であると語られた。学校が「居場所」とならない場合でも、別の仕方で「居場所」を確保する道が存在するのであり、「そういった場所〔自分の価値を見つける場所〕が必要」とAさんは考えている。そしてこの考えは、ゲームが大好きであるBさんの様子を見る中で生み出されており、Bさんを育てる中で、学校以外での「居場所」となりうる存在としてゲームがある、と考えるに至ったことが話された。

以上の考えをふまえ、仕事と子育て、両者の結びつきについて述べられた語りを引用する。

H: このお仕事をなさってたからこそ、Bさんを理解する上で助けになったこともあるし、Bさんがいらっしゃったからこそ、このお仕事で道が広がったというか。

A: そうそう。いろんな人たちをほんとに前向きに受け入れることができるし、お母さんのしんどさもやっぱりすごく分かるし、子どもたちがなぜそれを選ぶのかっていうことも理解できるし。もちろん子どもには幸せになってほしいと思うけど、それと同じぐらい、それに関わってるお父さんお母さんにも幸せになってもらうためにはどうしたらいいかな？って考えられる。自分がやっぱりそうだったから、そういうふうと考えられるようになったんで。それはB君がいなかったら、多分なかったと思う。だって、それだったら病院に電

話するとか診断書もらった時の気持ちとか、絶対分かんないもんね。って思うと、そこはほんとにおかげさまだなっている感じです。

Bさんを育てた経験により、Aさんには親と子ども、両者への理解がもたらされている。「お母さんのしんどさもやっぱりすごく分かる」とAさんが語る背景には、Aさん自身が、「病院に電話するとか診断書もらった時の気持ち」を体験した経験があるのだろう。自身の思考や行為のスタイルを発揮できず、専門家としての知識や考えが無効になる経験が、専門家ではない親の「しんどさ」を理解する道を作り出す。

また、Bさんを育てている経験が、「子どもたちがなぜそれを選ぶのか」を理解することへと結びつく。Bさんがゲームに熱心に取り組むのは、「自分の価値を見つける」ためであり、「居場所」を作り出すためとAさんは考えていた。子どもたちが選択を行い、何かに取り組む背景には、自分にとっての価値、そして「居場所」の創造、という理由が存在している。Aさんは、時には問題とみなされてしまう事柄についても、その原因を考える思考スタイルを維持しながら、Bさんを育てる経験もふまえ、子どもの選択を理解し、肯定する姿勢を取るに至っているといえよう。

そして、自らの経験は、「もちろん子どもには幸せになってほしいと思うけど、それと同じぐらい、それに関わってお父さんお母さんにも幸せになって」ほしいという思いへと結実していく。その思いとともに、子どもだけでなく、親も幸せになるためには「どうしたらいいかな？」という問いが生まれる。本章の冒頭で引用した語りにおける、「何があった？ どうした？」という母親の問いかけが、ここでも「リフレイン」しているのである。Aさんは、子どもや親のおかれた状況、あるいは問題に対し、「何があったのか？」と原因を考え、「どうしたらいいかな？」と問いながら対策を講じていく。一連の思考と行為のスタイルが、今現在も生き続けており、その根源に母親の問いかけが存在している様子が見えてくる。そして現在では、「どうした？」という問いかけが、ただ原因を考え対策するというだけでなく、親子の「幸せ」を願うAさんの思いが込められたものへと変化している。

また、引用した語りの最後で、親と子ども、両者への理解がもたらされたことについて、「そこはほんとにおかげさまだなっている感じ」とAさんは述べている。インタビューにおいて、「おかげ[さま]」という言葉は3回登場していたが、必ずBさんの「おかげ」という用いられ方をしていた。インタビューの別の箇所では、「[Bさんのおかげで] 価値観みたいなものがすごく変

わったなとは思いますが」と語られており、Aさんは、Bさんを育てる経験を、自らの価値観を大きく変えた経験と捉えている様子であった。Bさんの「おかげ」で、仕事にも役立ちうる経験と、Aさん独自の価値観を持つことが可能になったのである。

### 3.3.2 これまでの経験を「楽しい」と語るAさん

最後に、これまでを振り返ったAさんの思いを引用したい。

H: これまでを振り返って、どんなふうに思いますか？

A: そうですね、あんまり考えたことないけど、出会うべくして出会ったんだって感じがする、B君とは。なんかすごいそんな気がする〔中略〕小学校の時に弟が頭をかまれたところからの記憶しかない。その前のことは分かんないけど、そこからずっと、結局、考えてることとか感じてることとか、やってみることとか、子育ても仕事もみんな一緒だもんね。それがすごく嫌だとか、しんどいとかは全然ないです。基本的に好きなので、そういうことを考えてるのが、めちゃめちゃ楽しいなと思いますね。

Bさんとは、「出会うべくして出会ったんだって感じがする」とAさんは述べる。そして続く語りでは、現在のAさんに強い影響を与え続けている「小学校の時に弟が頭をかまれた」出来事から、「ずっと、結局、考えてることとか感じてることとか、やってみることとか」が「みんな一緒」であると振り返られている。「子育ても仕事もみんな一緒」という語りからは、Aさんの思考と行為のスタイルが、子育ての仕事を支える主軸となっている様子が見えてくる。

またAさんにとっては、「小学校の時に弟が頭をかまれた」出来事からはじまる、「子育ても仕事も」含めた様々な経験が、Bさんとの出会いに収斂するかのよう感じられているのであろう。そのため、Bさんとは「出会うべくして出会った」と語ることが可能になっていると推察される。

そしてAさんは、さまざまな経験をふまえた思いを「めちゃめちゃ楽しい」と語っている。「楽しい」という言葉は、本章冒頭の語りにおいても、自らの思考と行為のスタイルについて語る際に用いられていた。Aさんにとっては、問題の原因や対策を考えることが「めちゃめちゃ楽しい」であり、自らの思考と行為のスタイルに沿って子育てや仕事に向かっているからこそ、自らの経験を肯定的に語ることも可能になっているのであろう。

#### 4. 考察

A さんの経験は、問題に直面した際、その原因を考え、対策を講じていくという一連の思考と行為のスタイルが、仕事や子育てに関する様々な場面において、「楽しい」思いとともに繰り返し発揮されることで成り立っている。そして、A さんの思考と行為のスタイルのルーツは、A さんが小学生の時に目撃し、「すごい衝撃」をもたらした母親の思考と行為であった。母親の思考と行為が、「リフレイン」という形で受け継がれながら、現在の A さんの思考と行為スタイルが確立されるに至ったといえよう。そしてそのスタイルを主軸に、A さんは仕事や子育てに臨んでいると考えられる。

思考と行為のスタイルは一貫しているのであるが、発揮に伴う A さんの思いには変化がある。「すごい衝撃」とともに生まれたスタイルは、「すごい楽しい」という思いを A さんに生じさせるだけでなく、A さんが支援する子どもや親の「幸せ」を願う思いを込めて発揮されるものへと変化しているのである。問題が生じた際に漠然と疑問を感じていた小学生時代から、問題を発見し対策することに楽しさを見出しながら仕事をする段階を経て、他者の「幸せ」のために自らのスタイルを発揮するようになるという変化は、A さんが能動的かつ創造的に行為できるようになる過程、言い換えれば、A さんが主体性を発揮していく過程を示していると考えられる。思考と行為のスタイルは一貫しているが、A さんはそのスタイルを、より主体的に発揮するようになっていえる。

以上の点について、詳しく見ていきたい。A さんが主体性を発揮する契機となった出来事の一つが、「すごく好き」「すごい興味」があると感じた発達障害の当事者との出会いである。この出会いと思いを契機に、A さんは職業選択を行い、自らのスタイルを仕事に活かすという形で主体性を発揮していく。また、A さんが他者の「幸せ」を願う段階に至るに際しては、B さんを育てる経験が重要な役割を果たしていると考えられる。子どもや親の「しんどさ」を、専門家としてではなく自らのものとして経験し、両者への理解を得たことが、両者の「幸せ」を願う思いへと結実する。そして、「幸せ」の実現という新たな目標に向け、支援者として主体的に行為するよう、A さんは変化しているといえよう。

A さんの主体性に関しては、A さんが自らの経験を「おかげさま」「楽しい」と語っている点も注目すべきポイントであろう。自らの経験を肯定的に意味づけていることも、A さんが能動性と創造性を発揮した結果

であり、A さんの主体性のあらわれであると考えられる。

ただ A さんの経験においては、自身の思考と行為のスタイルを発揮することが難しい場面も存在していた。B さんの行動の原因として発達障害の可能性を考えると、医療機関の受診に際し電話をかけることが、「不思議」とできなかった場面である。A さんの経験において、発達障害の可能性への直面や、診断のため病院へ電話をかけるといった出来事は、A さんが自らのスタイルを発揮できなくなる危機であったと考えられる。

この時、前者については、時間の経過と出来事の蓄積に伴う気づきが、後者については、逡巡がありながらの強い覚悟が、A さんを思考や行為へと引き戻していた。そして、気づきや覚悟が可能となった背景には、B さんの「幸せ」を願う A さんの思いがあると推察される。B さんを育てる経験が、「もちろん子どもには幸せになってほしい」という支援者としての願いに発展していることから、B さんの「幸せ」を願う思いが、A さんの経験における通奏低音になっていると考えられる。

本研究では、自らの思考と行為のスタイルを主軸に子育てと仕事に臨み、「楽しい」思いと「幸せ」への願いとともに、主体性を発揮する A さんの姿が描き出された。発達障害のある子どもの母親が、「主体的な生活者<sup>8)</sup>」であり、独自の「強さ<sup>9)</sup>」を持つ存在であることが、本研究からも示されたと言えよう。そして、発達障害のある子どもの母親が主体性を発揮していく過程は、個人のライフストーリーと切り離せない。自らの過去と、さまざまな人との出会い、「めちゃくちゃ楽しい」といったポジティブな思い、そして関わる人々、なによりわが子への「幸せになってほしい」という願いに支えられ、A さんは主体性を発揮していく。その中で生み出されているストーリーは、葛藤のストーリーではなく、「おかげさま」「楽しい」と経験を肯定的に意味づけたストーリーであることを指摘し、本研究を閉じたい。

#### 謝辞

インタビューにご協力いただいた A さんに感謝申し上げます。また、本研究は、JST 共創の場形成支援プログラム JPMJPF2108 の支援を受けたものです。

#### 参考文献

- 1) 文部科学省 (2004). 発達障害者支援法. [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/tokubetu/main/1376867.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/1376867.htm) (情報取得 2022/10/25)
- 2) 篁 倫子 (2012). 発達障害の理解と支援の基本. 柘植雅義, 篁 倫子, 大石幸二, 松村京子. (編), 対人援助職のための発達障害者支援ハンドブック

- (pp.32-41). 金剛出版.
- 3) 佐藤直子 (2020). 発達障害のある子どもを育てる母親の感情体験とその語り—感情労働の視点からの臨床心理学的考察. お茶の水女子大学心理臨床相談センター紀要, 22, pp.25-37.
- 4) 山根隆宏 (2012). 高機能広汎性発達障害児・者をもつ母親における子どもの障害の意味づけ人生への意味づけと障害の捉え方との関連. 発達心理学研究, 23(2), pp145-157.
- 5) 東村知子 (2012). 母親が語る障害のある人々の就労と自立—語りの形式とずれの分析. 質的心理学研究, 11, pp.26-44.
- 6) 野呂健二, 金子一史, 本城秀次, 吉川 徹, 石川美都里, 松岡弥玲, 辻井正次 (2010). 広汎性発達障害児の母親の抑うつについて. 小児の健康と神経, 50(3), pp.259-267.
- 7) 沼田あや子 (2016). 発達障害児の母親の語りの中に見る家族をつなぐ実践—「葛藤の物語」から「しなやかな実践の物語」へ. 質的心理学研究, 15, pp.142-158.
- 8) 沼田あや子 (2018). 発達障害児を育てる母親の迷いの語りの探求—他者は母親のなにに寄り添うことができるのか. 心理科学, 39(2), pp.44-57.
- 9) 遠藤野ゆり (2021). 発達障害の母親の生き生きとした語りからその強さを読み解く. 村上靖彦 (編), すき間の子ども、すき間の支援—一人ひとりの「語り」と経験の可視化 (pp.50-83). 明石書店.
- 10) 村上靖彦 (2008). 自閉症の現象学. 勁草書房.
- 11) 小林多寿子 (1995). インタビューからライフヒストリーへ—語られた「人生」と構成された「人生」. 中野 卓・桜井 厚 (編), ライフヒストリーの社会学 (pp.43-70). 弘文堂.
- 12) 小林多寿子 (2005). ライフストーリーを書く/もちいる. 桜井 厚・小林多寿子 (編), ライフストーリー・インタビュー—質的研究入門 (pp.209-256). せりか書房.
- 13) 村上靖彦 (2021). 「声は出してないけど、涙ずっと流れてるんですよ。それで、『守ってあげないとな』って思いました」——社会的養護を経験したヤングケアラーAさんの語りから. 村上靖彦 (編), すき間の子ども、すき間の支援—一人ひとりの「語り」と経験の可視化 (pp. 223-271). 明石書店.
- 14) 村上靖彦 (2022). ヤングケアラーとは誰か—家族を“気づかう”子どもたちの孤独. 朝日新聞出版.
- 15) 小林多寿子 (2010). ライフストーリーの世界へ. 小. 林多寿子 (編), ライフストーリー・ガイドブック——ひとがひとに会うために (pp.vii-xii). 嵯峨野書院.
- 16) やまだようこ (2021). やまだようこ著作集第 5 巻 ナラティブ研究——語りの共同生成. 新曜社.

## クリストファー・ホーランド 『老婆たち』(翻訳・解説)

### Christopher Holland's *The Old Women*: A Translation with Commentary

小西 章典\*

Akinori KONISHI

#### Summary

London's Grand Guignol made an imprint in the history of British Drama in 1920 at the Little Theatre. In total forty-three plays had been staged there for two years. Among them Christopher Holland's *The Old Women* is representative of the repertoire. Here is a Japanese translation of this play of fear and terror.

キーワード：大戦間期イギリス演劇； グラン・ギニョル； 恐怖演劇

Keywords：British Drama between the World Wars; Grand Guignol; Play of Fear and Terror

1921年6月29日初演

---

ルイーザ  
ラ・ボニエス  
ラ・ノーマンド  
ラ・ボシュウ  
マダム・ロビン  
シスター  
某シスター  
医者  
住み込みの外科医

---

#### 第 1 幕

場面。水性白色塗料で塗られた小さな部屋。3つのベッドがあり、それぞれのそばには小さなテーブルがおかれている。上手と下手に扉。上手に窓。2番目のベッドと3番目のベッドのあいだに鑄鉄のストーヴ。聖母マリア像がかかげられた壁には棚。場面はノルマンディーのサン＝レジェール。

幕があがると、シスターが部屋の端にすわり、ロザリオを手にして祈りをとなえている。小休止。少し離れたところで鐘が鳴る。

上手からマダム・ロビン登場。

マダム・ロビン： シスター？

シスター（祈るのをやめて）： 少しお待ちになって。

マダム・ロビン： え、シスター、なんておっしゃったの。なにかしていらっしゃるってわかりませんでした。

---

\* 教養部外国語教室

シスター（祈りを終えて、聖牌に口づけをし、十字をきったときに）： ええと、なんのご用？

マダム・ロビン： 先生に言われて、わたしと子どもすぐに回診にむかうつもりだとお知らせにまいりました。

シスター： 承知しました。ありがとう。患者さんたちはもう大食堂を出ましたか？

マダム・ロビン： まだです、シスター。わたしは今晚それほどお腹がすいていませんでした。誰よりも先に出てきました。

シスター（眼鏡をかけて）： かぎ針編み細工をもってきてください。そこ、棚のうえ。

マダム・ロビン： わかりました、シスター。ベッドをととのえて、常夜灯を準備いたします。

シスター： すべてきちんとするように心して。散らかしっぱなしになっているものがないように。

マダム・ロビン（ベッドをととのえ、ベッドカバーをおりかえて）： おっしゃるまでもありません。わたしほど几帳面な人はいません。小さな自宅をかまえていたとき、すべての時間を費やして家中をきちんとしたものです。楽しかった。ずいぶん昔のこと。本当ですよ。

シスター（手を動かしながら）： ここに、精神病院にはどれくらいいるの？

マダム・ロビン： 40年。（思い返ししながら）40年。ドクター・デルベックの時代でした。彼のことを覚えておられないでしょ……もうお亡くなりです。住み込みの外科医は、ベルニエ先生と呼ばれていました……彼もお亡くなりです。それから、シスターがいらした。シスター・フェリシティと呼ばれていた——彼女もお亡くなりです——みんな死んじやった。あなたがそれを思い出させてくれることになるなんて、変ですね。（棚に行って、戸棚から常夜灯をとりだす。）

シスター： 治療が終わったのに、どうしてここに留まったの？ 身寄りがいなかったの？

マダム・ロビン： そうなんです、シスター。でも、ご存知でしょ、このように長く精神病院にいつづけると、外の世界に馴染むことなんてできないってこと。あなたのご親戚だってそんなもの言いたげな奇妙な眼でいつも眺めてくるでしょ。また気がふれるんじゃないかって思っているの。精神病院にいと知ったら、まるで疫病もちみたい、あなたのことを避けるわ。だから、たったひとつのことだけを求めて、サン＝レジェールに戻る方が幸せなの。ここで一生を終えるってことだけを求めてね。（上手舞台裏で音）

シスター： あれはなんでしょう？

マダム・ロビン： たいしたことではありません。マリーがまたやっているだけでしょう。ああ、わたしはこの子になりたいものですわ。

シスター： だれのことを言っているの？

マダム・ロビン（窓のいちばん近くにあるベッドをさして）： あら、ルイーゼさんです、ここでお休みの。わたしよりも幸運の持ち主。若い。いままでどおり幸せでいられる。本当なんですか、シスター、彼女がすっかり完治したってこと、すぐに家に帰ることになるってこと？

シスター（そっけなく）： そう言われています。

マダム・ロビン： 幸運なお嬢さん。シスター、彼女はいいとこの出なんです。わたし、ご家族のことをとてもよく存じ上げています。わたし、同郷の出なんです。

シスター（立ち上がって棚にかぎ針編み細工をおく。軽蔑して）： ふんっ！ その人たちは自分の子どもをずっと奇妙なやり方で育ててきた。そうでしょう……

マダム・ロビン： まあ！

シスター： 彼女はものをまったく知らない。

マダム・ロビン： 文字は読めます。

シスター： そう、読めます。でも、お祈りの言葉はひとつも知らない。彼女は神様のことすら信じていないのじゃないかしらってときどき思います。

マダム・ロビン： だからって彼女を責めてはいけません、シスター。そういうふうにご両親が育てたのなら、彼女が悪いのではないもの。まったくもって、自然の成り行き。

シスター： 神様への信仰心を持ち合わせていないってことが？ それを自然の成り行きだなんておっしゃるの！

マダム・ロビン： ええ、シスター。あなたにはまったくあずかり知らないことなのです——それについては、だれかほかの方が教えてくれますよ。

シスター： 彼女はとても頑固なお嬢さんです。悪い傾向の印がすでにでてきている。20回説き伏せて彼女を教会に行かせようとしてみました。でも、これまでに行こうとしてみたことがあって？ ありませんよ、彼女は。それで、ここを出たとしてどのような振る舞いを彼女に期待できるというの？ 信仰をもたない人というのは獣と同じです。（鐘が鳴る。）

マダム・ロビン（窓辺に向かう）： ああ！ みんなが休憩室から出ていこうとしている。それでは、わたしもまいります。あの2人にここで会いたくはな

いのです。

シスター： 誰のことを言っているの？

マダム・ロビン（2つのベッドを指して）： ここで寝ている醜い老婆たち。あの年老いた女ども。ラ・ボシュウとラ・ノーマンド、老いさらばえた邪悪な悪魔ども。

シスター： これこれ、マダム・ロビン。

マダム・ロビン： ごめんなさい、シスター——思わず口からこぼれ出ました。でも、どうも彼女たちのことを考えると、わたし、できません……

シスター： 彼女たちに気に食わないところがありますか——2人の憐れな精神を病んだ老婆たちに？

マダム・ロビン： 2人のとても危険な老婆たちです。悪魔そのものと言ってもいいくらい邪悪です。

シスター： わたしには決してそうは見えません。これまでとても従順で穏やかだとずっと感じてきました。

マダム・ロビン： そう、ご一緒のときは、そのようにして騙していたのです。狂った人は、ほかの人とまったく見分けが付きませんもの。いずれ、なかには邪悪な獣がまじっているとわかるでしょうし、偽善者がまじっているとわかるでしょうが、その人たちは、どのようにしたらあなたを騙すことができるのか思いめぐらし、たくらみを働かせているのです。彼女たちを信用してはだめ。あの2人の老いさらばえた魔女たちの出身地はどこですか？

シスター： わかりません。

マダム・ロビン： 彼女たちが言ったことは、本当ですか？ 娘たちを亡くした悲しみから気がふれてしまった、ってこと？

シスター： そうです。

マダム・ロビン： だから、いまでは女の子を見ると、彼女たちは必ずその子に嫉妬を抱いてしまうし、まるで災難の原因でもあるかのように、必ずやその子を痛めつけてやりたいと思ってしまいます。

シスター： 彼女たちが痛めつけたいのは誰だと思いますか？

マダム・ロビン： ここにいるあのお嬢さんです。

シスター： ルイーズさん？

マダム・ロビン： そう。この寄宿舍で仕事をするようになってから、これまでにたくさんのことに気がつきました。あの扉の反対側の隣室で休んでいる隻眼の老婆をご存知でしょう。

シスター： ああ、はい、ラ・ボニエス。

マダム・ロビン： なにがあっても、あの女をよきカトリック信者などとは呼べません。子どもたちを殺

して死刑宣告を下されたあの女。人食い女鬼、みんな彼女をそう呼んでいました。

シスター： 彼女は正気を失っていたの——狂っていたの。お医者さんたちの誰も彼もがそう言ったの。だから、放免になったの。

マダム・ロビン： うん、まったくそのとおり、彼女は他の患者たちと同室にさせていいような類の人間ではありません。彼女のような人専用の精神病院で、どこか別室に閉じ込めておくべきなのです。危険なのです。

シスター： 彼女は6年間も麻痺がつづいています。6年間ベッドから出たことが一度もないのです。恐れるところなどなにもありません……

マダム・ロビン： わたしには、そんなのはわかりません。

シスター： おびえてばかりが過ぎます。ここでは、どれも危険を冒すことなんてできないのです。精神病院には十分すぎるくらいに眼が行き届いています。女性用宿舎だけでも10人のシスターがいます。

マダム・ロビン： 日中はそうです。でも、夜はみんな放っておかれています。

シスター： それが規則ですから。

マダム・ロビン： わかっています。日中は朝から晩までへとへとになって、夜中は眠る。

シスター： 夜は祈るのです。あなたたちのために祈りをささげるのです。

マダム・ロビン： それはまったく結構なこと、でも、夜に見回りをしている精神病院もあります。ここではなさらない。

シスター： これまでに一大事が起こったことはないから。

マダム・ロビン： まだ起こっていない、ということかもしれません……でも……（寄宿舍に入ってくる入院患者たちの音が上手ならびに下手にする）入院患者たちがベッドに向かっているのだわ。

シスター： もう少しここにて、患者さんたちのお世話をするんでしょ、マダム・ロビン？ わたしはシスター・プラシードに今晚の典礼の件を伝えるに行かなければなりません。

マダム・ロビン： どういった典礼なのですか、シスター？

シスター： シスター・シュルピスが今朝帰天されました。今晚は信者全員でチャペルに安置されているご遺体の寝ずの番をしなければなりません。（上手へと退場。）

マダム・ロビン： おかわいそうに、シスター・シュル

ピス。本当に良い方だった、彼女。(下手から狡猾で悪魔のような顔をした皺だらけの2人の老婆ラ・ボシュウとラ・ノーマンドが登場。) ほら、来た。わっ! 大嫌い。(ラ・ノーマンドが先に登場し、あたりを見回してから振り向いて「ちょっと」と述べる。ラ・ボシュウ登場。彼女たちは低い声で話す。)

ラ・ノーマンド: あの娘、まだそこにいないの?

ラ・ボシュウ: 中庭を散歩しているにちがいないわ。

ラ・ノーマンド: そうね。ラ・ボニエスに会いに行きましょう。

ラ・ボシュウ: あの方もわたしたちが来るものだと思っているでしょ。

ラ・ノーマンド: わたしたちはあの方のことを待っているだけよ。

ラ・ボシュウ: そしてあの方が合図をしたら……

ラ・ノーマンド: 死の合図!

マダム・ロビン: そこでなにをブツブツ言っているの、2人して? (ラ・ノーマンドが笑う。) なにがおかしいの?

ラ・ノーマンド: そして彼は「おまえはシャンブールシーの小僧だね」と述べた。

ラ・ボシュウ: 彼は墓地の管理人にもチップをあげたんだが、当の管理人は「9時から8時までは閉鎖されています。誓って……それでは、そうあれかし」と述べた。

ラ・ノーマンド: アーメン(2人して十字をきる。)

マダム・ロビン(思わず肩をすくめて笑う): 老いさらばえたやつらだ。彼らを見るとときに笑いをこらえることができないの。

ラ・ノーマンド(部屋を横切ってルイズのベッドの前で立ち止まる): ほら!

ラ・ボシュウ: 頭、そこ……

ラ・ノーマンド: 足、そこ……

ラ・ボシュウ(笑いながら): さあ! さあ!

ラ・ノーマンド(笑いながら): さあ! さあ!

マダム・ロビン: ほら、やることはやってしまったも同然なんでしょ? 就寝しなさい。その子をどうしてひとりにしてあげられないの? 彼女があなたたちになにをしたっていうの?

ラ・ノーマンド: はっきりと口にしてはいけないこともあるのよね。

ラ・ボシュウ: 口にしてしまったら、不運がもたらされるのよね。

マダム・ロビン: ああそうね。そのことなら一から十まで承知しているわ。おや、ほらここ、こんないたずらで彼女を怖がらせて苦しめつづけるのなら…

…ああ、先日もあなたたちが彼女を転ばせようとしているのを見たわ……ええと、先生に言いつけてやるわ、そうすれば、あなたたちは2人とも拘束衣を着させられることになるわね。先日、先生があなたにしたように。(ラ・ノーマンドに対して)

ラ・ノーマンド(おびえて): ちくしょう、だまっていやがれってんだよ、え?(上手に退場。)

ラ・ボシュウ(彼女を追って): いやな野郎だね、汚らしいヒキガエルめ。(上手に退場)

マダム・ロビン: びっくりしたでしょ。あいつら、どこ行っちゃったの?(開け放たれた扉からのぞく。)

あそこにいるわ、ラ・ボニエスのベッドの脇。よくもまあ、あの3人にグラグラ笑うものなんてあるのかね! こちらを見て、怖い顔をしている……わたしを怖がらせておいて、それからやってしまうつもりなのね。あいつらと一緒に部屋で休むのはごめんだわ。(ルイズ登場。かわいらしく、内気で、繊細な、金髪の16歳の若い女の子。彼女は入り口からマダム・ロビンをながめる。)

ルイズ: ああ、マダム・ロビン。お目にかかれてとてもうれしいわ。では、まだここにいらっしゃるのですね?

マダム・ロビン: シスターを待っているの、すぐに戻ってくるわ。ええと、今日は幸せそうね、あなた!

ルイズ: おそらくそうだと思うのですが。

マダム・ロビン: それならあなたがここを発つことになるというのは本当だったのね? もうすぐに出かけることになるというのは?

ルイズ: そうだと思います。すっかり治りましたし。

マダム・ロビン: うれいしょ、え?

ルイズ: もちろん。会えないと寂しくなるなあと感じる人は、ここにはひとりしかいませんし、それはあなたのことなんですけど。あなたはとても親切にしてくれました。

マダム・ロビン: わたしが? ええと、それぐらいのこと、だれでもできますよ。それに、あなたこそわたしにとっても親切にしてくれたんですよ。贈り物をしてもらおうと、いつでも、わたしにもお恵みくださいました。

ルイズ: ここにはこんなにも多くの悲しみがあつて、わたしたちは幸せとあらばどんなものでもできる限り互いに与えあおうとしなければならないの。(あたりを見回す。)

マダム・ロビン: なに?

ルイズ: やつらはまだ来ていないわよね?

マダム・ロビン: ええ。そのなかに、ラ・ボニエスといっしょよ。

ルイーザ（おびえて）： ああ！

マダム・ロビン： どうしたの？

ルイーザ： なにも。

マダム・ロビン： なにか悪事をたくらんでいるんだわ。  
やつらはいつも一緒にいる。

ルイーザ： そうね。聞いて、マダム・ロビン。あなた  
になら話せる。あの3人の女がわたしを怖がらせ  
るの。そばを通るといつもわたしをじっと見てく  
るの、じつとよ。とくにラ・ボニエス。やつらのせ  
いで、わたし体中が冷たくなってしまうの。寄宿舍  
のそばを通ろうなんて勇氣、もうほとんどありま  
せん。やつら、なんだっていの？ わたしがなに  
をしたっていうの？

マダム・ロビン： なにも——やつら、狂っているの——  
無視しておきなさい。

ルイーザ： どうしようもないの、マダム・ロビン。怖  
がらせてくるんだから。

マダム・ロビン： そんなにまでひどく動揺させられる  
のならば、シスターにお話ししたらいいじゃない。

ルイーザ： 聞く耳をもとうとしてくれないの。お互い  
うまくやっていけないの。

マダム・ロビン： 信仰について、ですね。よし、そう  
だ。それなら、先生と面会したらいいじゃない。彼  
には話せるでしょ。彼はとても親切よ。

ルイーザ： そうですけど、勇氣がないの。ねえ……

マダム・ロビン： しっ！ シスターだわ（2人とも  
黙る。）

シスター（上手から登場しながら——ルイーザを見  
る）： あ！ あなたなの。あなたがすぐにここを  
発つかもかもしれないとドクターがおっしゃっている、  
そう耳にしました。

ルイーザ： そうです、シスター。そう思います。

シスター： 発つまえに自分が万事正常であるという  
ことを、たしかめなければなりません。

ルイーザ： そうですね、シスター。

マダム・ロビン： お手伝いするつもりです。

ルイーザ： 本当にありがとうございます。

シスター（ルイーザに）： 昨日はチャペルで会いま  
せんでしたね。日曜日でしたよ。どうしたのですか？  
（沈黙）理由はなかったのね。いましがた礼拝堂付  
き司祭にお会いしたら、「シスター、精神病院全体  
で告解をしたことがない入院患者はたったひとり  
しかいない——そして、その方はあなたの保護下  
にあります」とおっしゃっていました。わたしがその  
ような叱責をうけて心地よく思っているのです  
か？

ルイーザ： いいえ、シスター。

シスター： あなたはずっと重病だった。二度も死線を  
さまよった。

ルイーザ： わかっています。

シスター： このつぎはおそらく逃れられないでしょ  
う。それで、死が訪れて扉をたたき、魂を連れ去ろ  
うとすると、そのときになって告解をしたいと思  
うのですが、おそらくは時すでに遅いです。

ルイーザ： よして。よして。

マダム・ロビン（ルイーザへの傍白）： さあ、さあ！  
なんでもないわ！ シスターたるものそういった  
ことを言う必要があるの、それが彼女の人生の重  
要部分なの。おやすみなさいな、あなた。そら、そ  
ら、もうほんの少しの時間しかないわ——すぐに  
夜が明けてしまう。おやすみなさい、シスター。

シスター： おやすみなさい。（遠くで鐘が鳴る。）

マダム・ロビン（下手へと退場しながら）： 聞いて、  
帰天されたシスター・シュルピスのために鐘が鳴  
っている。

ルイーザ（鐘を聞きながら身震いして）： ああ、陰鬱  
な哀悼の鐘！（住み込みの外科医と連れ立って  
医者が上手から登場。）

医者： どうしてあの鐘は鳴っているの？ 誰か亡く  
なったの？

シスター： そうです、ドクター。シスター・シュルピ  
スが本日午前11時ちょうど、盛式ミサの最中に  
帰天されました。会衆の皆が彼女のベッドのまわ  
りに集っていました。

医者（アイロニーをこめて）： それで、そのあいだ入  
院患者たちはどうなったの？ 誰が面倒をみた  
の？

シスター：それほど長い時間持ち場を離れていたの  
ではありません。

医者： それが当然だと思いますよ。ここで報告してお  
くべきことはありますか？

シスター： いいえ、ドクター、万事いつもどおりでま  
ったく静かなものです。

医者： 平熱、暴れたり、発作を起こしたりすること  
もない？

シスター： はい、ドクター、まったくありません。

医者： よろしい。（住み込みの外科医に）行こう、ル  
ブロン。（退場して行こうとする。）

ルイーザ： シスター！

シスター： なに？

ルイーザ： 先生にお話ししたいのですが。

シスター： ドクターにそのお時間はございません。

医者（戻ってきて）： いやいや、ありますよ、シス  
ター。わたしになにかお願いしたいんですよね？

ルイーザ： そのとおりです、先生。どうかお願いします。

住み込みの外科医（医者に傍白）： かわいい子ですね。

医者： ええ。そうですね。

住み込みの外科医： オフィーリアを思い出します。金色の髪の毛をし、哀れをさそう面持ちですね、シスター。

シスター（そっけなく）： わかりません。

医者： ええと、さあ早く、ねえ、なにか用？ シスター、よければ椅子を2つもってきてくれませんか？ ここを発つことについて話したいのでしょ？ きっとそのことだと思うんだ。

ルイーザ： はい、先生。

医者（ほほえみながら）： なんて恩知らずなんだ！  
それで、どうして出ていきたいの？

ルイーザ： 完治したから。あなたが治してくれたの。

医者： そう——そう思います。たしかに以前よりもずいぶん良さそうだ。（住み込みの外科医に）彼女の瞳は以前に比べてはるかに澄んで輝いているよね。

住み込みの外科医： 顔全体のようにすが、以前に比べると、警戒心にみちて聡明さにあふれて……

医者： ほら！ わたしが彼女のことをクレブレン型<sup>1)</sup>の鬱病患者と診断したのに対して、君は……

住み込みの外科医： そうですね。わたしはむしろ早発痴呆<sup>2)</sup>の一症例だと見なしました。

医者： そうだったとしたら、君がいま目にしている状態に彼女は決してたどり着かなかったでしょうな。

住み込みの外科医： 回復した症例もいくつかありますよ。

医者： これほど完璧にはないでしょう。（ドアが開いて女性の顔があらわれ、シスターに小さい声で話す。）

声： シスター。みんなが彼女を棺のなかに入れていきます。

シスター： よろしい。行きますよ。（シスターは上手に退場。遠くで鐘が鳴りつづけている。）

医者（ルイーザに）： それなら、もうあの悪夢を見なくなったのだね、もうあの幻覚を。

ルイーザ： わたし——

医者： もう覚えてすらいないんでしょ。ええ、それだけよくなったということです。

ルイーザ： そうです、先生、たしかにもうすっかりよくなっている、そう感じます。ともかくまるで正気を取りもどしたかのように感じるのです。だから、家に帰りたいのです。

医者： わかります……でも、慎重に事を運ばなければなりません。（住み込みの外科医に）彼女の出身地はどこ？

住み込みの外科医： フェカンだと思います。

ルイーザ： そうです、親族みんながそちらで暮らしています。

医者： この問題が起こったときは自宅にいたの？

ルイーザ： いいえ、働いていました。10歳のときから始終働いてきました。ある職に就いていたのです。

医者： それで、あなたの頭が正常でなくなっていたことに雇い主たちは気づいていたのかな？

ルイーザ： はい。

医者： 今後またあなたを連れ戻そうとすると思いますか？

ルイーザ： わかりません。

医者： そちらにいる人は残らずあなたがサン＝レジェールにいたということを知るでしょう。別の場所を見つけるのは難しくなるでしょうね。いいですか、精神病院にいたことがある人にとって、人生とはかなりつらいものなのです。

ルイーザ： はい、わかっています。つらいです。それでも、もう完治しているので、永遠にわたしを精神病院に入れておくことなどできません。そんなことになるとしたら、人生なんてものはまったく台無しになる。

医者： たしかに。でも、ここですこし待機しててください。

ルイーザ： 待機？

医者： そう。もう少しのあいだそのままです。ここではそれほど心沸き立ちもしないかもしれない。でも、かえってそのほうがよいのです。

ルイーザ： ああ！ だめです……

医者： そうだ、そうだ。そうすれば、あなたにしてあげられることを考えてみるための時間が手にはいる。

ルイーザ： だめです。だってわたしは出ていかなければ

<sup>1)</sup> Kraepelin というスペル——これはド・ロルドとビネのオリジナル原稿と同一——は、ときに現代精神医学の父と目される人物であるエミール・クレペリン（Emil Kraepelin）（1856-1926）を明白に想起させる。彼は統合失調症や躁鬱病を発見し、アルツハイ

マー病の共同発見者でもあった。

<sup>2)</sup> これはのちに統合失調症という語にかわるものについてのクレペリンの定義である。

ばならないのですよ。

医者： それで、ここを出てどこに行くつもり？ いったいなか考えがあるの？

ルイズ： パリに行きます。

医者： パリに？

ルイズ： 大都会。そこでとにかく仕事を見つけます。

医者： そこに知りあいがいるの？

ルイズ： いいえ。でも、そんなの大したことではありません。どうにかうまくやっていくつもりです。

医者： わかってないんじゃないかと思うな。パリ。パリね。あなたみたいなかわいい女の子ひとり。あんなところにいたら身の破滅だ。それでたくさんの試練と失望を味わってもなお、くりかえしすぐに困難が目のまえにあらわれてくる。ありえない。

ルイズ： 先生！

医者： だめだ、だめだ。問題外だ。

ルイズ： それなら、わたしに出て行ってほしくないのですか？

医者： いますぐにはね。とても興味深い症例だからね。あなたのことを注視しておきたいのだ。(住み込みの外科医に) ねえ、ついさっき君に言われたことで、考え込んでしまったよ。(ルイズに) それで、あなたが行くのにふさわしい場所が見つけれられるまで——

ルイズ： いつまでですか？

医者： いつまで？ ああ、わからないな。たとえば2週間、おそらくは1週間かな。

ルイズ (かたくなに)： いたくありません。

医者： どうして？

ルイズ： さらに1週間もここに！ だめ、そんなつもりはない、ない！

医者： おい！ おい！

ルイズ： 言わせていただきますが、もうこれ以上ここにいたくはありません。出て行きたいんです。(声をひそめて) もうこれ以上この部屋で眠りたくないのです。

医者 (彼女の口調に圧倒されて)： どういうこと？ おいおい、これは別の問題だぞ。この件にこれまでにいちどたりとも触れたことがなかったよね。(ルイズがすばやく部屋中をさっと見回しているのを目撃して) どうしてそこを見回しているの？

ルイズ： シスターに聞かれたくないのです。

医者： 彼女のことで悩みをかかえてきたの？ (ルイズはうなだれて、なにも答えない。) 驚くにはあたらないな。彼女は狂信的だ。どんなことで悩まされてきたの？ ミサに行ったことがないという理由ではなかった？

ルイズ： そうです。でも、それが問題ではないのです。

医者： ええと、それでは、いったいなにが……？ もちろん教えてくれてもかまわないんだよね……いま。われわれのあいだけということで……まさしく重大なことがここで起こったの？

ルイズ： はい。この部屋で。

医者： いつ？

ルイズ： 夜に。みんなが就寝してしまうと。

医者： みんなって誰のことを言っているの？ ほかに患者さんたちがいるの？

ルイズ： はい、でもシスターたちはみんな就寝してしまいます。そうすると……

医者： そうすると……さあ、そんなふうに震えていてはいけないよ。(父親のように彼女の手をとる。) おしえて……。

ルイズ： ああ、どう言ったらいいのかわかりません。そのことを考えるだけで、頭がすっかりおかしくなってしまうんです。

医者： そうだ、そうだ。いっしょに初めから終わりまでそのことを考えてみよう。さあ、落ち着いて……

ルイズ： ええと、シスターが就寝すると、灯りがすべて消され、寄宿舍ではあらゆるものが変化してしまうようです。

医者： おや、どんな変化だい？

ルイズ： わたしの理解が及ばないようなことなら、なんでも起こるんです。まず——ほらあのドア……

医者： ええ？

ルイズ： 出ていくときにシスターが閉めるのです。昨晚の真夜中、そのドアが開くのを見ました、はじめはほんの少し、それからもっと開き、さらにもっと——音もたてずに、そして、見ると——というのも、わたしはいつもそのドアを注視してるのです——ひとり思うのです——さあ、あのドアが開く。さあ、あれがはじまることになる……

医者： 誰かがドアを開けるのを見たの？

ルイズ： ひとりでに開き、それから、あたかもそれが合図であったかのように……そこで寝ている2人の老婆——ご存知ですか？

医者： はい——つづけて。

ルイズ： 彼女たちが起きあがった。

医者： え？ 起きあがった？

ルイズ： はい。彼女たちを制止する者はひとりもいませんでした。

医者： ちょっと待って。2人の老婆のうちのひとりラ・ノーマンドには昨晚拘束衣を着せたよ。

ルイズ： 知っていますが、もうひとりの老婆が自由に  
にしてやったのです。

医者： でも鍵がないとできないよ。

ルイズ： 彼女は鍵をもっています。ほしいものなら  
なんでも手にいれているんです——

医者： ほしいもの……

ルイズ： どうしてお2人ともわたしをそんなふう  
に見るのですか？

医者（住み込みの外科医に）： まだ興奮過剰を患って  
いる思うんだが。

住み込みの外科医： そのようですね。

ルイズ： ああ神様！ わたしが嘘をついていると  
お思いですか、それとも、わたしがまだ狂っている  
とでも？

医者： ちがう、ちがうよ、ねえ……それなら、彼女た  
ちは起き上がってなにをしたの？

ルイズ： 黙ってわたしのベッドまでやってきて、屈  
みこんでわたしをじっと見ていました、まるでな  
にか危害でもくわえてやるつもりだといわんばかりに。

医者： なにか危害を？

ルイズ： でも、その勇気がなかった。彼女たちはぐ  
るっと見回して出入口のその先に視線をむけ、首  
を横にふって「だめ、だめ」と言ったのです、まる  
でなにかを恐れているかのように。だれかに話し  
かけているみたいでした。だから、そこには誰かが  
いたのです。

医者： 誰？

ルイズ： ラ・ボニエス。彼女たちに合図を送って  
いたのです。

医者： あなたはそう思うんだね……

ルイズ： わたしにはわかっているんです、片眼をお  
おう黒い目隠しで、それが彼女だってことが。彼女  
が合図を送っていたのです。

医者： でもありえないよ。

ルイズ： 先生、彼女を見たんです。

医者： よく聞いて、まったくありえないんだ。彼女以  
外の2人の女は見たかもしれないね、歩けるから。  
でも、あなたがラ・ボニエスとよぶ人物は両足とも  
麻痺していて完全に寝たきりなんだ。起き上がる  
ことも、立ち上がることもできないよ。

ルイズ： 断言します、彼女を見たんです、先生。そ  
こ、出入口のところに立っていました。

医者： わかるよね、きみ、まだ完治していないんだよ。

ルイズ： 治ってます。自分でわかっています。

医者： ちがうと思うんだよ、きみが主張することはま  
ったくありえないから。

ルイズ： 先生、どうしたら納得してもらえるのかわ  
からないけれど、彼女を見たんです。夢ではありま  
せんでした。すっかり眼が覚めた状態で、彼女がほ  
かの女たちに合図を送っていて、でもその女たち  
は恐れをなして求められたことをどうしてもしよ  
うとしなかった、そんな姿を目撃したんです。断言  
します、わたしは彼女を見ました。

住み込みの外科医： この子はこれまでもこのような  
幻覚を見たことありました。

医者： まさにそうだと思うよ。

住み込みの外科医： まったくありえることですよ、こ  
のような妄想は……

医者： これから起こる発作に先立つ症状だね。かわい  
そうに！

ルイズ： ちがいます、そうじゃありません、先生。

（住み込みの外科医に）ちがいます。断言します、  
一部始終を見たんです。

医者： そうだね、そうだね、もちろんだとも。きみは  
見た。見たと思っているんだね、あたかも……（住  
み込みの外科医に）間違いはない。

住み込みの外科医： わたしもそう思います。

医者： またあの幻覚だ。

ルイズ： いいえ、いいえ、ちがいます、先生。もう  
狂ってはいません、先生。もう完全に健全だと見な  
してもらわなければなりません。誓って、わたしは  
健全です。

医者： さあ、さあ。こんなふうに関心を悩ませてはいけ  
ないよ。

ルイズ： わかってます、興奮してはいても、本当に  
狂っているわけではありません。馬鹿げた考えを  
口にしているのではないのです。（住み込みの外科  
医に）それはそうですよね、先生、馬鹿げた考えを  
口にしているのではないのです。お願いします、信じ  
てください。

医者（彼女を落ちつかせようとして）： はい、はい。  
信じますよ。でもね、さらに2、3日間は保護観察  
しなければならないと思うんだ。

ルイズ： 2、3日も！ でも、あれがまたはじまっ  
たら……

医者： わたしに知らせてくれなければなりません。

ルイズ： でも、わたしをここに置き去りにするつも  
りはないんですよね！ すぐによそにやることが  
できないのならば、すくなくとも別の部屋にかえ  
てください。

医者： ちょうどいまは満床だと思うのだが。

ルイズ： ああ、かえて。

医者： よろしい、忘れずに明日部屋をかえてあげよう。

ルイーザ： でも、今日の夜は！ それぐらい怖いのです！ それぐらい怖いよ！

住み込みの外科医： なんてありさまだ！

医者： 今日の夜は、シスターをつきつきりでいさせよう。

ルイーザ： 彼女はずっとはいてくれません。

医者： はじめからおわりまで事細かに指示をあたえておくよ。

ルイーザ： 彼女は出て行きます。

医者： そうはしないようにするよ。

ルイーザ： あなた方が出ていったら、すぐにでもそうします——彼女は出て行きます。

医者： まあ、もういいよ。こんなふうにいづづけるのなら、われわれとしては完治していないと認識することになるし、そのような場合には、長いあいだ、まだここにとどめおかなければならないことにもなる。

ルイーザ： ああ神様！（上手からシスター登場。）

医者（呼び止めて）： シスター！

シスター： ドクター！

医者： あまりにも聞き分けがないものだからここでこの子を叱っていたんだ。まだとても精神的に不安定なようで、わたしにはまったく根拠がないと思われる恐怖で心がいっぱいのようなのだ。それでも、恐怖心というのは彼女にはよくないから、無用な苦しみなどなしで済ませたい。今晚は寝ないで看病してもらうことになる。

シスター： でも、ドクター……

医者： ぜひしてもらわなくては。あなたがそばにいてくれることで、このような悪夢は回避されるだろう。

シスター： 悪夢など、どうと言うことはありません。

医者： あなたのお世話を要するには十分すぎるくらいだ。

シスター： 不安定が度を越えた場合には、クロラールをスプーン2杯分飲ませます。

医者： だめだ。あなたが彼女についていてあげる方がよい。

シスター： 今日の夜はかなり難しいでしょう。

医者： どうして？

シスター： 参列しなければならない典礼があるのです。

医者： どういった典礼ですか？

シスター： シスター・シュルピスのための典礼です。

医者： あ、そうか。そうだね。

シスター： ご遺体のそばで夜通し寝ずの番をして、帰天された方のために祈祷を唱えることになります。

修道女会の全員が参列します。

医者： あなたの代わりの参列者を見つけなければならない。

シスター： それは不可能です。

医者： 少しばかりのご好意を示していただければ、まったく可能ですよ。

シスター： 女子修道院長は、わたしたちの何人たりとも聖所の礼拝を疎かにするのをお許しになりません。

医者： 人間性の要求は聖所の礼拝よりも重要であると明言しておかなければならないな。

シスター： わかりません……。それは見解の相違です。

医者： あなたの職務はここにとどまることだと述べてもなお、まだ躊躇っているのにはあきれたよ。

シスター： わたしの本分は女子修道院長に従うことです。

医者： 死者の寝ずの番をすることは、まったくもってたいへん結構だ。でも、もちろん生者への配慮がそれよりも優先されるべきだ。

シスター： わたしの本分とは、女子修道院長に従うことなのです。

医者： あなたの職務は、なにをおいてもわたしに従うことだ。精神病院の病棟では、女子修道院長ではなくて医者が命令を出すのだ。わかりますか？

シスター： はい、ドクター。

医者： よしよし。今日の夜、朝までの一晩はこの部屋ですぐすように命じます。従ってくださいか、くれませんか？

シスター： 使用されている身にすぎません。職務とは従うことです。（小声で2、3つぶやく。）

医者： なにか言いました？

シスター： なにもございません、ドクター。申し上げることなどございません。

医者（厳格に）： よろしい。（ルイーザに優しく）それみたことか、これで安心してくれるといいんだけど？（ルイーザは答えない。）ねえ、おやすみなさい——おやすみ。（住み込みの外科医に）ああ、このシスターたち、シスターたち。とても立派な人たちだ、寡黙で真面目で献身的で。でも、面と向かって宗教の問題となると、ほとんど手に負えない。権威に対する組織化された反乱のようなものだ。

住み込みの外科医： なぜこの人を首にしないのですか？

医者： 誰であっても大差はないよ。（シスターをしたがえて、2人とも下手に退場。）

ルイーザ（ひとりでベッドに腰かけて）： あの人たちはわたしが言うことをどうしても信じてくれない。

(叫び声をあげて) ああ神様！ ああ神様！（ラ・ノーマンドとラ・ボシュウが上手から登場。夜のとばりがおりて、彼女たちの姿はかろうじて見えるくらい。静かに歩みをすすめてルイズに近づく。彼女は、物音に振り向き、おびえて、叫び声をあげる。）

ルイズ： ああ！

ラ・ノーマンド： 怖がらないで、いい子ね。

ラ・ボシュウ： 怪我をしたわけではないのだから、叫び声をあげてはだめ。

ラ・ノーマンド： 少し待って。

ラ・ボシュウ： ほんの少しよ。

ラ・ノーマンド： 夜は長いわ。

ラ・ボシュウ： ああ、夜はすてき、とてもすてき。

ルイズ： どうしてそんな眼で見るの？

ラ・ノーマンド： いまは彼女のことを見てはいけないわ。

ラ・ボシュウ： あなたはとてもかわいいわ。

ラ・ノーマンド： とくにその両方の瞳が。

ラ・ボシュウ： あなたのものではないのよ、いいこと。

ラ・ノーマンド： わかってます、わかってます。

ラ・ボシュウ： あの老婆はこうおっしゃいましたね。彼女は体内にフクロウを飼っている。

ラ・ノーマンド： そして、いつの日にか飛び去っていく。

ラ・ボシュウ（飛ぶしぐさをして）： ポン！ ポン！

ルイズ： 出て行って。近づかないで。（大声で呼んで）シスター！

ラ・ノーマンド： フクロウは二度とつかまらない。（2人は笑い、ふたたび彼女に近づく。）

シスター（下手ドアのところにふたたび登場。2人の老婆は静かに自分たちのベッドに引っ込む）： どうしたの？ 誰か呼んだ？ またあなたなの？

ルイズ（依然としてかなりおびえて）： そうです、シスター。

シスター： しょっちゅう不平ばかりいっている人は苦手です。それで、なんですか？

ルイズ（2人の女を指さして）： あの人たちがそこにいます。

シスター： もちろんそこにいますよ、だって、あなたと同じ部屋で寝ているんですから。さあ、あなた方お3人さんとも、早くベッドのなかに入って。（マッチをすって常夜灯を点ける。部屋中をちらっと見まわす。隣の部屋で騒々しい声がする。）さあ、さあ、そこに入って。（常夜灯をとって、下手ドアを開け、部屋のなかを覗きこむ。）そこ静かに。もう大声はださない。就寝の時間です。聞こえます

か？（徐々に大声はおさまり、それから底知れない沈黙がある。ドアを閉めて鍵をかける。2人の老婆がベッドを整える。ルイズは自分のベッドのうえに座ったまま。シスターが常夜灯を棚に戻し聖母マリア像のまえでひざまずいて「アヴェ・マリア 恵みに満ち方、など。」と唱える。ラ・ノーマンドとラ・ボシュウが「アヴェ・マリア 恵みに満ち方、など。アーメン。」とつぶやいている声がかすかに聞こえる。）アーメン。（彼女は立ちあがり、そのまま聞き耳をたてる。少し離れたところでふたたび鐘が鳴る。シスターはそれを聞いて躊躇ったあと、意を決しルイズに近づく。やわらかい声で。）ルイズ。

ルイズ： シスター。

シスター： 就寝しないのですか、ねえ？

ルイズ（躊躇ったあとで）： します、シスター。

シスター： もう恐くはないのですよね。そうだといいいけど。あらゆるものが寝静まっていますよね。あなたもお休みになるんですよね。

ルイズ： はい、シスター。（ふたたび鐘が鳴る。）

シスター： お聞きになって。わたしをよぶ鐘だわ。帰天された方のための典礼をしなくてはならないの。

ルイズ： でも、シスター——

シスター： いいわよね、ここにはいつづけられないんです。わがママをいう子ではないですよ。優しい心根の持ち主ですよ。いいわよね、帰天された方はわたしたちの祈りを必要としているのです。亡くなった方の方が、生きています方よりも優先されるべきなのです。

ルイズ： でも、先生が……

シスター： あなたがおっしゃらなければ、ドクターはなにもわかりっこありません。あなたがおっしゃれば、わたしは面倒なことになって、その後に巻き起こる醜聞から眼をそむけることができなくなるわね。ドクターはああいう人ですよ。あらゆることをひどく騒ぎ立てる人。彼なら、偉いさんたちに報告するでしょうね。彼なら、報告するように求めるでしょうし、女子修道院長はそういった類のことがまったくもってお嫌い。だから、彼女を怒らせるようなことをしてはいけないわ。結局のところ、ここでは責任の所在は彼女にあるのです。申し上げていることがおわかり？

ルイズ（あきらめて）： はい、シスター。

シスター： まあ。聞き分けがいいわ。これからも親友ですよ、わたしたち2人。あなたのためなのよ、本当よ。ここから出ていくための力添えとなって、大いに尽力だってしてあげられます。それで結構。

確かに聞き分けがいいわね。おやすみなさい。(下手ドアにむかうと同時に幕が下りる。遠くで鐘が鳴りつづけている。)

## 第2幕

場面。前幕と同一。もう深夜になっている。月の光が窓から射して、ルイズのベッドのうえにおちる。棚の上、ガラスのなかで常夜灯の灯りが明滅する。底知れない沈黙。遠くで時計が10時をうつ。ラ・ボシュウとラ・ノーマンドがベッドのなかで静かに動き出す。

ラ・ノーマンド(低い声で): ちょっと!  
ラ・ボシュウ: なに?  
ラ・ノーマンド: 彼女は寝ているの?  
ラ・ボシュウ: そう思う。  
ラ・ノーマンド: あやふやではいけないの。  
ラ・ボシュウ: 見てくるわ。  
ラ・ノーマンド: 待って。誰かが廊下をやってくるように思う。  
ラ・ボシュウ: シスターたちが戻ってくるのかな?  
ラ・ノーマンド: おそらくそうでしょうよ。(2人はふたたび横になる。さらに沈黙。騒がしい音が次第におさまる。もういちど起き上がる。)あの人たちはここには来ない。  
ラ・ボシュウ: そうね、階段を下りて行くのでしょう。  
ラ・ノーマンド: いかにも。(小休止)  
ラ・ボシュウ: それで、今晚ということでしたよね?  
ラ・ノーマンド: あの方はそうおっしゃっています。  
ラ・ボシュウ: あの方には従わなければなりませんものね……そうしないとしたら……  
ラ・ノーマンド: なにか痛い目にあわされることになるでしょう。  
ラ・ボシュウ: あの方がその子にしたような。  
ラ・ノーマンド: あの方が望んでいたものを忘れていないわよね?  
ラ・ボシュウ: なんてしたかしら?  
ラ・ノーマンド: 麻のタオル。  
ラ・ボシュウ: もっていません。  
ラ・ノーマンド: 歯でシーツを一部分引き裂きなさい。  
ラ・ボシュウ: それはいい考え。(シーツを引き裂く音がする。)  
ルイズ(眼を覚まして起き上がる): あれはなに?  
ラ・ボシュウ: 眼を覚ましつつあるわ。  
ラ・ノーマンド: しずかに!(小休止。2人ともじっとだまったまま。)

ルイズ: なにかが聞こえた。たしかだわ。いたわ、このなかに……。 (部屋のなかを見回す。)  
ラ・ボシュウ(シーツの切れ端を枕の下に押し入れてしまう): これだ、あった。  
ラ・ノーマンド: それでは、合図を待つことにしましょう。  
ラ・ボシュウ: 合図!  
ルイズ: あの人たち話しをしている! 寝ていないのだわ。(首を伸ばしてもっとよく見る。)  
ラ・ボシュウ: 見て。眼を覚ましている。  
ラ・ノーマンド: 聞き耳をたてているわ。(それぞれのベッドに腰をおろす。)  
ルイズ: どうしてそんなにじっとしたままなの?(声にだして) なに? なにがほしいの?  
ラ・ノーマンド: 恐がらないで、いい子ね。  
ラ・ボシュウ: 大丈夫よ。  
ラ・ノーマンド: まさしくフクロウの鳴き声で眼を覚ましたのかな?  
ラ・ボシュウ: あれは死の合図よ。(2人は笑う。)  
ルイズ: だまって! ああ、この狂った女たちと同室だなんてひどいわ。  
ラ・ノーマンド: あなたの方が狂っているのよ!(笑う)  
ラ・ボシュウ: 自分はもう狂ってないって思っているのね!(笑う)  
ラ・ノーマンド: すぐに精神病院を抜け出すことになるってね。  
ラ・ボシュウ: 外にでることなんて二度とないわ。  
ラ・ノーマンド: もし出るとしても、棺桶に入ってしまうことになるでしょうね。(2人とも笑う。)  
ルイズ: 怖い。怖いわ。ここに独りぼっちでいたくない。いたくない……  
ラ・ノーマンド: 全然ひとりぼっちなんかじゃないわよ。  
ラ・ボシュウ: わたしたち2人ともここにいるわ。(2人とも立ち上がる)  
ルイズ: ほっといて。ほっといて。ほっといて……(この瞬間、ロング・ホイッスルのような音が上手の部屋から聞こえる。ルイズは立ち止まる。2人の老婆は身じろぎもせずにいる。)  
ラ・ノーマンド: しずかに。あの方だわ。  
ラ・ボシュウ: 声をださないで。あの方が聞いているわ。  
ラ・ノーマンド: あなたの声を耳にしたら、あの方は怒ってしまう。  
ラ・ボシュウ: 怒ってしまったら、自分の身を案じなさい。

ラ・ノーマンド： そう、案じなさい。  
ラ・ボシュウ（祈祷をしているときのように）： ミゼレーレ  
ラ・ノーマンド： ミゼレーレ・ノビス。  
ラ・ボシュウ： ここを出ていくと——  
ラ・ノーマンド： 棺桶入りになる。  
ラ・ボシュウ（上手ドアを指さして）： あの方がいらっしやる！ ほら！  
ルイーズ（窓にはりついて立っている）： ドアがひとりでに開きはじめている。助けて！ 助けて！  
（ラ・ボニエスが上手ドアから登場。静かにドアを閉める。）  
ラ・ボニエス： ボシュウ、ここに灯りをもってきて。  
ラ・ボシュウ： おおせのとおりに。  
ラ・ボニエス： 暗すぎるわ。  
ラ・ボシュウ（常夜灯をもってきて、ルイーズを照らす）： こちらに。  
ラ・ノーマンド： あの子をがっちりつかんでいる。  
ラ・ボシュウ： そうよ。そうよ。そうよね。  
ラ・ノーマンド： どうなさるおつもりなのかな？  
ラ・ボシュウ： わかっていますよ。あの方はわかっています。  
ラ・ボニエス： ノーマンド、麻はある？  
ラ・ノーマンド： こちらに。  
ラ・ボニエス（ラ・ノーマンドに）： この子の両手をつかんで。大きな針はある？  
ラ・ボシュウ： 針？  
ラ・ノーマンド： そう、シスターのかぎ針。  
ラ・ボシュウ（とりに行く）： ああ、そうだ、棚に。  
ラ・ノーマンド： 聖母マリア像の前に。  
ラ・ボシュウ： こちらに。  
ラ・ボニエス： よくわからないわ。  
ラ・ノーマンド： もっと灯りがいりますね。  
ラ・ボニエス： 常夜灯をもっと近づけて。  
ラ・ボシュウ： 大丈夫ですか？  
ラ・ボニエス： もっと近く。（ラ・ボシュウが灯りをかなり間近によせる。）  
ラ・ノーマンド： もしかしたら殺したのだと思ったのでは。この子、死人のようなもの。  
ラ・ボニエス： いいえ。少し首をぎゅっと握ってやっただけ。すぐに回復するわ。  
ルイーズ（じたばたしながら）： ああ！  
ラ・ボニエス： それごらんないわ。  
ルイーズ： わたし、どこにいるの？  
ラ・ボニエス： そんなにじたばたしないで。  
ルイーズ（彼女たちを見て）： ああ。わたしになにをするつもり？

ラ・ボニエス： そんなにわめかないで。わたしは、なにもしやしません。そこにいるお2人さんがするのですよ。  
ラ・ボシュウ： おや！ まあ！（笑う）  
ラ・ノーマンド： おや！ まあ！（笑う）  
ラ・ボニエス： お静かに！ お聞きなさいな、いい子ね。あなたへのお勤めをするつもりなの。狂っていませんよね。覚えてますか？  
ラ・ノーマンド： もちろん、覚えてますよね。  
ラ・ボシュウ： 覚えてますとも。  
ラ・ボニエス： 狂っているあいだ、動物があなたに憑りついていたんです——フクロウですよ。まだあなたのなかにいます。そこ！ わめくのなら、また首をぎゅっと握ってやらなければいけなくなるわ。さあ、説明しているあいだは、聴いてちょうだい。フクロウを追い出しにかかるのよ。  
ルイーズ： だめ。ああ！ ああ！  
ラ・ボニエス： わからないの？  
ルイーズ： お願いします……！  
ラ・ボニエス： あなたのためなのよ。  
ルイーズ： ああ！ 殺すつもりね。  
ラ・ボニエス： こんなことで死にはしません。  
ルイーズ： 助けて！ 助けて！  
ラ・ボニエス： おとなしくしないでいつもかい？ 急がなければならないの。もうこれ以上わめいてはいけませんよ。  
ルイーズ： ああ！  
ラ・ボニエス： じっとしていなさい！ すぐに終わるわ。やつらがどこにいるかはわかっているけど、いまはそんなに簡単に見つけれないの。（ルイーズを刺す。）ああ！ ほらそこだ。暖かい。いいわ。ずっと前に手にかけてあの子たちにそっくり。（下手舞台裏で複数の足音がする。）  
ラ・ボニエス： しっ！  
ラ・ノーマンド： 聞いて！  
ラ・ボシュウ： だれかが来る。（ラ・ボニエスが灯りを消す。不意に部屋が沈黙に陥る。月だけがルイーズの遺体を照らし出す。）  
ラ・ノーマンド： 気をつけて。（みんながかがんでベッドの背後に隠れる。小休止。複数の足音と声。）  
某シスター（舞台裏で）： 本当ですよ、シスター、確かに物音を聞いたのです。（シスター登場。）どうしたの？ 誰か呼びましたか？（敷居に立つ。小休止。）  
シスター： 聞き間違えにちがいないわ。  
某シスター： どこをどう見ても静寂のようですね。  
シスター： それでは、行きましょう。けっこうです。

女子修道院長はチャペルでの典礼を中座するのを  
お気に召しませんしね。(女性たちの声でとても甘  
美に唱えられているハレルヤが遠くで聞こえる。)  
某シスター：　そうですね、聞き間違えました。まったく  
もってあなたは正しいわ、シスター。チャペルに  
もどりましょう。

(彼女たちは退場し、それとともに幕がゆっくりと下  
りる)

## 幕

本研究は、JSPS 科研費課題番号 JP23K00386 の助成を  
うけた成果の一部である。なお、翻訳ならびに解説につ  
いて、専門家の立場から中村晴香氏と山田幸代氏にご  
一読いただき、有益なコメントを多数頂戴することが  
できた。記して両氏に感謝申し上げる。

## 解説

ここに訳出されたのは Christopher Holland, *The Old Women* の全文である。テキストは Richard J. Hand and Michael Wilson, *London's Grand Guignol and the Theatre of Horror* (U of Exeter P, 2007) 収載のものを使用した。

## \*

『『老婆たち』はフランスとイギリスの両方のグラン・ギニョルにおいて鍵になる芝居のひとつである』<sup>1)</sup> という指摘があるように、この芝居は、グラン・ギニョルという演劇ジャンルにおいて、重要な位置をしめる。

グラン＝ギニョルとは、フランスのモンマルトルのグラン＝ギニョル劇場を舞台に展開された演劇レパートリーの総称をさす。<sup>2)</sup> オスカル・メテニエによって 1897 年に創始されたこの劇場は、1899 年に経営者がマックス・モレーに交代すると、恐怖演劇の劇場

へとその性格を強めていく(1962 年閉場)。その際、座付き劇作家として活躍したのが、アンドレ・ド・ロルドであり、彼には〈恐怖のプリンス〉という称号があたえられていた。ド・ロルドは、演劇 150 作以上、短編小説 40 作以上を執筆する多作ぶりであったが、彼以外にも、たとえば、『オペラ座の怪人』の作者ガストン・ルルーが、この劇場に作品を提供していた。

グラン＝ギニョルは、20 世紀になると、ロンドンにも活躍の場をみいだす。1908 年にパリの劇団がロンドン・ツアーを実施したこともあったようだが、1920 年にはリトル劇場(1910 年創設)を舞台に、ホセ・レヴィによってグラン・ギニョルがイギリスでも独自に展開された。<sup>3)</sup> その結果として、1920 年から 1922 年までの 2 年間の興行期間のあいだに、8 シリーズ合計 43 作の〈ロンドンのグラン・ギニョル演劇〉が上演されることになる。<sup>4)</sup> 時をへて 1928 年には、グラン・ギニョル再開が試みられるが、これは短命に終わる。

ロンドンの演目を概観してみると、本家フランスのグラン＝ギニョル関係の翻訳・翻案劇が半数近くを占めていることが容易に知れる。その一方で、それらに交じって、イギリスの劇作家によるオリジナル作品もたしかに存在していたし、恐怖演劇だけではなく、喜劇などもそこには含まれていた。<sup>5)</sup>

さらに、ロンドンのグラン・ギニョルには、フランスに負けず劣らず、多彩な人物たちの顔が登場する。『闇の奥』をしたためた小説家ジョゼフ・コンラッドは、自身の演劇作品『笑うアン』をロンドンのグラン・ギニョルに持ち込んだが、残念ながら却下されている。<sup>6)</sup> 彼の小説『密偵』が演劇化されて 1922 年 11 月にアンバサダーズ劇場にかけられたときには、グラン・ギニョルで活躍した俳優ラッセル・ソーンドイクが重要な役を演じている。<sup>7)</sup> 一方、ラッセルの姉シビル・ソーンドイクは、グラン・ギニョルが活動を終えた翌年の 1923 年にジョージ・バーナード・ショーの『聖女ジョウン』でジャンヌ・ダルクを演じて名をはせた女優であるが、その一年前まではロンドンのグラン・ギニョルの代名

<sup>1)</sup> Hand and Wilson, *London's Grand Guignol*, p. 176.

<sup>2)</sup> フランスのグラン＝ギニョルについては、英語の文献では、Richard J. Hand と Michael Wilson の 3 つの著作——*Grand-Guignol, Performing Grand-Guignol, Grand-Guignolesque*——ならびに Mel Gordon を、日本語の文献では、荒俣、ド・ロルド、リビエール & ヴィットコップ、真野を参照した。

<sup>3)</sup> cf. Hand and Wilson, *London's Grand Guignol*, pp. 11-17. なお、本解説では、フランスのグラン＝ギニョル

と、イギリスのグラン・ギニョルを、「ダブルハイフン」と「中黒」の違いとして記述することにする。

<sup>4)</sup> cf. Hand and Wilson, *London's Grand Guignol*, pp. 273-77.

<sup>5)</sup> cf. Hand and Wilson, *London's Grand Guignol*, pp. 273-77.

<sup>6)</sup> Hand and Wilson, *London's Grand Guignol*, p. 25.

<sup>7)</sup> Hand and Wilson, *London's Grand Guignol*, p. 87.

詞と言ってもよい存在であった。ロンドンのグラン・ギニョルには、劇作家ノエル・カワードも関与していたことはつとに知られている。さらに、1928年のグラン・ギニョル再開の際には、いまや老境に入った劇作家アーサー・ウィング・ピネロが駆り出されているし、『死後』という作品で登場人物のひとりモラレス——実際はギロチンで切られた首——を演じたのは、ジェイムズ・ホーエルであった。<sup>8)</sup> ホーエルは、この後にアメリカにわたり、ボリス・カーロフを怪物に仕立てあげて映画『フランケンシュタイン』（1931年）を監督し、歴史にその名を刻むことになる。ロンドンのグラン・ギニョルには、このような綺羅星のごときイギリス文人たちが集い、文化的星座を形成していたのである。

＊

『老婆たち』は、クリストファー・ホーランドの創作ではない。アンドレ・ド・ロルドの短編恐怖小説「精神病院の犯罪（*Un crime dans une maison de fous*）」をもとにした翻案恐怖演劇にほかならない。<sup>9)</sup> フランスのグラン＝ギニョルにおいても、同じ「精神病院の犯罪」をもとにした恐怖演劇『精神病院の犯罪、あるいは悪魔のような女たち（*Crime dans une Maison de Fous ou les Infernales*）』が、アンドレ・ド・ロルドとアルフレッド・ビネによって翻案されている。しかし、この芝居は1925年6月まで上演されなかったとされるため、クリストファー・ホーランドの『老婆たち』の方が1921年に先行して舞台にかけられたことになる。ただ、原作を同じくする『精神病院の犯罪』と『老婆たち』は、細部の異同はあるものの、プロットが近似しているため、後者は前者の英訳もしくは、ロンドン版と考えてもよい。

クリストファー・ホーランドという人物についても、実のところ、これは劇場経営者ホセ・レヴィもしくは俳優ルイス・キャソン——シビル・ソーンダイクの夫——のペンネームであるにすぎない、とする向きもある。<sup>10)</sup> たしかに、クリストファー・ホーランドという名前は、これ以外の大戦間期イギリスをめぐるあらゆる歴史の記録に登場しないことから、この説も、あながち等閑視することはできない。いずれにしろ、『老婆たち』という芝居には、作者同定の問題が残存している。

「クリストファー・ホーランドとはなにものなのか」——この問題だけではなく、彼のテキストそれ自体にも解決すべき問題がある。『老婆たち』というテキスト

は、適切な編者による書誌学的検討をくわえられたうえで本文生成にいたっていないため、基礎的な研究の端緒にもついていないといえるのだ。もっとも、これについては、『老婆たち』に限らず、ロンドンのグラン・ギニョル演劇のほとんどがかかえている問題でもある。作品集が公刊されているフランスのグラン＝ギニョルとは異なり、ロンドンのグラン・ギニョルは、いまだ作者と作品名しか知ることができない状態にあるものが多くあり、初演から100年たったいまでも全容を見通すにはいたっていないのである。

## 参考文献

- Gordon, Mel. *The Grand Guignol: Theatre of Fear and Horror*. Revised ed. New York: Da Capo P, 1997.
- Hand, Richard J. and Michael Wilson. *Grand-Guignol: The French Theatre of Horror*. Exeter: U of Exeter P, 2002.
- Hand, Richard J. and Michael Wilson. *Grand-Guignolesque: Classic and Contemporary Horror Theatre*. Exeter: U of Exeter P, 2022.
- Hand, Richard J. and Michael Wilson. *London's Grand Guignol and the Theatre of Horror*. Exeter: U of Exeter P, 2007.
- Hand, Richard J. and Michael Wilson. *Performing Grand-Guignol: Playing the Theatre of Horror*. Exeter: U of Exeter P, 2016.
- 荒俣宏（編纂）『怪奇文学大山脈 III——西洋近代名作選 [諸雑誌氾濫篇]』（東京創元社、2014年）.
- アンドレ・ド・ロルド『ロルドの恐怖劇場』（平岡敦編訳）（筑摩書房、2016年）.
- フランソワ・リヴィエール&ガブリエル・ヴィットコップ『グラン＝ギニョル——恐怖の劇場』（梁木靖弘訳）（未来社、1989年）.
- 真野倫平（翻訳）『グラン＝ギニョル傑作選——ベル・エポックの恐怖演劇』（水声社、2010年）.

<sup>8)</sup> Hand and Wilson, *London's Grand Guignol*, pp. 49; 79.

<sup>9)</sup> ド・ロルド, pp. 9-18.

<sup>10)</sup> Hand and Wilson, *London's Grand Guignol*, p. 63.

## 研究成果報告書 (掲載期間 2022.11.1－2023.10.31)

### 学術書

- (1) 岩田徳利, 梅津義康, 葛森秀夫: 自動車工学シリーズ プレス成形 CAE, 第 1 章担当, 朝倉書店, 2022 年 11 月.
- (2) 宮本潤他/大久保雅章 監修: プラズマ産業革新技術, 真空および大気圧中における鋼のプラズマ窒化処理法の開発, シーエムシー出版, 2023.
- (3) 山田靖他: 次世代半導体パッケージの最新動向とその材料、プロセスの開発, 第 4 章第 7 節 pp.284-295, 技術情報協会, 2023.
- (4) 宮寄靖大他/土木学会 鋼構造委員会 鋼・合成構造標準示方書総則・設計編 小委員会: 2022 年制定 鋼・合成構造標準示方書 総則編・構造計画編・設計編, 設計編第 4, 5, 6, 13 章, 土木学会, 2022.
- (5) 光田恵, 一ノ瀬昇, 跡部昌彦, 長谷博子: トコトンやさしい香料の本, 日刊工業新聞社, 2023.
- (6) 柘植寛/土屋誠司 編集: 身近なモノやサービスから学ぶ「情報」教室⑤ 情報通信ネットワークとデータベース, 創元社, 2023 年 9 月.
- (7) P. Ping, W. Ding, Q. Shi, Y. Liu, C. Miyajima, K. Takeda: Driver distraction processive recognition by fusing causal reasoning with deep learning, Chap. 3, 29-46, Towards Human-Vehicle Harmonization, De Gruyter, H. Abut et al. eds., Mar. 2023.
- (8) 桐山岳寛/白娜 翻訳: 説明がなくても伝わる図解の教科書 (中国語簡体字版), 文匯出版社, 2022.
- (9) 伊藤僚他/村木里志, 長谷川博, 小川景子(編): 人間の許容・適応限界事典, 22. 雨風と運動, pp.510-514, 朝倉書店, 2022.

### 教科書

- (1) 横山弥生他: 可視化の図学, 第 10 章, その他, 株式会社ダイテック, 2023.
- (2) 岡康之, 平山浩之, 鈴木俊夫, 藤ノ木健介 共著: 工科系のための偏微分方程式入門, 学術図書出版社, 2023.
- (3) 三橋大輔, 道上静香, 高橋仁大, 小屋菜穂子他/公益財団法人 日本テニス協会編: テニス指導教本Ⅱ, 第 6 章 3 節担当, 大修館書店, 2023.

### 翻訳、評論等

- (1) 橋口宏衛: ドローンの飛び交う世界を目指して, 情報誌『名古屋港』, 名古屋港利用促進協議会, 2023 年 連載 6 回.
- (2) 武藤隆: 「どれだけ離れていても…。距離を越えて、時を超えて: 登山博文」, 芸術批評誌 REAR 49 号 批評, pp. 112-116, 2022 年 12 月.
- (3) 小島一宏: 映画「すずめの戸締まり」新海誠監督, 毎日新聞 (愛知・岐阜・三重版)「芸術食堂」欄, 2022 年 11 月 11 日朝刊.
- (4) 小島一宏: 映画「ある男」石川慶監督, 毎日新聞 (愛知・岐阜・三重版)「芸術食堂」欄, 2022 年 11 月 25 日朝刊.
- (5) 小島一宏: 映画「あのこと」オードレイ・ディヴァン監督, 毎日新聞 (愛知・岐阜・三重版)「芸術食堂」欄, 2022 年 12 月 9 日朝刊.
- (6) 小島一宏: 映画「ドリーム・ホース」ユーロス・リン監督, 毎日新聞 (愛知・岐阜・三重版)「芸術食堂」欄, 2023 年 1 月 13 日朝刊.
- (7) 小島一宏: 映画「エンドロールのつづき」パン・ナリン監督, 毎日新聞 (愛知・岐阜・三重版)「芸術食堂」欄, 2023 年 1 月 27 日朝刊.
- (8) 小島一宏: 映画「銀平町シネマブルース」城定秀夫監督, 毎日新聞 (愛知・岐阜・三重版)「芸術食堂」欄, 2023 年 2 月 10 日朝刊.
- (9) 小島一宏: 映画「フェイブルマンズ」スティーブン・スピルバーグ監督, 毎日新聞 (愛知・岐阜・三重版)「芸術食堂」欄, 2023 年 3 月 10 日朝刊.

- (10) 小島一宏：映画「ロストケア」前田哲監督，毎日新聞（愛知・岐阜・三重版）「芸術食堂」欄，2023年3月24日朝刊。
- (11) 小島一宏：映画「AIR／エア」ベン・アフレック監督，毎日新聞（愛知・岐阜・三重版）「芸術食堂」欄，2023年4月14日朝刊。
- (12) 小島一宏：映画「アダマン号に乗って」ニコラ・フィリベール監督，毎日新聞（愛知・岐阜・三重版）「芸術食堂」欄，2023年4月28日朝刊。
- (13) 小島一宏：映画「宇宙人のあいつ」飯塚健監督，毎日新聞（愛知・岐阜・三重版）「芸術食堂」欄，2023年5月12日朝刊。
- (14) 小島一宏：映画「怪物」是枝裕和監督，毎日新聞（愛知・岐阜・三重版）「芸術食堂」欄，2023年5月26日朝刊。
- (15) 小島一宏：映画「逃げきれた夢」二ノ宮隆太郎監督，毎日新聞（愛知・岐阜・三重版）「芸術食堂」欄，2023年6月9日朝刊。
- (16) 小島一宏：映画「To Leslie トウ・レスリー」マイケル・モリス監督，毎日新聞（愛知・岐阜・三重版）「芸術食堂」欄，2023年6月23日朝刊。
- (17) 小島一宏：映画「CLOSE／クロス」ルーカス・ドン監督，毎日新聞（愛知・岐阜・三重版）「芸術食堂」欄，2023年7月14日朝刊。
- (18) 小島一宏：映画「ミッション：インポッシブル デッドレコニング PART ONE」クリストファー・マッカーリー監督，毎日新聞（愛知・岐阜・三重版）「芸術食堂」欄，2023年7月28日朝刊。
- (19) 小島一宏：映画「SAND LAND」横嶋俊久監督，毎日新聞（愛知・岐阜・三重版）「芸術食堂」欄，2023年8月25日朝刊。
- (20) 小島一宏：映画「夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く」酒井麻衣監督，毎日新聞（愛知・岐阜・三重版）「芸術食堂」欄，2023年9月8日朝刊。
- (21) 小島一宏：映画「グランツーリスモ」ニール・ブロムカンプ監督，毎日新聞（愛知・岐阜・三重版）「芸術食堂」欄，2023年9月22日朝刊。
- (22) 小島一宏：映画「キリエのうた」岩井俊二監督，毎日新聞（愛知・岐阜・三重版）「芸術食堂」欄，2023年10月13日朝刊。
- (23) 小島一宏：映画「愛にイナズマ」石井裕也監督，毎日新聞（愛知・岐阜・三重版）「芸術食堂」欄，2023年10月27日朝刊。
- (24) 藤井浩明：書評と紹介 青木宏之著『日本の経営・労働システム ―鉄鋼業における歴史的展開』，大原社会問題研究所雑誌，774号，pp.51-54，2023。

## 審査学術論文

- (1) 西脇武志，後岡一騎，蔦森秀夫：角筒成形における部分熱処理材の軟化領域の最適化，塑性と加工，64巻，2023，753号，pp.7-12。
- (2) 中澤優太，西脇武志，蔦森秀夫：対向液圧成形法による局所溶体化処理を施したアルミニウム合金板の角筒成形，塑性と加工，64巻，2023，753号，pp.13-17。
- (3) 千野靖正，黄新胜，斎藤尚文，西脇武志，毛利猛，松田幹雄：底面集合組織の形成を抑制したAZ31Bマグネシウム合金板材の室温深絞り成形性に及ぼすプロセス因子の影響，塑性と加工，64巻，2023，744号，pp.13-18。
- (4) Y. Okimura, Y. Kato, H. Makino, K. Hashimoto, Y. Maeda, T. Okane, M. K. Faiz, H. Komine, T. Miyashita, M. Yoshida : Proposition of New Yield Criterion for Green Sand Mold and Its Experimental Validation by FEM Stress Analysis of Triaxial Compression Test, Journal of Materials Processing Technology, 318, 2023, September, pp.118020-118036.
- (5) 中村侑未，高木健輔，寺山朗，頃安貞利，志賀英俊，神戸洋史，前田安郭，ムハマドハイリファイズ，沖村泰彦，永田益大，岡根利光，宮下朋之，吉田誠：アルミニウム合金溶湯とフラン自硬性積層造形鑄型の接触状態によって変化する熱伝達係数，鑄造工学，95，2023，pp.183-190。
- (6) 船橋幹人，前田安郭：生型試験片の特性に及ぼす試験片作製方法と砂種類の影響，鑄造工学，95，2023，pp.176-182。
- (7) M. Funahashi, T. Kume, D. Deguchi and Y. Maeda : Effect of Squeeze Condition on Static and Dynamic Properties of Green Sand Test Piece, International Journal of Metalcasting, 17, 2023, pp.2493-2499.

- (8) K. Taki, G. Endo and Y. Maeda : Molten Aluminum Alloy Flow through Casting Filter Installed at Sprue, *International Journal of Metalcasting*, 17, 2023, pp. 2477-2483.
- (9) T. Nishihara, Y. Nakamura and Y. Maeda : Shrinkage Cavities in Conical Mold Castings of Aluminum Alloy, *International Journal of Metalcasting*, 17, 2023, pp. 2431-2438.
- (10) 西原大貴, 大澤周平, 前田安郭 : 鑄造 CAE による各種砂型に起因する鑄鉄鑄物焼付き欠陥の予測, *鑄造工学*, 95, 2023, pp. 72-78.
- (11) 糸隆千穂, 安江拓哉, 竹川麻衣子, 前田安郭, 堀亜由美 : 生型砂と RCS, 生型砂のコンパクタビリティの違いがブロー造型挙動に及ぼす影響, *鑄造工学*, 95, 2023, pp.3-8.
- (12) 丹羽大樹, 新井田篤, 前田安郭 : 水モデルダイカスト実験と数値解析の比較による気泡追跡, *鑄造工学*, 94, 2022, pp. 684-689.
- (13) Shutaro Machiya, Kozo Osamura, Yoshimitsu Hishinuma, Hiroyasu Taniguchi, Stefanus Harjo and Takuro Kawasaki : Measurement of Mechanical Behavior of 11B-Enriched MgB2 Wire Using a Pulsed Neutron Source, *Quantum Beam Science*, 7, 2023, 34, p. 17.
- (14) Yuma Kobayashi, Kei Somaya, Junji Miyamoto and Takao Okabe : Direct synthesis of Fluoropolymer particles in Ionic Liquids via the Photopolymerization of Solid Lubricants, *TRIBOLOGY INTERNATIONAL*, Vol. 188, 2023, 108731.
- (15) Takao Okabe and Kei Somaya : Development of ionic liquid circulation system in high-vacuum chamber for semiconductor device fabrication, *Vacuum*, Vol. 207, 2023, 111562.
- (16) Kazushige Tokuno, Masatoshi Mitsuhashi, Masahiro Hagino : Early-Stage Dislocation Structures inside the Dislocation Channels of Face-Centered-Cubic Metals with Point Defect Clusters, *Journal of the Japan Institute of Metals*, Vol.87, No.3, 2023, pp.67-80.
- (17) 宮本潤示, 南部紘一郎, 吉田昌史, 奥宮正洋 : 熱間金型用合金工具鋼 SKD61 のプラズマ窒化処理における前処理としてのローラバニシング加工の影響, *熱処理*, 62, 2022, 6, pp.278-284.
- (18) 林秀行, 大嶋和彦, 尾形和哉 : サイクロイダル遊星歯車減速機の開発, *日本機械学会論文集*, 89 巻, 2023, 919 号, p.22-00340.
- (19) 尾形和哉, 村松雅仁, 大嶋和彦 : ジャイロモーメント効果による 2 輪台車の姿勢保持のためのフィードバック制御におけるクーロン摩擦の影響, *日本機械学会論文集*, 89 巻, 2023, 920 号, p.22-00266.
- (20) Kazutake Komori : Predicting Ductile Fracture During Extended Miyauchi Shear Testing Using Analytical Model, *International Journal of Solids and Structures*, Volume 275, 2023, 112320.
- (21) 中島邦斗, 内海能亜, 吉田昌史 : アルミニウム合金押出し角管の回転引曲げ加工における肉厚の均一化, 塑性と加工, 64 巻, 2023, 753 号, pp. 24-29.
- (22) M.Okumiya, K.Nambu, M.Yoshida, S-G. Kim, J. H. Kong : Surface Nitriding of Aluminum Using Barrel and Its Applications, *BHM Berg- und Hüttenmännische Monatshefte*, 168 巻, 2023, pp.114-119.
- (23) 榎田峻太郎, 川福基裕 : 三次元の回転運動を考慮した車両運動シミュレータ, 計測自動制御学会中部支部教育工学論文集, 45 巻, 2022, pp. 53-55.
- (24) 山田靖, 八坂慎一, 大浦賢一, 東条三秋 : パワー半導体実装用接合材料の基礎物性と信頼性の評価法, *エレクトロニクス実装学会誌*, 26 巻, 2023, 1 号, pp.158-166.
- (25) 高橋之, 真田靖士, 尹ロク現, 設樂朋代 : 耐震指標に基づく発展途上国 RC 造建築の費用対効果の高い耐震補強戦略, *日本建築学会計画系論文集*, Vol. 88, 2023, No. 804, pp. 559-567.
- (26) 高橋之, 鈴木有美, 真田靖士 : 粗骨材にレンガを用いたコンクリートの圧縮強度と寸法効果, *コンクリート工学年次論文集*, Vol. 1, 2023, 第 45 号, pp. 184-189.
- (27) 高柳伸一 : Introducción de la técnica europea de la fortificación abaluartada en Japón: Breve historia del castillo de Tatsuo y los análisis por comparación con fortalezas españolas.(日本における西洋の稜堡式築城術の導入 : 龍岡五稜郭の歴史とスペインの事例との比較分析), *Revista Castillos de España*, número 184, 2022, pp.159-186.
- (28) 平野夏帆, 犬飼利嗣, 高田浩夫, 藤森繁 : レオロジー試験装置の開発と実験結果の適用方法に関する検討, *プレキャスト施工技術論文集*, Vol.4, 2023, pp.1-5.
- (29) 辺志切琉成, 天田百合子, 犬飼利嗣, 藤森繁 : セメントペースト部分のドリル削孔速度を算出する抽出条件の修正

に関する実験的検討, コンクリート工学年次論文集, Vol.45, 2023, No.1, pp.1330-1335.

- (30) 佐藤翔, 辺志切琉成, 井向日向, 犬飼利嗣, 藤森繁: 修正したドリル削孔速度とシリンダー法による空気流入量との関係に関する実験的検討, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集, Vol.23, 2023, pp.157-162.
- (31) Makoto Morinaga, Junichi Mori, Ippei Yamamoto: Aircraft model identification using convolutional neural network trained by those noises in a wide area around an airfield, Acoustical Science and Technology, Vol. 44, 2023, No. 2, pp. 131-136.
- (32) Tran Thi Hong Nhung Nguyen, Bach Lien Trieu, Thu Lan Nguyen, Makoto Morinaga, Yasuhiro Hiraguri, Takashi Morihara, Yosiaki Sasazawa, Tri Quang Hung Nguyen, Takashi Yano: Models of Aviation Noise Impact in the Context of Operation Decrease at Tan Son Nhat Airport, International Journal of Environmental Research and Public Health, Vol. 20, 2023, No. 8, 5450.
- (33) Thulan Nguyen, Makoto Morinaga: Effect of roadside trees on pedestrians' psychological evaluation of traffic noise, Frontiers in Psychology, Vol. 14, 2023.
- (34) 古味由惟, 横島潤紀, 森長誠, 辻村壮平, 山内勝也, 白橋良宏, 山崎徹: 住宅種別ごとの道路交通騒音に対する住民反応への曝露量と非音響要因の影響, 自動車技術会論文集, 54 巻, 2023, 5 号, pp. 880-886.
- (35) Thulan Nguyen, Koji Nagahata, Makoto Morinaga, Hui Ma: Cross-cultural comparison of soundscape evaluation between Japanese and Vietnamese using standardized attributes, Applied Acoustics, Vol. 213, 2023.
- (36) 坪井志朗, 三村泰広, 嶋田喜昭, 菅野甲明: 自転車通行空間の整備による自転車関連事故への影響, 交通工学論文集, 第 9 巻, 2023, 第 2 号, pp.A\_342-A\_348.
- (37) 三村泰広, 坪井志朗, 嶋田喜昭, 菅野甲明: Social Incentives による自転車通行空間の走行意志向上策に関する検討, 土木学会論文集 D3 (土木計画学), Vol.78, 2023, No.5, pp.I\_777-I\_788.
- (38) 山崎諒介, 竹嶋夏海, 岡田誠司, 宮下剛, 宮寄靖大, 小野潔: SBHS400 および SBHS700 の機械的性質と両縁支持板としての耐荷力特性に関する研究, 土木学会論文集, Vol.79, 2023, No.10, 23-00093.
- (39) 宮寄靖大, 星野由, 志村保美: ステンレス鋼と炭素鋼を異材突合せ溶接した板部材の腐食の有無による引張強度特性に関する実験的研究, 鋼構造論文集, Vol.30, 2023, No.118, pp.118\_15-118\_27.
- (40) 中村健人, 宮寄靖大: Cr-Ni 系ステンレス鋼製中空正方形断面柱の全体座屈強度評価法, 鋼構造年次論文報告集, 第 30 巻, 2022, pp.810-817.
- (41) 古川諒太, 宮寄靖大: 偏心負荷を受けるステンレス鋼製山形および T 形断面柱の強度特性, 鋼構造年次論文報告集, 第 30 巻, 2022, pp.818-825.
- (42) 光田恵, 竹下剛司, 花岡早苗, 近藤早紀, 立松健司, 黒田俊一: 感覚的消臭の変調作用における嗅覚受容体応答の変化, 人間と生活, 第 30 巻, 2023, 第 1 号, pp.1-8.
- (43) 光田恵, 萬羽郁子, 棚村壽三, 板倉朋世: 病院におけるにおいの特性に関する研究-患者特性と診療科のにおい環境の関係についての考察-, 日本建築学会環境系論文集, 第 88 巻, 2023, 第 808 号, pp.529-536.
- (44) 光田恵, 近藤早紀, 棚村壽三, 岩井幸一郎, 榊原清美: 特定悪臭物質のにおい表現に関する検討, におい・かおり環境学会誌, 54 巻, 2023, 第 4 号, pp.226-234.
- (45) 不破勝彦, 庄司篤志, 米藤俊哉, 清水優, 沖村達也: 外乱オブザーバを用いた準強安定化補償器の一考察, 電気学会論文誌 C, 143 巻, 2023, 8 号, pp.848-849.
- (46) K. Ninomiya, M. Kajino, A. Nambu, M. Inagaki, T. Kudo, A. Sato, K. Terada, A. Shinohara, D. Tomono, Y. Kawashima, Y. Sakai, T. Takayama: Non-Destructive Composition Identification for Mixtures of Iron Compounds Using a Chemical Environmental Effect on a Muon Capture Process, Bull. Chem. Soc. Jpn, 2022, Vol.95, No.12, pp.1769-1774.
- (47) T. Yamagishi, Y. Sakai, T. Takayama, S. Shibutani, S. Yamauchi: Characterization of iron-loaded charcoal using infrared-photoacoustic spectroscopy: factors governing graphitization, Wood Science and Technology, 2023, 58, pp. 229-252.
- (48) Yuta Ashida, Yuto Onozuka, Kazuya Arashiba, Asuka Konomi, Hiromasa Tanaka, Shogo Kuriyama, Yasuomi Yamazaki, Kazunari Yoshizawa, Yoshiaki Nishibayashi: Catalytic nitrogen fixation using visible light energy, Nature Communications, 13 巻, 2022, 7263 (8 pages).
- (49) Akira Yamamoto, Xueshi Liu, Kazuya Arashiba, Asuka Konomi, Hiromasa Tanaka, Kazunari Yoshizawa,

- Yoshiaki Nishibayashi, Hisao Yoshida : Coordination structure of samarium diiodide in a tetrahydrofuran-water mixture, *Inorganic Chemistry*, 62 巻, 2023, 14 号, pp.5348-5356.
- (50) Yuta Ashida, Takuro Mizushima, Kazuya Arashiba, Akihito Egi, Hiromasa Tanaka, Kazunari Yoshizawa, Yoshiaki Nishibayashi : Catalytic production of ammonia from dinitrogen employing molybdenum complexes bearing *N*-heterocyclic carbene-based PCP-type pincer ligands, *Nature Synthesis*, 2 巻, 2023, pp.635-644.
- (51) Taichi Mitsumoto, Yuya Ashida, Kazuya Arashiba, Shogo Kuriyama, Akihito Egi, Hiromasa Tanaka, Kazunari Yoshizawa, Yoshiaki Nishibayashi : Catalytic activity of molybdenum complexes bearing PNP-type pincer ligand toward ammonia formation, *Angewandte Chemie Int. Ed.*, 62 巻, 2023, 43 号, e202306631 (8 pages).
- (52) Aya Eizawa, Kazuya Arashiba, Hiromasa Tanaka, Asuka Konomi, Kazunari Yoshizawa, Yoshiaki Nishibayashi : Design, synthesis and reactivity of dimolybdenum complex bearing quaterphenylene-bridged pyridine-based PNP-type pincer ligand, *Dalton Transactions*, 52 巻, 2023, 39 号, pp.14012-14016.
- (53) 平林健治 : CEFR-J C2 レベルと C1 レベルの自由英作文の統語的複雑さの視点からの分析, *言語文化学会論集*, 2023, 59 号, pp.19-29.
- (54) Yuta Yamada : Measuring Block Reaction Time in Volleyball Players Using a Novel and Accurate Reaction Time Measurement System, *Int. J. Sport Health Sci.*, 21 (0), 2023, pp.31-35.

## 学術論文

- (1) 田中浩司 : 工具鋼 SKD61/Cu のレーザ接合造形 - 接合組織および硬さの制御 -, *FORM TECH REVIEW*, Vol.31, 通巻 32 号, 2022, pp.96-100.
- (2) 今村怜, 沖村泰彦, 志茂康平, 牧野泰育, 橋本邦弘, 加藤裕介, 松浦誠, 前田安郭, 岡根利光, 宮下朋之, 吉田誠 : 生型の水分凝縮層圧密試験における水分増加方法の違いによる応力ひずみの関係, *鑄造工学*, 95, 2023, pp.30-33.
- (3) 杉山仁滉, 尾形和哉 : 三足歩行ロボットの歩行最適化と機体の製作, *計測自動制御学会中部支部教育工学研究委員会 教育工学論文集*, 45 巻, 2022, pp.31-33.
- (4) 小谷明, 田中淑晴, 原野智哉, 綿崎将大 : 非接触磁気駆動攪拌における回転体形状の検討, *FOOMA 技術ジャーナル*, 18 巻, 2023, 1 号, pp.13-16.
- (5) 原快斗, 吉田昌史 : 噴射加工によるアルミニウム表面への微粒子埋め込み, 熱処理, 63 巻, 2023, 3 号, pp.103-104.
- (6) 山田靖 : パワーデバイス実装用高放熱グラフィット, *車載テクノロジー*, 10 巻, 2023, 5 号, pp.28-35.
- (7) 笹澤吉明, 森長誠, Thu Lan Nguyen : 騒音環境が及ぼす睡眠, 心身への影響—快眠のための騒音への対策—, *睡眠と環境*, 17 巻, 2023, 1 号, pp. 15-24.
- (8) 嶋田喜昭, 石川雄大, 三村泰広, 坪井志朗 : VR を用いた自転車通行場所選択要因の検討, *第 43 回交通工学研究発表会論文集*, 2023, pp.137-142.
- (9) 樋口恵一, 三村泰広, 伊藤純, 山崎末沙子, 伊藤僚, 村上滉一 : 単路走行シミュレーションにおけるブレーキ踏み替え操作の多次元評価 - 視覚性能・脳活動・身体能力に着目して -, *交通工学研究発表会論文集*, 第 43 回交通工学研究発表会, 2023, pp.111-114.
- (10) 村上滉一, 樋口恵一, 三村泰広, 中野克己, 伊藤純 : 愛知県下における無信号交差点の実態からみた出会い頭事故の特徴, *交通工学研究発表会論文集*, 第 43 回交通工学研究発表会, 2023, pp.77-80.
- (11) 仲地孝之, 君山博之, 丸山充 : JPEG XS と互換性を有するスクランブル階層符号化における Golomb 符号化の検討, *信学技報*, vol. 123, 2023, no. 99, pp. 47-52.
- (12) Yuhui Katoh, Shuto Kataoka, Daichi Muramatsu, Takashi Kurimoto, Hiroyuki Kimiyama : Benchmark Software Development for Evaluating the Upload Speed through Mobile Network, *Proceeding of International Conference on Consumer Electronics – Taiwan (ICCE-Taiwan 2023)*, 2023, pp.481-482.
- (13) Yuya Shibata, Yugo Kubota, Naoki Sugiura, Hiroyuki Kimiyama : Study on Availability of MPI for Uncompressed 8K-Video Real-time Processing, *Proceeding of International Conference on Consumer Electronics – Taiwan (ICCE-Taiwan 2023)*, 2023, pp.483-484.
- (14) 村松大智, 加藤優陽, 片岡秀斗, 矢嶋翔, 栗本崇, 君山博之 : 無線ネットワークにおけるアップロード速度評価のた

めのベンチマークツールの開発,「マルチメディア,分散,協調とモバイル (DICOMO2023) シンポジウム予稿集」, 2023, pp.653-660.

- (15) 仲地孝之, 君山博之, 丸山充: スランブル画像領域での JPEG XS を用いたロスレス階層符号化, 電子情報通信学会 第 45 回情報理論とその応用シンポジウム (SITA2022)予稿集, 2022, pp.556-561.
- (16) Takayuki Nakachi, Hiroyuki Kimiyama, Mitsuru Maruyama: Lightweight Scrambled JPEG XS Coding for Privacy Protection, Proceeding of 2022 International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems (ISPACS), 2022, pp.1-4.
- (17) 不破勝彦, 水谷新悟: 決定極の安定性を考慮した 2 次遅れ要素の制御対象に対する限定極配置法に関する一考察, 計測自動制御学会中部支部教育工学論文集, 45 巻, 2022, pp.4-6.
- (18) 不破勝彦, 沖村達也, 中嶋健斗, 原圭佑, 安藤剛士: 相対次数 1 における 2 次遅れ要素の制御対象に対する外乱オブザーバの推定性能に関する一考察, 計測自動制御学会中部支部教育工学論文集, 45 巻, 2022, pp.13-15.
- (19) 不破勝彦, 寶木渉, 成清辰生: マッチング条件を満足しないランプ外乱抑制制御, 計測自動制御学会中部支部教育工学論文集, 45 巻, 2022, pp.37-40.
- (20) 桐山岳寛: 学生による 2 つの展示会デザインを経て, 図学研究, 2023, 第 57 巻, p.53.
- (21) 藤井浩明: 大型家電量販店における労働協約の地域的拡張適用 ―統一労働協約の成立要因について―, 大同大学紀要, 第 58 巻, 2023 年 3 月, pp.13-24.
- (22) 日高直保, 安立奈央: 心理職の開業経験とレジリエンス―Y さんのライフヒストリーから―, 仁愛大学附属心理臨床センター紀要, 2023, 第 18 号, pp.57-68.
- (23) 山内昇: 現代英語における speak of the devil の語用論的拡張について, 日本語用論学会第 25 回大会発表論文集, 18, 2023, pp.130-137.
- (24) 加藤聡一: 工学系大学における教職課程の実践―デューイの教育哲学を参照して,『職業教育学の探究』, 1 巻, 2023, 1 号, pp.23-28.

## 学会発表

- (1) 林田大史, 神崎隆男, 中島諒大, 藤田涼雅: 大気境界層の乱流構造に及ぼす上空速度変動の影響, 日本機械学会, 第 100 期流体工学部門講演会, 2022 年 11 月, 熊本.
- (2) 松岡和輝, 白石裕之: 浮き上がり火災安定化のために印加する超音波周波数の検討, 日本機械学会, 東海学生会第 54 回学生員卒業研究発表講演会, 2023 年 3 月, オンライン開催.
- (3) 松村修一郎, 坂井研斗, 白石裕之: 周期的レーザー照射強度変化に対する水素 LSD-LSC 遷移の数値解析, 日本機械学会, 東海学生会第 54 回学生員卒業研究発表講演会, 2023 年 3 月, オンライン開催.
- (4) 谷藤晶, 池田賢一, 三浦誠司, 高田健: クリープ試験法を利用した Al-Mg-Si 系合金の時効析出過程の解析, 軽金属学会, 軽金属学会秋期大会, 2022 年 11 月, 東京.
- (5) 水野和也, 佐野大和, 高田健, 渡辺海斗, 齊藤元貴, 武藤俊介, Iezari Fabio, 神谷和孝, 岡島敏浩: Al-Mg-Si 合金における等温時効生成物の DSC 調査, 日本金属学会・日本鉄鋼協会, 第 32 回材料フォーラム TOKAI, 2022 年 11 月, オンライン開催.
- (6) 渡辺海斗, 齊藤元貴, 武藤俊介, 水野和也, 佐野大和, 高田健, Iezari Fabio, 神谷和孝, 岡島敏浩: 低温時効した Al-Mg-Si 合金中のクラスタ形成過程のマルチスケール分析, 日本金属学会, 2023 年金属学会春期大会, 2023 年 3 月, 東京.
- (7) 西舘光紀, 伊藤良太, 久保則文, 高田健: Al-Mg 合金のセレーションと電気抵抗率振動の対応関係, 日本金属学会, 2023 年金属学会春期大会, 2023 年 3 月, 東京.
- (8) 水野和也, 佐野大和, 高田健, 渡辺海斗, 齊藤元貴, 武藤俊介, Iezari Fabio, 神谷和孝, 岡島敏浩: アルミニウム合金における等温析出挙動-DSC 測定, 日本金属学会, 2023 年金属学会春期大会, 2023 年 3 月, 東京.
- (9) 齊藤元貴, 渡辺海斗, 武藤俊介, 高田健, 水野和也, 佐野大和, Iezari Fabio, 神谷和孝, 岡島敏浩: アルミニウム合金における等温析出挙動-STEM 観察&EDS 分析, 日本金属学会, 2023 年金属学会春期大会, 2023 年 3 月, 東京.
- (10) 高田健, 水野和也, 佐野大和, 渡辺海斗, 齊藤元貴, 武藤俊介, Iezari Fabio, 神谷和孝, 岡島敏浩: アルミニウム合金における等温析出挙動-SAXS 測定, 日本金属学会, 2023 年金属学会春期大会, 2023 年 3 月, 東京.

- (11) 前田和浩, 知野見仁紀, 高田健: パラジウム中水素の電気抵抗率への影響, 日本金属学会, 2023 年金属学会春期大会, 2023 年 3 月, 東京.
- (12) 久保則文, 伊藤良太, 西館光紀, 高田健, 小川登志男: オーステナイト系ステンレス鋼における引張変形中の電気抵抗率振動, 日本金属学会, 2023 年金属学会春期大会, 2023 年 3 月, 東京.
- (13) 齊藤元貴, 渡辺海斗, 大塚真弘, 武藤俊介, 水野和也, 佐野大和, 高田健, 岡島敏浩: アルミニウム合金中の時効析出物の HAADF/LAADF-STEM 観察, 日本顕微鏡学会, 第 79 回学術講演会, 2023 年 6 月, 島根.
- (14) 久保則文, 西館光紀, 中嶋洋介, 口石健太郎, 高田健: オーステナイト系ステンレス鋼における PLC バンドの伝播と電気抵抗率の関係, 日本金属学会, 2023 日本金属学会秋期大会, 2023 年 9 月, 富山.
- (15) 前田和浩, 知野見仁紀, 高田健: パラジウム中水素の電気抵抗率への影響, 日本金属学会, 2023 日本金属学会秋期大会, 2023 年 9 月, 富山.
- (16) 小原拓夢, 江草凌太郎, 高田健, 荒井重勇: Al-Mg-Si 合金中への等温析出物の発達挙動, 日本金属学会, 2023 日本金属学会秋期大会, 2023 年 9 月, 富山.
- (17) 中嶋洋介, 伊藤良太, 久保則文, 西館光紀, 高田健, 荒井重勇, 池田賢一, 小川登志男: 画像解析を用いたアルミニウム中の転位のセル形成機構の調査, 日本金属学会, 2023 日本金属学会秋期大会, 2023 年 9 月, 富山.
- (18) 谷藤晶, 池田賢一, 三浦誠司, 高田健: 動的析出による熱処理型アルミニウム合金のクリープ変形挙動への影響, 軽金属学会, 軽金属学会北海道支部講演大会, 2023 年 10 月, 北海道.
- (19) 児玉勇毅, 西川周汰, 田中浩司: LMD による SKD61/Cu の接合造形 ー第 3 報ー 溶融積層時の累積的な熱影響による組織と硬さの変化, 日本熱処理技術協会, 第 95 回講演大会, 2023 年 5 月, 東京.
- (20) 大谷友希, 西脇武志, 薦森秀夫, 谷口智夫: 機械学習を用いた高速度域のひずみ依存性のある流動応力の予測の高精度化, 日本塑性加工学会, 2023 年度春季講演会, 2023 年 6 月, 名古屋.
- (21) 山田恭平, 鷲野琉星, 中島凌大, 吉田直生, 安藤大貴, 西脇武志, 薦森秀夫: 最適化手法および液圧バルジ試験により取得した高張力鋼板の高ひずみ域の S-S カーブの比較と取得範囲の拡大, 日本塑性加工学会, 2023 年度塑性加工春季講演会, 2023 年 6 月, 名古屋.
- (22) 小沢勇貴, 天石敏郎, 西脇武志, 薦森秀夫: 高張力鋼板を用いた二軸穴広げ試験による異方性降伏関数の予測精度評価, 日本塑性加工学会, 2023 年度塑性加工春季講演会, 2023 年 6 月, 名古屋.
- (23) 松田樹, 徳納一成, 薦森秀夫, 米澤隆行, 重里元一: フェライト/パーライト鋼板における高荷重交番負荷試験下での疲労き裂形成, 日本金属学会, 2023 年春期講演大会, 2023 年 3 月, 東京.
- (24) 大谷友希, 薦森秀夫, 西脇武志, 谷口智: 機械学習を用いた切り欠付丸棒引張試験片のひずみ速度依存性を考慮した流動応力の同定, 日本塑性加工学会, 第 73 回塑性加工連合講演会, 2022 年 11 月, 仙台.
- (25) 千田涼性, 薦森秀夫, 西脇武志, 谷口智: ニューラルネットワークを用いた異方性降伏関数のパラメータの同定, 日本塑性加工学会, 第 73 回塑性加工連合講演会, 2022 年 11 月, 仙台.
- (26) 中本裕汰, 平澤樂人, 西脇武志, 薦森秀夫: 曲げ成形中の曲刃のたわみとスプリングバック 第 2 報, 日本塑性加工学会, 第 73 回塑性加工連合講演会, 2022 年 11 月, 仙台.
- (27) 小沢勇貴, 吉田直生, 千田涼性, 平松智哉, 天石敏郎, 西脇武志, 薦森秀夫: 軟鋼板を用いた十字型穴広げ成形試験による異方性降伏関数の予測精度評価, 日本塑性加工学会, 第 73 回塑性加工連合講演会, 2022 年 11 月, 仙台.
- (28) 中澤優太, 薦森秀夫, 西脇武志: 局所溶体化処理を施したアルミニウム合金板の角筒モデルにおける対向液圧成形, 日本塑性加工学会, 第 73 回塑性加工連合講演会, 2022 年 11 月, 仙台.
- (29) 平澤樂人, 川瀬善也, 西脇武志, 薦森秀夫: 櫛歯型治具および試験片接着による引張圧縮試験の結果比較, 日本塑性加工学会, 第 73 回塑性加工連合講演会, 2022 年 11 月, 仙台.
- (30) 西脇武志, Qi Hu, Lorenz Maier, Christoph Hartman, Wolfram Volk: 砂時計型試験片を用いた軟鋼板の降伏関数パラメータの同定, 日本塑性加工学会, 2023 年度塑性加工春季講演会, 2023 年 6 月, 名古屋.
- (31) 山田徹, 板倉風雅, 前田安郭, 蓮野昭人, 持田泰: アルミニウム合金ダイカストのプランジャ射出速度を可変した時の波動変化と空気巻き込み挙動, 日本鋳造工学会, 第 182 回全国講演大会概要集, p.58, 2023 年 10 月, 郡山.
- (32) T. Itakura, T. Yamada, Y. Maeda, A. Hasuno, Y. Mochida: Examination of Variable Tilting Speed on Flow Behavior during Ladle Pouring in Die Casting using SPH Simulation, PARTICLES 2023, VIII International Conference on Particle-Based Methods, Fundamentals and application, 2023 年 10 月, Milan.
- (33) T. Deguchi, K. Taki, Y. Maeda: Particle-based Flow Simulation of Molten Aluminum Alloy Through Casting Filters, PARTICLES 2023, VIII International Conference on Particle-Based Methods, Fundamentals and

application, 2023 年 10 月, Milan.

- (34) 板倉風雅, 山田徹, 前田安郭, 蓮野昭人, 持田泰: 粒子法シミュレーションによるダイカストラドル傾動速度の可変検討, 日本鑄造工学会, 第 181 回全国講演大会概要集, 2023, p.68, 2023 年 5 月, 大阪.
- (35) 出口大成, 滝康佑, 前田安郭: 鑄造用フィルタを通過するアルミニウム合金溶湯の湯流れシミュレーション, 日本鑄造工学会, 第 181 回全国講演大会概要集, 2023, p.69, 2023 年 5 月, 大阪.
- (36) 山田徹, 高田晃希, 前田安郭, 蓮野昭人, 持田泰: ダイカストにおけるラドル傾動速度が注湯挙動に及ぼす影響, 日本鑄造工学会東海支部, 2022 年度「鑄造技術対談と学生ポスターセッション」, 2022 年 11 月, 名古屋.
- (37) 出口大成, 前田安郭: 水モデル平板鑄型を用いた湯流れシミュレーションの検証, 日本鑄造工学会東海支部, 2022 年度「鑄造技術対談と学生ポスターセッション」, 2022 年 11 月, 名古屋.
- (38) Shutaro Machiya : Compressive bending property of BSCCO tapes, CEC-ICMC 2023, 2023 Cryogenic Engineering Conference and International Cryogenic Materials Conference, 2023 年 7 月, ホノルル.
- (39) Kei Somaya, Yuma Kobayashi, Junji Miyamoto, Takao Okabe : Effect of Impurity on Tribological Properties of Ionic Liquid Dispersed Polymer Particles, 9th International Tribology Conference (ITC 2023), September, 2023, Fukuoka, JAPAN.
- (40) Takao Okabe, Kei Somaya : Investigation on a Corrosion of Mechanical Materials by Ionic Liquids under High-vacuum Condition, 9th International Tribology Conference (ITC 2023), September, 2023, Fukuoka, JAPAN.
- (41) 足立尚哉, 近藤文義, 内田孝紀, 柚谷啓: 大気圧観測プローブ観測における風速・風向の影響調査, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, 2023 年 5 月, 東京.
- (42) 水野旭, 柚谷啓, 岡部貴雄: 曲がり梁を用いた可変絞り油静圧軸受の数値的検討, 日本設計工学会東海支部, 令和 4 年度研究発表講演会, 2023 年 3 月, 名古屋.
- (43) 釣部拓人, 坪井涼: 流体潤滑状態における凸型テクスチャの形状が摺動特性に及ぼす影響に関する数値的研究, 日本機械学会 第 21 回機素潤滑設計部門講演会 (MDT2022), 2022 年 12 月, オンライン開催.
- (44) 吉田拓司, 坪井涼: 凸型テクスチャを用いた摺動面において発生するキャビテーションの流体潤滑特性に与える影響についての数値的研究, 日本機械学会 東海支部第 54 回学生会卒業講演研究発表講演会 TOKAI ENGINEERING COMPLEX 2023, 2023 年 3 月, オンライン開催.
- (45) 濱野翔太郎, 坪井涼, 鈴木正也, 水野拓哉: 着氷現象における氷表面での単一液滴の衝突挙動に関する研究, 日本機械学会 東海支部第 54 回学生会卒業講演研究発表講演会 TOKAI ENGINEERING COMPLEX 2023, 2023 年 3 月, オンライン開催.
- (46) 小松正直, 坪井涼: カヌー競技用パドルのパドルリング時における流れのシミュレーション, 日本機械学会 東海支部第 71 期講演会 TOKAI ENGINEERING COMPLEX 2023, 2023 年 3 月, オンライン開催.
- (47) 小松正直, 坪井涼, 橋本卓也: カヌー競技用パドルのパドルリング時における流れに関する研究, 日本機械学会 2023 年度 年次大会, 2023 年 9 月, 東京.
- (48) 吉田拓司, 坪井涼: 凸型テクスチャを用いた摺動面における流体潤滑特性に対するキャビテーションの影響に関する数値的研究, 日本機械学会 2023 年度 年次大会, 2023 年 9 月, 東京.
- (49) 萩野将広, 永田恵都, 井上孝司: S55C の黒皮の被削性に関する基礎的研究, 材料とプロセス Vol.36, No.2, 2023, pp.540, 日本鉄鋼協会, 第 186 回秋季講演大会, 2023 年 9 月, 富山.
- (50) 花木玲男, 萩野将広, 井上孝司: 切削温度が材料変形と残留応力に与える影響, 材料とプロセス Vol.36, No.2, 2023, pp.541, 日本鉄鋼協会, 第 186 回秋季講演大会, 2023 年 9 月, 富山.
- (51) 永田恵都, 宮本潤示, 萩野将広: 窒化 HSS 工具による難削材の被削性評価, 精密工学会大会学術講演会講演論文集, B103, 2023, 2023 年度精密工学会秋季大会学術講演会, 2023 年 9 月, 福岡.
- (52) 芦徳偉, 萩野将広: CFRP の機械加工後の材料強度に関する研究, 精密工学会大会学術講演会講演論文集, B109, 2023, 2023 年度精密工学会秋季大会学術講演会, 2023 年 9 月, 福岡.
- (53) 宮本潤示: 金型用鋼のプラズマ窒化処理, (一社) 日本熱処理技術協会, 日本熱処理技術協会第 95 回 (2023 年春季) 講演大会, 2023 年 5 月, 東京.
- (54) 富澤天志, 宮本潤示, 南部紘一郎: 鋼の各種窒化処理法における窒化層が疲労特性に及ぼす影響, (一社) 日本鉄鋼協会, 日本鉄鋼協会第 186 回秋季講演大会, 2023 年 9 月, 富山.
- (55) 高橋尚幸, 宮本潤示, 金成姫: 空気中における鋼の大気圧プラズマジェット窒化処理法の開発, (一社) 日本鉄鋼協会, 日本鉄鋼協会第 186 回秋季講演大会, 2023 年 9 月, 富山.

- (56) 藤田昌也, 関小田駿輝, 井原禎貴, 小林芳成, 高橋周平: 高負荷 HCCI 燃焼時における圧力振動の時系列解析, 日本燃焼学会, 第 60 回燃焼シンポジウム, 2022 年 11 月, 東京.
- (57) 附柴崇也, 生田宗一郎, 傳田匠, 曾我部七海, 西川治光, 井原禎貴: 酸化チタンの熱誘起触媒能を用いた PM の酸化・分解, 日本機械学会, 第 33 回内燃機関シンポジウム, 2022 年 11 月, 東京.
- (58) 杉山仁滉, 尾形和哉: 三足歩行ロボットの歩行最適化と機体の製作, 日本機械学会東海支部, 第 72 期総会・講演会, 2023 年 3 月, オンライン開催.
- (59) 鈴木誠, 尾形和哉: ROS パッケージ gmapping を用いた SLAM の性能評価, 計測自動制御学会中部支部, 第 174 回教育工学研究会, 2023 年 9 月, 大同大学.
- (60) 羽田暁裕, 小里泰章: 積極的な渦操作による角柱まわりの流れ制御の試み, 計測自動制御学会中部支部, 第 174 回教育工学研究会, 2023 年 9 月, 名古屋.
- (61) Kazutake Komori: Predicting Ductile Fracture During Torsion Testing Using Ellipsoidal Void Model and Analytical Model, 15th International Conference on Fracture, June 2023, Atlanta GA USA.
- (62) 荒川翔麻, 篠原主勲: 並列計算による熱伝導解析の高速化, 日本機械学会東海支部第 72 期総会講演会, GF-01, 421, 2023 年 3 月, オンライン開催.
- (63) 渡邊友貴, 篠原主勲: 数値解析における主成分分析, 日本機械学会東海支部第 72 期総会講演会, GF-01, 418, 2023 年 3 月, オンライン開催.
- (64) 田村文乃, 野畑朱加, 篠原主勲, 西堀賢司, 長谷川昌之: 機械的位置エネルギーを利用した紙製空中ブランコロボットの開発, 日本機械学会東海学生会, 第 54 回学生員卒業研究発表会講演会, 1D1, 2023 年 9 月, 東京.
- (65) 田村文乃, 篠原主勲, 西堀賢司, 長谷川昌之: 乗り移り成功率向上を目指した紙製空中ブランコロボットの開発, 日本機械学会 2023 年度年次大会, S201-08, 2023 年 9 月, 東京.
- (66) 神戸駿斗, 篠原主勲, 西堀賢司, 長谷川昌之: 機械的位置エネルギーを利用した紙製空中ブランコロボットの 3D モデルの開発と解析, 日本機械学会 2023 年度年次大会, S201-09, 2023 年 9 月, 東京.
- (67) 松原俊亮, 吉田昌史, 内海能亜: 熱処理によるアルミニウム被覆チタンの表面改質, 日本熱処理技術協会中部支部講演会, 2023 年 4 月, 愛知.
- (68) 内海能亜, 中島邦斗, 吉田昌史: アルミニウム合金押し出し偏心管の回転引き曲げ加工, 塑性加工学期秋季講演大会, 2023 年 6 月, 愛知.
- (69) 松原俊亮, 吉田昌史, 内海能亜: 液体窒素中放電によりアルミニウム表面に形成した窒化アルミニウムの組織, 日本金属学会秋期講演大会, 2023 年 9 月, 富山.
- (70) N. Utsumi, K. Nakajima, M. Yoshida: Springback behaviour of extruded section in uniform bending, Tube Hydro 2022, November 14-17, 2022, Matsue.
- (71) K. Nakajima, N. Utsumi, M. Yoshida: Prediction method for thickness deviation of square tube on in-plane bending of strip, Tube Hydro 2022, November 14-17, 2022, Matsue.
- (72) K. Hara, M. Yoshida, N. Utsumi: Fine Particle Implantation into Metal Surfaces by Shot peening with Low Pressure, Tube Hydro 2022, November 14-17, 2022, Matsue.
- (73) 内海能亜, 中島邦斗, 吉田昌史: 偏心管の曲げ加工における肉厚の均一化, 日本鉄鋼協会第 185 回春季講演大会, 2023 年 3 月, 東京.
- (74) 中島邦斗, 内海能亜, 吉田昌史: 肉厚を増減させた円管の曲げ加工における偏肉に及ぼす加工度の影響, 塑性加工学期秋季講演大会, 2022 年 11 月, 仙台.
- (75) 赤池宏之, 梶田一真, 浅井勇人: 磁性ジョセフソン接合作製に向けたニッケル薄膜の作成, 第 70 回応用物理学会春季学術講演会, 2023 年 3 月, 東京.
- (76) 浅井勇人, 梶田一真, 赤池宏之: 陽極酸化法を用いた超伝導多層膜特性評価, 令和 5 年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会, 2023 年 8 月, 愛知.
- (77) 梶田一真, 浅井勇人, 赤池宏之: 超伝導磁性混成デバイスのための磁性薄膜の作成と評価, 令和 5 年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会, 2023 年 8 月, 愛知.
- (78) 富永元城, 上野拓己, 大島雄登, 植田俊明: IEC 規格に基づく風車ブレードレセプタの雷捕捉性能に関する実験的検討, 電気学会, 高電圧研究会, HV-23-003, 2023 年 1 月, 長崎.
- (79) 山崎一也, 植田俊明: 雷放電の光学観測に基づく放電経路に関する研究, 電気学会, 東海支部研究フォーラム, R5-1-04, 2023 年 7 月, 名古屋.

- (80) 山崎一也, 植田俊明: 雷放電の光学観測に基づく放電経路に関する研究, 電気学会, 東海支部連合大会, B3-1, 2023年8月, 豊橋.
- (81) 高橋主税, 稲熊幸雄, 大澤文明: 2次元リニアモータの回転と並進運動の検討, 電気学会産業応用部門大会, 2023年8月, 名古屋工業大学.
- (82) 伊藤慶則, 小島日向, 藤原栄仁, 高橋主税, 稲熊幸雄, 大澤文明: 電磁石可動子平面アクチュエータにおける回転並進駆動の検討, 電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会, 2023年8月, 豊橋科学技術大学.
- (83) 中嶋蓮, 千郷八雲, 古田純也, 稲熊幸雄, 大澤文明: ロータリ・リニアモータの電磁力増加の検討, 電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会, 2023年8月, 豊橋科学技術大学.
- (84) 榊原英記, 川福基裕: Raspberry Pi を用いた新規無線駆動車両の構築, 計測自動制御学会中部支部, 第174回教育工学研究会, 2023年9月, 名古屋.
- (85) 服部佳晋, 加地徹: 耐圧 650V 系パワーデバイスのボディダイオードのリカバリ特性比較, 第70回応用物理学会 春季学術講演会, 2023年3月, 上智大学.
- (86) 山口拓真, 野村勝也, 服部佳晋: GaN 縦型パワーデバイスにおける FLR 構造の設計に向けたトポロジー最適化の検討, 第70回応用物理学会 春季学術講演会, 2023年3月, 上智大学.
- (87) 松永いずみ, 安部登惟, 奥村惇史, 村瀬葵, 田中颯, 山田靖: パワー半導体実装用接合材料の高温・高電流密度での信頼性評価, エレクトロニクス実装学会, 第33回マイクロエレクトロニクスシンポジウム(MES2023), 2023年9月, 名古屋.
- (88) 山田靖, 八坂慎一, 伊勢谷健司, 東条三秋, 大竹康久: パワー半導体高温動作実装構造の信頼性, エレクトロニクス実装学会, 第33回マイクロエレクトロニクスシンポジウム(MES2023), 2023年9月, 名古屋.
- (89) 高橋昭雄, 羽深等, 山田靖, 唐澤志郎: KAMOME PJ の12年の成果と新しい展開, エレクトロニクス実装学会, 第33回マイクロエレクトロニクスシンポジウム(MES2023), 2023年9月, 名古屋.
- (90) 高橋昂祐, 萩原伸幸: 軸力のみを負担する細長い柱と梁で構成される構造の試み, 日本建築学会東海支部, 2022年度東海支部研究集会, 2023年2月, 名古屋.
- (91) 方カシン, 萩原伸幸: 吊り下げ変形に基づくラチス曲面の形状解析, 日本建築学会大会(近畿), 学術講演会, 2023年9月, 京都.
- (92) 武藤隆: 「芸術祭の会場と展示空間(2) 芸術祭の展示施設」, 日本建築学会 2023年度大会(近畿), 学術講演, 2023年9月13日, 京都大学.
- (93) 横井優生, 高橋之: 鉄筋径および節の形状とひび割れ間隔に関する実験, 日本建築学会東海支部研究報告集, 2023年2月, 名古屋.
- (94) 高橋之: コンクリート部材内のダウエル筋の間隔と耐力に関する実験, 日本建築学会学術講演梗概集, 2023年9月, 京都.
- (95) 藤森繁, 辺志切琉成, 長田知紘, 犬飼利嗣: セメントペースト部分の削孔速度抽出条件の修正と削孔速度に対する空気流入量の関係(その1: 削孔速度に及ぼす細骨材の粒度分布および水セメント比の影響), 日本建築学会, 2023年度大会, 2023年9月, 京都.
- (96) 辺志切琉成, 藤森繁, 長田知紘, 犬飼利嗣: セメントペースト部分の削孔速度抽出条件の修正と削孔速度に対する空気流入量の関係(その2: 修正した削孔速度と空気流入量との関係), 日本建築学会, 2023年度大会, 2023年9月, 京都.
- (97) 堀内優太, 古田ひかり, 犬飼利嗣, 藤森繁: 改良型小型羽根挿入式試験装置によるレオロジー定数の測定(その1: 水セメント比がフレッシュコンクリートのレオロジー定数に及ぼす影響), 日本建築学会, 2023年度大会, 2023年9月, 京都.
- (98) 古田ひかり, 堀内優太, 犬飼利嗣, 藤森繁: 改良型小型羽根挿入式試験装置によるレオロジー定数の測定(その2: 単位粗骨材量がフレッシュコンクリートのレオロジー定数に及ぼす影響), 日本建築学会, 2023年度大会, 2023年9月, 京都.
- (99) 西野健太郎, 横島潤紀, 森淳一, 森長誠, 山元一平: 魚眼レンズを搭載したカメラを用いた航空機飛行経路把握法の確立, 日本音響学会, 騒音・振動研究会, 2023年8月, 神奈川.
- (100) 小泊楓奈, 森淳一, 森長誠, 山元一平, 花香和之, 川瀬康彰: 航空機騒音のAI識別: 過去の研究と今後の課題, 日本音響学会, 騒音・振動研究会, 2023年8月, 神奈川.
- (101) 森長誠, 横島潤紀, 小林知尋, 横山栄, 牧野康一, 土肥哲也, 山崎徹: 低周波音による圧迫感・振動感の閾値に関す

る研究, 日本音響学会, 騒音・振動研究会, 2023 年 8 月, 神奈川.

- (102) Makoto Morinaga, Tomohiro Kobayashi, Kazuyuki Hanaka, Koji Shimoyama, Toshiyasu, Nakazawa, Naoaki Shinohara: A laboratory experiment on subjective evaluation of the sound quality of aircraft noise, The International Institute of Noise Control Engineering, the 52nd International Congress and Exposition on Noise Control Engineering, 2023. 8, Chiba.
- (103) Naoaki Shinohara, Koji Shimoyama, Toshiyasu Nakazawa, Makoto Morinaga, Tomohiro, Kobayashi, Kazuyuki Hanaka: Pilot study on evaluation indices for aircraft noise considering sound quality, The International Institute of Noise Control Engineering, the 52nd International Congress and Exposition on Noise Control Engineering, 2023. 8, Chiba.
- (104) Takashi Morihara, Yasuhiro Murakami, Koji Shimoyama, Makoto Morinaga, Shigenori, Yokoshima, Sohei Tsujimura, Yasuhiro Hiraguri, Takashi Yano: Effects of step changes in railway noise exposure and earthquakes on sleep disturbance, The International Institute of Noise Control Engineering, the 52nd International Congress and Exposition on Noise Control Engineering, 2023. 8, Chiba.
- (105) Yosuke Yasuda, Seiya Nishimura, Yu Kamiya, Makoto Morinaga: Effect of embankment slope on road traffic noise propagation: numerical investigation and construction of correction formula for difference by slope angle, The International Institute of Noise Control Engineering, the 52nd International Congress and Exposition on Noise Control Engineering, 2023. 8, Chiba.
- (106) Thu Lan Nguyen, Tran Thi Hong, Nhung Nguyen, Bach Lien Trieu, Makoto Morinaga, Takashi Morihara, Yasuhiro Hiraguri, Takashi Yano, Yosiaki Sasazawa: A study examining the long-term effects of aircraft noise on the surrounding residents before the opening of Long Thanh Airport, The International Institute of Noise Control Engineering, the 52nd International Congress and Exposition on Noise Control Engineering, 2023. 8, Chiba.
- (107) Shinya Hyodo, Yu Yamashita, Masahito Kobayashi, Makoto Morinaga, Yosuke Yasuda: Development of a dry-type double floor with high vibration isolation for improvement of floor impact sound insulation performance on CLT buildings, The International Institute of Noise Control Engineering, the 52nd International Congress and Exposition on Noise Control Engineering, 2023. 8, Chiba.
- (108) Yumi Koyama, Jun Toyotani, Makoto Morinaga, Hyojin Lee, Yasushi Shimizu: On a recording method for ambient sounds with a confidential speech, The International Institute of Noise Control Engineering, the 52nd International Congress and Exposition on Noise Control Engineering, 2023. 8, Chiba.
- (109) Bach Lien Trieu, Tran Thi Hong, Nhung Nguyen, Thu Lan Nguyen, Makoto Morinaga, Takashi Morihara, Yasuhiro Hiraguri, Takashi Yano, Yosiaki Sasazawa, Quoc Viet Tran, Duc Thanh Bui, Ha Hieu Tran, Thi Ngoc Dung Nguye, Pham Nguye, Thanh Do: Preliminary survey on the effects of indoor noise in the hospital located close to Tan Son Nhat Airport, The International Institute of Noise Control Engineering, the 52nd International Congress and Exposition on Noise Control Engineering, 2023. 8, Chiba.
- (110) 兵藤伸也, 山下祐, 小林真人, 森長誠, 安田洋介: CLT 建築物の床衝撃音遮断性能向上のための乾式二重床の開発, 日本建築学会, 日本建築学会大会, 2023 年 9 月, 京都.
- (111) 小泊楓奈, 森淳一, 森長誠, 土屋健伸, 山元一平, 花香和之, 川瀬康彰: 航空機騒音の AI 識別: CNN を用いた地上騒音と飛行騒音の分類, 日本音響学会, 2023 年秋季研究発表会, 2023 年 9 月, 名古屋.
- (112) 小松史弥, 土屋健伸, 森淳一, 森長誠, 横島潤紀, 西野健太郎, 山元一平: 魚眼カメラを搭載した IoT システムによる航空機測位の計測精度, 日本音響学会, 2023 年秋季研究発表会, 2023 年 9 月, 名古屋.
- (113) 兵藤伸也, 山下祐, 小林真人, 森長誠, 安田洋介: 箱型モデルを用いた CLT 建築物の床衝撃音に関する研究—乾式二重床の設置が床スラブと壁面の振動特性に及ぼす影響—, 日本音響学会, 2023 年秋季研究発表会, 2023 年 9 月, 名古屋.
- (114) 西井朋也, 森淳一, 森長誠: 加振信号を用いた CNN による外壁タイルの健全性評価, 日本音響学会, 2023 年秋季研究発表会, 2023 年 9 月, 名古屋.
- (115) 横島潤紀, 森長誠, 牧野康一, 土肥哲也, 横山栄, 小林知尋, 山崎徹: 低周波数成分を含む交通騒音の主観評価・その 1—圧迫感・振動感及びイベント回数の影響—, 日本音響学会, 2023 年秋季研究発表会, 2023 年 9 月, 名古屋.
- (116) 森長誠, 横島潤紀, 小林知尋, 横山栄, 牧野康一, 土肥哲也, 山崎徹: 低周波数成分を含む交通騒音の主観評価・そ

の 2 一低周波数成分による「気になる」印象の違い，日本音響学会，2023 年秋季研究発表会，2023 年 9 月，名古屋。

- (117) 古味由惟，横島潤紀，森長誠，須田直樹，梅崎良樹，山崎徹：居住者視点に基づく調査票による社会反応の基礎検討，日本音響学会，2023 年秋季研究発表会，2023 年 9 月，名古屋。
- (118) 樋口恵一，広瀬陽介，小倉俊臣，嶋田喜昭：名古屋市におけるシニアカー推奨地域の抽出に関する研究～買物不便対策・Well-being の向上を目指して，土木学会，第 66 回土木計画学研究発表会，2022 年 11 月，沖縄。
- (119) 樋口恵一，坂谷瑠哉，嶋田喜昭：自立した近隣街区の抽出と低速モビリティの適用路線評価，土木学会，第 67 回土木計画学研究発表会，2023 年 6 月，福岡。
- (120) 村上滉一，樋口恵一，嶋田喜昭：愛知県名古屋市における歩いて暮らしやすい公営住宅の評価，日本福祉のまちづくり学会，第 26 回全国大会，2023 年 10 月，宇都宮。
- (121) 嶋本直人，大洞輝雄，沼野浩祐，古田淳士，棚橋秀行，大島裕之：界面活性剤に発泡剤を併用した油汚染土壌の原位置浄化技術の実用化，地盤工学会・日本地下水学会など共催，第 28 回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会，2023 年 6 月，函館。
- (122) Yasuhiro Mimura, Keiichi Higuchi, Ryo Tomura, Shinji Yoshida : Effects of Physical Functional Characteristics of Older Drivers on Spatial Cognition at Unsignalized Intersections, The 15th International Conference of Eastern Asia Society for Transportation Studies (EASTS2023) , 2023 年 9 月, Malaysia.
- (123) 樋口恵一他 7 名：まちづくり業務に携わる障害当事者の教育課程と就労の実態，日本福祉のまちづくり学会，第 26 回全国大会，2023 年 10 月，宇都宮。
- (124) 伊藤純，樋口恵一：避難支援マッチングアプリの受容性評価 ー新たな共助体制の構築を目指してー，日本福祉のまちづくり学会，第 26 回全国大会，2023 年 10 月，宇都宮。
- (125) 中村健人，宮寄靖大：ステンレス鋼および炭素鋼製中空正方形断面柱の連成座屈強度評価法，土木学会，令和 5 年度土木学会全国大会第 76 回年次学術講演会，2023 年 9 月，広島。
- (126) 古川諒太，宮寄靖大：偏心圧縮負荷を受けるステンレス鋼製開断面柱の終局強度，土木学会，令和 5 年度土木学会全国大会第 76 回年次学術講演会，2023 年 9 月，広島。
- (127) 岸祐介，宮寄靖大，片山智貴：鋼橋上部工に用いられる H 形断面部材の圧縮強度に関する載荷試験による一検討，土木学会，令和 5 年度土木学会全国大会第 76 回年次学術講演会，2023 年 9 月，広島。
- (128) 五十嵐友旗，川本佑太，藤田匠，岡田誠司，宮下剛，宮寄靖大，飯田哲也，松村寿男，小野潔：SUS316 を用いた自由突出板の耐荷力特性に関する実験的研究，土木学会，令和 5 年度土木学会全国大会第 76 回年次学術講演会，2023 年 9 月，広島。
- (129) 星野由，宮寄靖大，大西達也，志村保美，小林裕輔，澁谷敦：防食処理を施した SUS316 と SS400 の高力ボルト継手部の複合サイクル試験，土木学会，令和 5 年度土木学会全国大会第 76 回年次学術講演会，2023 年 9 月，広島。
- (130) 井村圭吾，山崎諒介，大門大，渡邊俊輔，宮寄靖大，小野潔：SBHS500 の同一鋼板内での機械的性質のバラつきに関する実験的研究，土木学会，令和 5 年度土木学会全国大会第 76 回年次学術講演会，2023 年 9 月，広島。
- (131) 中村健人，宮寄靖大：Cr-Ni 系ステンレス鋼製中空正方形断面柱の局部座屈強度評価法，土木学会，第 40 回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会，2022 年 11 月，オンライン開催。
- (132) 山田悠作，宮寄靖大，志村保美：繰返し負荷を受ける SUS316 および SUS323L の材料特性，土木学会，第 40 回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会，2022 年 11 月，オンライン開催。
- (133) 柳澤茉依，宮寄靖大，田村洋，小室雅人，田中賢太：溶接残留応力を考慮した鋼製橋脚の準静的挙動，土木学会，第 40 回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会，2022 年 11 月，オンライン開催。
- (134) 加藤尚希，宮寄靖大，酒造敏廣：単軸水平方向に準静的負荷を受ける鋼変断面柱の強度特性，土木学会，第 40 回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会，2022 年 11 月，オンライン開催。
- (135) 大塚優樹，宮寄靖大，佐藤勝太，小沼浩之：腐食環境下におけるプライマーの違いによる SS400 への CFRP 接着工法に関する引張試験，土木学会，第 40 回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会，2022 年 11 月，オンライン開催。
- (136) 内山草太郎，宮寄靖大：側方荷重を受ける SUS316 製二次部材を有する鋼鈹桁橋の終局強度，土木学会，第 40 回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会，2022 年 11 月，オンライン開催。
- (137) 古川諒太，宮寄靖大：偏心圧縮負荷を受けるステンレス鋼製溝形断面柱の強度特性，土木学会，第 40 回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会，2022 年 11 月，オンライン開催。

- (138) 北川舞, 棚村壽三, 光田恵: 加熱式たばこのにおいの容認性に関する研究 - 紙巻きたばこの比較, 室内環境学会, 2022 年室内環境学会学術大会, 2022 年 12 月, 東京.
- (139) 近藤早紀, 光田恵, 棚村壽三: 給気口が空間下部にある空間のにおい物質の分布に関する研究-アンモニアと D-リモネンをを用いた検討-, 人間-生活環境系学会, 第 46 回人間-生活環境系シンポジウム (姫路), 2022 年 12 月, 兵庫.
- (140) 近江陽向, 近藤早紀, 棚村壽三, 光田恵, 志村欣一, 出原範久: 生活環境のにおいに対する半導体ガスセンサの応答特性, 人間-生活環境系学会, 第 46 回人間-生活環境系シンポジウム (姫路), 2022 年 12 月, 兵庫.
- (141) 林憧子, 光田恵, 棚村壽三, 今中努志, 高綱秀和, 古庄義明: 被験者室の湿度がにおい評価に及ぼす影響, 人間-生活環境系学会, 第 46 回人間-生活環境系シンポジウム (姫路), 2022 年 12 月, 兵庫.
- (142) 林憧子, 光田恵, 棚村壽三: におい評価へのにおい袋内の湿度影響, 公益社団法人におい・かおり環境協会, 令和 5 年度第 36 回におい・かおり環境学会, 2023 年 8 月, 静岡.
- (143) 萬羽郁子, 堀江菜々恵, 光田恵: 被験者属性の違いがにおい評価に及ぼす影響-におい質の評価結果-, 公益社団法人におい・かおり環境協会, 令和 5 年度第 36 回におい・かおり環境学会, 2023 年 8 月, 静岡.
- (144) 近藤早紀, 岡知里, 光田恵, 棚村壽三: リードディフューザー型芳香剤のにおいの拡がり方に関する研究(第 2 報), 公益社団法人におい・かおり環境協会, 令和 5 年度第 36 回におい・かおり環境学会, 2023 年 8 月, 静岡.
- (145) 近江陽向, 棚村壽三, 光田恵: 複合臭に対する半導体ガスセンサの応答特性に関する検討, 公益社団法人におい・かおり環境協会, 令和 5 年度第 36 回におい・かおり環境学会, 2023 年 8 月, 静岡.
- (146) 岡知里, 近藤早紀, 光田恵, 棚村壽三: リードディフューザー型芳香剤のにおいの拡がり方に関する研究(第 1 報) 芳香剤設置高さによる検討, 公益社団法人におい・かおり環境協会, 令和 5 年度第 36 回におい・かおり環境学会, 2023 年 8 月, 静岡.
- (147) 北川舞, 棚村壽三, 光田恵: 生活環境のにおいに関する評価, 公益社団法人におい・かおり環境協会, 令和 5 年度第 36 回におい・かおり環境学会, 2023 年 8 月, 静岡.
- (148) 瀬林克啓, 丸山充, 岩田一, 君山博之, 仲地孝之, 加藤康久, 青木弘太, 三島航, 深川祐太, 小原泰弘, 漆谷重雄, 栗本崇, 河合栄治, 大槻英樹, 小林和真: SRv6 を用いた低遅延リアルタイム配信処理プラットフォーム, ADVNET2023 実行委員会, 先端ネットワーク利用研究に関するワークショップ ADVNET2023, 2023 年 10 月, 東京.
- (149) 仲地孝之, 君山博之, 丸山充: JPEG XS と互換性を有するスクランブル階層符号化における Golomb 符号化の検討, 電子情報通信学会, 信号処理研究会, 2023 年 7 月, 北海道.
- (150) Yuhi Katoh, Shuto Kataoka, Daichi Muramatsu, Takashi Kurimoto, Hiroyuki Kimiyama: Benchmark Software Development for Evaluating the Upload Speed through Mobile Network, IEEE, International Conference on Consumer Electronics – Taiwan (ICCE-Taiwan 2023), 2023 年 7 月, 台湾.
- (151) Yuya Shibata, Yugo Kubota, Naoki Sugiura, Hiroyuki Kimiyama: Study on Availability of MPI for Uncompressed 8K-Video Real-time Processing, IEEE, International Conference on Consumer Electronics – Taiwan (ICCE-Taiwan 2023), 2023 年 7 月, 台湾.
- (152) 村松大智, 加藤優陽, 片岡秀斗, 矢嶋翔, 栗本崇, 君山博之: 無線ネットワークにおけるアップロード速度評価のためのベンチマークツールの開発, 情報処理学会, 「マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2023) シンポジウム」, 2023 年 7 月, 富山.
- (153) 仲地孝之, 君山博之, 丸山充: スクランブル画像領域での JPEG XS を用いたロスレス階層符号化, 電子情報通信学会, 第 45 回情報理論とその応用シンポジウム (SITA2022), 2022 年 11 月, 北海道.
- (154) Takayuki Nakachi, Hiroyuki Kimiyama, Mitsuru Maruyama: Lightweight Scrambled JPEG XS Coding for Privacy Protection, 2022 International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems (ISPACS), 2022 年, Malaysia.
- (155) 眞田翔達, 野田和彦, 桑野茂: RTK-GNSS におけるデータ量削減の測位精度への影響, 電気学会, 全国大会, 2023 年 3 月, 名古屋.
- (156) 渡邊祐太, 渡辺啓太, 桑野茂: 低速無線を用いた RTK-GNSS による高精度測位, 計測自動制御学会中部支部, 第 174 回教育工学研究会, 2023 年 9 月, 名古屋.
- (157) Shaoxiang Dang, Tetsuya Matsumoto, Yoshinori Takeuchi, Hiroaki Kudo, Takashi Tsuboi, Yasuhiro Tanaka, Masahisa Katsuno: Using Self-learning Representations for Objective Assessment of Patient Voice in Dysphonia, 2022 Asia-Pacific Signal and Information Processing Association Annual Summit and Conference (APSIPA

ASC), 2022 年 11 月, Chiang Mai, Thailand.

- (158) Shaoxiang Dang, Tetsuya Matsumoto, Yoshinori Takeuchi, Hiroaki Kudo : Using Semi-supervised Learning for Monaural Time-domain Speech Separation with a Self-supervised Learning-based SI-SNR Estimator, INTERSPEECH 2023, 3759-3763, 2023 年 8 月, Dublin, Ireland.
- (159) 陳奕宸, 松本哲也, 竹内義則, 工藤博章: 空間アテンションと属性相関関係に基づいた歩行者属性認識システム, 電子情報通信学会イメージ・メディア・クオリティ研究会, 122, 317, 16-21, 2022 年 12 月, 千葉.
- (160) 党少翔, 松本哲也, 竹内義則, 工藤博章: 話者間の識別損失の導入による時間領域モノラル音声分離, 電子情報通信学会イメージ・メディア・クオリティ研究会, 122, 437, 375-380, 2023 年 3 月, 東京.
- (161) 石田陵真, 松本哲也, 竹内義則, 工藤博章: 物体検出と深度推定によるバスケットボールにおけるアウトオブバウンズの判定, 電子情報通信学会イメージ・メディア・クオリティ研究会, 123, 44, 1-6, 2023 年 5 月, 東京.
- (162) 小野一眞, 松本哲也, 竹内義則, 工藤博章: 漫画キャラクタ描画時の顔パーツのバランス修正システム, 電子情報通信学会イメージ・メディア・クオリティ研究会, 123, 139, 21-25, 2023 年 7 月, 北海道.
- (163) 鈴木健悟, 竹内義則: 視覚障がい者のための賞味・消費期限情報取得システムの開発, 電気関係学会東海支部連合大会, 2023 年 8 月, 愛知.
- (164) S. Ishihara, S. Tsuge, M. Inaba, and W. Zaitzu: Estimating the Strength of Authorship Evidence with a Deep-Learning-Based Approach, The 20th Annual Workshop of the Australasian Language Technology Association, pp. 183-187, Dec. 2022, Adelaide Australia.
- (165) 亀田健太郎, 黒岩眞吾, 堀内靖雄, 柘植覚, 西田昌史: 単語発声による同一話者判定 DNN の学習と話者照合, 日本音響学会, 日本音響学会 2023 年秋季研究発表会, 2023 年 9 月, 名古屋.
- (166) 高山響, 西田昌史, 柘植覚, 黒岩眞吾, 西村雅史: 感情を想定した発話スタイル依存型話者照合, 日本音響学会, 日本音響学会 2023 年秋季研究発表会, 2023 年 9 月, 名古屋.
- (167) 大塚文雄, 不破勝彦, 中嶋猛: 植物生育時の環境変化や外乱の影響に関する一考察, 電気学会, 令和 5 年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会, 2023 年 8 月 28 日, 豊橋.
- (168) Khang Nguyen Cong, 不破勝彦, 水野直樹, 沖村達也: 保全性を考慮した車輪型倒立ロボットの位置決め制御系設計, 電気学会, 令和 5 年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会, 2023 年 8 月 28 日, 豊橋.
- (169) Hiroshi Kanayama, Masao Ogino, Shin-ichiro Sugimoto, Kaworu Yodo : A preconditioner of the interface problem for magnetostatic domain decomposition analysis, COMPUMAG 2023, May 2023, Kyoto.
- (170) 荻野正雄: 異種混合プロセッサにおける並列 FEM コードの性能評価, 第 35 回日本機械学会計算力学部門講演会, 2022 年 11 月, オンライン開催.
- (171) 古畑颯真, 荻野正雄: High Performance Python 技法を用いた機械学習の高速化の検討, 第 35 回日本機械学会計算力学部門講演会, 2022 年 11 月, オンライン開催.
- (172) 杉本振一郎, 武居周, 荻野正雄: 高周波電磁界-熱伝導連成問題における 2.7 億自由度数値人体モデルの有限要素解析, 第 35 回日本機械学会計算力学部門講演会, 2022 年 11 月, オンライン開催.
- (173) 荻野正雄: 2 次元静磁場問題に対する Physics-Informed Neural Networks の適用, 第 6 回大規模電磁界数値解析手法に関する研究シンポジウム, 2023 年 2 月, 八戸.
- (174) 金山寛, 荻野正雄, 杉本振一郎, 淀薫: A unified justification of preconditioners of the interface problem for non-overlapping domain decomposition analysis, 電気学会静止器/回転機合同研究会, 2023 年 3 月, 平塚.
- (175) 荻野正雄: 計算工学技術者育成における情報学の役割, 第 28 回計算工学講演会, 2023 年 5 月~6 月, つくば.
- (176) 荻野正雄: PINNs による 2 次元静磁場問題解析の基礎的検討, 第 28 回計算工学講演会, 2023 年 5 月~6 月, つくば.
- (177) Masao Ogino : 【Keynote Lecture】 Large-scale magnetostatic field analysis using physical-informed neural networks, ICCM 2023, August 2023, Ho Chi Minh.
- (178) Shin-ichiro Sugimoto, Amane Takei, Masao Ogino : FE Analysis of Numerical Human Body Model with 270 Million DOFs in Electromagnetic Field – Heat Conduction Coupled Problem, JSST 2023, August 2023, Niigata.
- (179) 古畑颯真, 荻野正雄: High-performance Python 技法の機械学習への応用・性能評価, 令和五年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会, 2023 年 8 月, 豊橋.
- (180) 荻野正雄: 線形静磁場解析における PINNs の並列計算, 第 36 回日本機械学会計算力学部門講演会, 2023 年 10 月, 豊橋.

- (181) 古畑颯真, 荻野正雄 : 疎行列・ベクトル積演算における High-performance Python 技法の性能評価, 第 36 回日本機械学会計算力学部門講演会, 2023 年 10 月, 豊橋.
- (182) 杉本振一郎, 武居周, 荻野正雄 : 2.7 億自由度数値人体モデルの高周波電磁界-熱伝導連成解析, 第 36 回日本機械学会計算力学部門講演会, 2023 年 10 月, 豊橋.
- (183) 喜田健司 :  $H^\infty$ 制御理論を用いた肩掛け型ウェアラブルスピーカの逆フィルタ設計, 電子情報通信学会, ソサイエティ大会, 2023 年 9 月, 名古屋大学.
- (184) Misako Imono, Seiji Tsuchiya, Hirokazu Watabe : Construction of Concept-Base including Internet-Derived Words, World Congress in Computer Science, Computer Engineering, & Applied Computing, ICAI'23, 2023 年 7 月, オンライン開催.
- (185) 上岡和弘, 岡本純, 松本義宏 : 愛知県内ものづくり企業「愛知ブランド」にみる、コロナ禍直後(2020-2021 年度)の広告宣伝及び広報活動に関する意識調査, 日本広告学会, 第 2 回中部部会, 2023 年 5 月, 名古屋学院大学.
- (186) 竹川侑吾, 宮川幸太郎, 横山弥生 : 3D データ化とその活用方法・普及について, 日本図学会中部支部, 冬季例会, 2023 年 2 月, 名古屋.
- (187) 桐山岳寛 : 学生による 2 つの展示会デザインを経て, 2022 年度日本図学会中部支部, 冬季例会口頭発表, 2023 年 2 月 20 日, 名古屋.
- (188) 中村裕哲 : コロナ禍におけるクロスボーダーM&A と国際戦略提携の動向, 国際ビジネス研究学会, 第 30 回年次大会, 2023 年 10 月, 東京.
- (189) 上野康平: Bottcher coordinates for superattracting and polynomial skew products, 第 66 回函数論シンポジウム, 2023 年 10 月 21 日, 富山大学.
- (190) K. Ueno: Dynamics of superattracting skew products, 日本数学会 2023 年度年会, 2023 年 3 月 16 日, 中央大学.
- (191) K. Ueno: Dynamics of superattracting skew products on the attracting basins, RIMS 研究集会 複素力学系と関連分野, 2022 年 12 月 13 日, 京都大学.
- (192) 今井健二 : ポテンシャル型 Lagrangian を有する  $n$  次元 Lotka-Volterra 方程式の導出とその可積分性, 日本物理学会, 2023 年春季大会, 2023 年 3 月, オンライン開催.
- (193) 斉田浩見 : 銀河系中心ブラックホールによる重力理論の検証, 時空特異点と関連テーマの研究者有志による主催, 第 23 回特異点研究会, 2022 年 12 月, イールーム名古屋駅前.
- (194) 斉田浩見, 西山正吾他(すばる望遠鏡プロポーザル構成員) : On the Parametrized-Post-Newtonian Test of General Relativity at Galactic Center Massive Black Hole, 国立天文台ハワイ観測所, Subaru Users Meeting FY2022, 2023 年 2 月, 国立天文台三鷹キャンパス.
- (195) 斉田浩見, 西山正吾他(すばる望遠鏡プロポーザル構成員) : 銀河系中心でのブラックホール時空の PPN テスト : カイ二乗フィッティング, 日本物理学会, 第 78 回年次大会, 2023 年 3 月, オンライン開催.
- (196) 斉田浩見 : 量子重力の普遍的性質と古典重力理論の探査, 神戸大学宇宙論グループと周辺有志による主催, Cosmology and Gravitation as Kobe, 2023 年 9 月, 神戸大学総合研究拠点コンベンションホール.
- (197) 小西章典 : (招待講演) デイヴィッド・ギャリックと〈疲労困憊のアントニー〉, 科研費プロジェクト「「シェイクスピア崇拜」と 18 世紀イングランド娯楽ビジネス」(課題番号 20H01242) 第 6 回研究会, 2023 年 3 月, 福岡.
- (198) 小西章典 : “Signor Shakespearelli” と 1750 年代のロンドン・オペラ, 日本ジョーンソン協会, 第 55 回日本ジョーンソン協会大会 : シンポジウム「ギャリックと 18 世紀演劇文化」, 2023 年 7 月, 兵庫.
- (199) 山内昇 : 現代英語における speak of the devil の語用論的拡張について, 日本語用論学会, 日本語用論学会第 25 回大会, 2022 年 11 月, オンライン開催.
- (200) 山内昇 : 現代英語における speak of the devil の生産性と創造性, 英語語法文法学会, 英語語法文法学会第 31 回大会, 2023 年 10 月, 東京.

## 作 品

- (1) 小谷明, 田中淑晴, 原野智哉, 綿崎将大 : 液面追従機能を有するフロート式非接触型磁気駆動攪拌装置, 国際展示会 FOOMA JAPAN 2023, 東京ビッグサイト, 2023 年 6 月 6 日~9 日.
- (2) 中島貴光 : 照明装置「あかりアート 2023」, 第 30 回美濃和紙あかりアート展, 2023 年 10 月.
- (3) 船橋仁奈 / NI&Co. Architects 一級建築士事務所 : DEFRAGMENTATION, 国際建築展「TIME SPACE

EXISTENCE」, イタリア ヴェネチア, 2023 年 5 月～11 月.

- (4) 船橋仁奈／NI&Co. Architects 一級建築士事務所：(仮称) U 社新社屋新築工事, 岐阜県, 2023 年 10 月基本設計終了.
- (5) 上岡和弘：「AQPR 教えてテクノエイトさん」, 愛知県産業振興課 HP, 愛知県産業振興課 HP, 2023 年 4 月.
- (6) 上岡和弘：「HOPES PosterDesignWorks2022」, 南区いきいき支援センターHP 及び区内各所, 2023 年 4 月～.
- (7) 上岡和弘：「AQPR ボードゲーム」, 愛知県産業振興課 HP, 2022 年 4 月～.
- (8) 上岡和弘：「AQPR 音を閉じ込め人を守る」, 愛知県産業振興課 HP, 2022 年 4 月～.
- (9) 上岡和弘：「AQPR じゅりのドタバタセイワ体験記」, 愛知県産業振興課 HP, 2022 年 4 月～.
- (10) 小島一宏：「C.A.M.P. BASKET」, 東海ラジオ放送, 日曜 17:00～19:00 生放送, 計 52 本.
- (11) 小島一宏：「世間遺産」南知多町・師崎の旅④ (前編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2022 年 11 月放送.
- (12) 小島一宏：「世間遺産」南知多町・師崎の旅④ (後編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2022 年 11 月放送.
- (13) 小島一宏：「世間遺産」常滑市・大曾町の旅 (前編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2022 年 12 月放送.
- (14) 小島一宏：「世間遺産」常滑市・大曾町の旅 (後編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2022 年 12 月放送.
- (15) 小島一宏：「世間遺産」武豊町・鹿狩池周辺の旅② (前編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 1 月放送.
- (16) 小島一宏：「世間遺産」武豊町・鹿狩池周辺の旅② (後編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 1 月放送.
- (17) 小島一宏：「世間遺産」美浜町浦戸・新浦戸の旅② (前編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 2 月放送.
- (18) 小島一宏：「世間遺産」美浜町浦戸・新浦戸の旅② (後編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 2 月放送.
- (19) 小島一宏：「世間遺産」常滑市・塩田町の旅 (前編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 3 月放送.
- (20) 小島一宏：「世間遺産」常滑市・塩田町の旅 (後編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 3 月放送.
- (21) 小島一宏：「世間遺産」南知多町・日間賀島特別編／日間賀中学校の旅 (前編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 4 月放送.
- (22) 小島一宏：「世間遺産」南知多町・日間賀島特別編／日間賀中学校の旅 (後編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 4 月放送.
- (23) 小島一宏：「世間遺産」武豊町・ゆめくりん&CCNC プールたけとよの旅 (前編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 5 月放送.
- (24) 小島一宏：「世間遺産」武豊町・ゆめくりん&CCNC プールたけとよの旅 (後編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 5 月放送.
- (25) 小島一宏：「世間遺産」美浜町・美浜町役場周辺の旅 (前編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 6 月放送.
- (26) 小島一宏：「世間遺産」美浜町・美浜町役場周辺の旅 (後編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 6 月放送.
- (27) 小島一宏：「世間遺産」南知多町・大井の旅③ (前編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 7 月放送.
- (28) 小島一宏：「世間遺産」南知多町・大井の旅③ (後編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 7 月放送.
- (29) 小島一宏：「世間遺産」常滑市・大野町の旅③ (前編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 8 月放送.
- (30) 小島一宏：「世間遺産」常滑市・大野町の旅③ (後編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 8 月放送.
- (31) 小島一宏：「世間遺産」武豊町・中央公民館&図書館の旅 (前編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 9 月放送.
- (32) 小島一宏：「世間遺産」武豊町・中央公民館&図書館の旅 (後編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 9 月放送.
- (33) 小島一宏：「世間遺産」美浜町・小野浦周辺の旅 (前編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 10 月放送.
- (34) 小島一宏：「世間遺産」美浜町・小野浦周辺の旅 (後編), 知多半島ケーブルネットワーク, 2023 年 10 月放送.
- (35) 小島一宏：「三鷹の森アニメフェスタ 2022」第二部 MC およびトークショー構成・進行, 2023 年 3 月 4 日.
- (36) 小島一宏：「聞こう・語ろう コナンへの想い！」MC およびトークショー構成・進行, 2023 年 4 月 4 日.
- (37) 小高直樹：オーケストラアレンジ「深呼吸」「世界に一つだけの花」NHK ハグくむコンサートテレビ公開収録, 中部フィルハーモニー交響楽団, 安城市民会館, 2022 年 11 月 20 日.
- (38) 小高直樹：オーケストラアレンジ「カムカムエブリバディ」NHK カムカムエブリバディ再会コンサートテレビ公開収録, 岡山フィルハーモニック交響楽団, 岡山シンフォニーホール, 2023 年 3 月 30 日.
- (39) 富永慎一, 富永研究室：大同大学プロモーション, オンライン掲載, 大同大学ホームページ・Youtube, 2023 年 7 月～.
- (40) 横山弥生：第 36 回パリ国際サロン, 「Days gone by#1」, 「Days gone by#2」, 展覧会, パリギャラリー・デュ・マ

レ, 2023 年 2 月.

- (41) 横山弥生: 第 24 回日本・フランス現代美術世界展, 「Beflower」, 「Dalhia」, 「Sweetpea」, 「Lily」, 「spider lily」, 展覧会, 国立新美術館, 2023 年 8 月.
- (42) 横山弥生: 第 2 回 TOKYO 世界展・パリ 2023-, 「Afterglow#2」, 展覧会, パリバステューユ・デザイン・センター, 2023 年 5 月.
- (43) 横山弥生: Le Salon des Artistes France 2023, 「Afterglow」, 展覧会, Grand Palais Ephemere Paris, 2023 年 3 月.
- (44) 横山弥生: PRINTS ON B' DWAY, 「Days gone by#1」, 「Days gone by#2」, 展覧会, Gallery Max NY, 2022 年 12 月.
- (45) 横山弥生: 丸善・丸の内アートフェア 2022, 「Days gone by#1」, 「Days gone by#2」, 「Days gone by#3」, 展覧会, 丸善・丸の内アートギャラリー, 2022 年 12 月.
- (46) 横山弥生: PEACE2023, 「Jasmine」, 展覧会, INTERNATIONAL CENTER OF CCCS NY, 2023 年 8 月.
- (47) 舟橋慶祐: シングルスプレー混合栓 (センサー式) EK370E, SANEI 株式会社カタログ, タカラスタンダード株式会社カタログ, 2023 年 4 月.
- (48) 舟橋慶祐: パネルサーモシャワー混合栓 SK9880A, SANEI 株式会社カタログ, 2023 年 4 月.
- (49) 桐山岳寛: 認定特定非営利法人日本国際ポスター美術館「2023 年度全国高校生ポスターコンクール」: 作品募集ポスターデザイン, 2023 年 3 月. 展覧会告知ポスターデザイン, 2023 年 3 月. 作品募集フライヤーデザイン, 2023 年 3 月. 募集要項用紙デザイン, 2023 年 3 月. 賞状デザイン, 2023 年 8 月. 受賞作品集デザイン, 2023 年 8 月.
- (50) 桐山岳寛: 大同大学大同高等学校 VI リニューアルプロジェクト, 大同大学大同高校、大同大学企画室, 2023 年 4 月～7 月.
- (51) 原田昌明: 地域連携パフォーミングアーツ実行委員会主催 17 回公演オペラッタ「天国と地獄」舞台映像, 公演, 半田市福祉文化会館 雁宿ホール, 2023 年 8 月.
- (52) 原田昌明: 地域連携パフォーミングアーツ実行委員会主催 16 回公演こどもオペラ「オーバー・ザ・レインボー」舞台映像, 公演, 半田市福祉文化会館 雁宿ホール, 2023 年 3 月.
- (53) 杉本幸雄: 愛知こどもホスピス・プロジェクト ホームページ SNS 2023 年 9 月～.
- (54) 杉本幸雄: 子どもたちの自立を支援する NPO 法人「陽和」ショートフィルム制作 SNS 2023 年 8 月～.

## 受賞

- (1) 大嶋和彦: オメガの会第 2 回スピーカーコンテスト雛スワン賞, 薄板バックロードホーン, 2023 年 10 月.
- (2) 横山弥生: Le Salon des Artistes France 2023 入選, 「Afterglow」, 2023 年 3 月.
- (3) 横山弥生: 第 36 回パリ国際サロン ギャラリー・デュ・マレ賞, 「Days gone by#1」, 2023 年 2 月.
- (4) 桐山岳寛: 2022 American Graphic Design Award, Brochures + Collateral 部門, 大同大学キャリアセンター, 大同大生が学ぶ情報伝達スキル, パンフレットデザイン, 2022 年 12 月.
- (5) 桐山岳寛: 米国 IDA Design Awards Bronze medal: Print-Posters 部門, 全国高校生ポスターコンクール募集ポスター, 2023 年 1 月.
- (6) 桐山岳寛: 米国 IDA Design Awards: Honorable Mention, YOHAKU Plus VI 計画, 2023 年 1 月.
- (7) 桐山岳寛: 米国 IDA Design Awards: Honorable Mention, 大同大学キャリアセンター「大同大生が学ぶ情報伝達スキル」パンフレット, 2023 年 1 月.

## 特許

- (1) 前田安郭, 山下亜由美: 砂型造型可視化装置, 特許第 7290251 号, 2019 年 11 月 12 日.
- (2) 諏訪多聞, 風間正喜, 畠中耕平, 前田安郭: 液体シミュレーション装置、液体シミュレーション方法および液体シミュレーションプログラム, 特許第 7276768 号, 2019 年 7 月 8 日.
- (3) 諏訪多聞, 風間正喜, 畠中耕平, 前田安郭: 情報処理装置、粒子シミュレータシステム、及び粒子シミュレータ方法 特許第 7246636 号, 2019 年 5 月 27 日.
- (4) 前田安郭, 坂井雄治, 平野春好, 坂崎功秀, 石川義信, 曾根孝明: 鋳造方案設計支援装置および鋳造方案設計支援プログラム, 特許第 7199059 号, 2019 年 2 月 6 日.

- (5) 前田安郭, 坂井雄治, 平野春好, 坂崎功秀, 石川義信, 曾根孝明: 鋳物、鋳型、および鋳造方法, 特許第 7199058 号, 2019 年 2 月 6 日.
- (6) 林秀行, 大嶋和彦: 減速機, 特許第 7182309 号, 2022 年 11 月 24 日.
- (7) 溝口正信: リモートコントロール用受信機、送信機及びリモートコントロール用送受信システム, 特許第 7258334 号, 2018 年 12 月 14 日.
- (8) 加納善明, 佐藤浩介, 袴田眞一郎: 筒型リニアモータ, 特許第 7228179 号, 2018 年 10 月 19 日.
- (9) 加納善明, 佐藤浩介, 袴田眞一郎, 芝原大智: 筒型リニアモータ, 特許第 7240569 号, 2018 年 10 月 19 日.
- (10) 加納善明, 佐藤浩介, 袴田眞一郎: 筒型リニアモータおよび円環状磁石の製造方法, 特許第 7186956 号, 2018 年 4 月 17 日.
- (11) 加納善明, 藪見崇生: 永久磁石回転子および回転電気機械, 特許第 7177442 号, 2019 年 6 月 13 日.
- (12) 加納善明, 藪見崇生: 永久磁石回転子および回転電気機械, 特許第 7173480 号, 2018 年 4 月 17 日.
- (13) 萩原伸幸, 藤代悠吾: テンセグリティ構造を有する構造体、建築部材および建築物, 特許第 7266868 号, 2019 年 8 月 29 日.

## 大規模プロジェクト

- (1) 萩野将広: 日本鉄鋼協会, 研究会 I, 炭素鋼における切削現象の系統的再解明, 幹事, 2022~.
- (2) 桐山岳寛: 2023 年度全国高校生ポスターコンクール, 作品募集・展示会・表彰式の実施計画・広報物制作・運営, 2023 年 9 月.
- (3) 中村裕哲: 民事判決のオープンデータ化検討プロジェクトチーム, 民事判決データベース化事業の在り方に関するワーキング・グループ, 構成員, 2020~.

## 科研費採択

- (1) 坪井涼: 23K03680, 基盤研究 (C), SLD 着氷における液滴の衝突・飛散メカニズムの解明およびモデル開発, 2023.
- (2) 宮本潤示, 坪井涼: 23K03650, 基盤研究 (C), 鋼のプラズマ窒化を用いたヘテロ構造表面の創出によるトライボロジー特性の向上, 2023.
- (3) 大澤文明: 23K03736, 基盤研究 (C), 可動子界磁巻線を有する平面アクチュエータの 6 自由度電流制御技術, 2023.
- (4) 森淳一, 森長 誠: 23K17778, 挑戦的研究(萌芽), 先端環境観測技術を応用した長期音響暴露反応に基づく動物の行動管理法の構築, 2023.
- (5) 宮寄靖大: 21K04243, 基盤研究(C), 腐食損傷した鋼橋部材の初期不整に関する変動性状予測法の開発, 2021~2023.
- (6) 財津亘, 柘植 寛: 23K11107, 基盤研究(C), デジタルフォレンジックスのための日本語著者識別システムに関する研究開発, 2023.
- (7) 西田昌史, 柘植 寛: 23K11165, 基盤研究(C), 発話スタイル指定型話者照合に関する研究, 2023.
- (8) 荻野正雄: 22H03605, 基盤研究(B), 電磁場・固体連成解析のハイケーパビリティ計算を実現する数値計算法, 2022~2026.
- (9) 武居周, 荻野正雄: 18KK0278, 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)), 異なる数値計算プラットフォームの相互的構築, 2018~2022.
- (10) 小西章典: 23K00386, 基盤研究(C), 大戦間期ロンドンのグラン・ギニョル演劇の文化的意義——〈恐怖〉と〈笑い〉の生成, 2023.

## 学外競争的研究資金獲得

- (1) 高田健: 公益財団法人日比科学技術新興財団, 研究開発助成、パラジウム-水素の異常発熱現象の再現性確立と現象解明, 2023.
- (2) 田中浩司: 公益財団法人天田財団, 一般研究開発助成「レーザプロセッシング」, Cu-酸化物混合融体のダイナミクスにもとづく電磁気特性の改質プロセッシング, 2023.
- (3) 西脇武志: 公益財団法人天田財団, 一般研究開発助成, 砂時計型試験片を用いたアルミニウム合金板の降伏関数の

パラメータの同定, 2023.

- (4) 坪井 涼: NEDO グリーンイノベーション基金事業/CO<sub>2</sub>等を用いた燃料製造技術開発プロジェクト, 研究開発項目 1- [1] 液体燃料収率の向上に係る技術開発, (テーマ名) 乗用車および重量車の合成燃料利用効率の向上とその背反事象の改善に関する技術開発, 自動車用内燃機関技術研究組合 (AICE) からの再委託, 2022~2023.
- (5) 宮本潤示: 公益財団法人イハラサイエンス中野記念財団, 2023 年度研究助成, 大気圧プラズマ窒化処理を用いたオーステナイト系ステンレス鋼の表面改質, 2023.
- (6) 吉田昌史: 公益財団法人スズキ財団 科学技術研究助成, 放電表面改質プロセスによるチタン表面への窒化アルミニウム皮膜の創製, 2023.
- (7) 武藤隆: 公益財団法人乃村文化財団, NCF 助成金事業, ノコギリ屋根工場跡の再編の試み, 2023.
- (8) 樋口恵一: 土木学会中部支部調査研究委員会, 都市再生のインフラ整備とソフト施策の同調化に関する調査研究委員会, 2022.
- (9) 加藤博和, 樋口恵一: 地域公共交通コーディネーター・プロデューサー養成プロジェクト, 国土交通省地域公共交通共創モデル実証プロジェクト, 2023.
- (10) 宮下剛, 小野潔, 宮寄靖大: 一般社団法人日本鉄鋼連盟, 2023 年度鋼構造研究・教育助成事業, 鋼桁ガセット部の耐荷力評価法とステンレス鋼の適用による腐食耐久性向上に関する研究, 2023.
- (11) 岸祐介, 宮寄靖大: 一般社団法人日本鉄鋼連盟, 2023 年度鋼構造研究・教育助成事業, SBHS500 を用いた鋼橋上部工の H 形断面圧縮部材の連成座屈強度評価法の改定に向けた研究, 2023.
- (12) 宮寄靖大, 岸祐介: 一般社団法人日本鉄鋼連盟, 2023 年度鋼構造研究・教育助成事業, SBHS 製 I 形断面部材に関する初期不整の変動が終局強度に及ぼす影響, 2023.
- (13) 宮島千代美: 公益財団法人日比科学技術振興財団, 研究開発助成 (一般課題), ドライバの視線・心拍特徴量を用いた飲酒運転検出手法の検討, 2023.

## その他

- (1) 前田安郭: 活性粘土分(メチレンブルー)に関する調査研究, (公社)日本鑄造工学会研究報告 130, 生型砂特性の把握と管理技術, 2022, pp.195-197, 2022 年 11 月.
- (2) 船橋幹人, 前田安郭: 生型砂試験片の作製方法の違いと生型砂特性, (公社)日本鑄造工学会研究報告 130, 生型砂特性の把握と管理技術, 2022, pp.183-194, 2022 年 11 月.
- (3) 前田安郭: 生型砂試験方法に関する調査研究, (公社)日本鑄造工学会研究報告 130, 生型砂特性の把握と管理技術, 2022, pp.171-173, 2022 年 11 月.
- (4) 前田安郭: ブロープロセスにおける生型砂/RCS と圧縮空気の相互作用, (公社)日本鑄造工学会研究報告 130, 生型砂特性の把握と管理技術, 2022, pp.70-82, 2022 年 11 月.
- (5) 前田安郭: ブローイング造型におけるニューラルネットワークの応用, (公社)日本鑄造工学会研究報告 130, 生型砂特性の把握と管理技術, 2022, pp.1-10, 2022 年 11 月.
- (6) 坪井涼: 特集・リファレンス オブ リファレンス -2023 年版-(2) 解析編 連成解析・CAE への導入, トライボロジスト, 68 巻, 2023, 8 号, pp.544-545.
- (7) 萩野将広: (一社)日本鉄鋼協会, 研究会 I, 炭素鋼における切削現象の系統的再解明, 奨学寄附金 650 千円, 2023.
- (8) 萩野将広: 青少年のための STEAM 教育を通じた SDGs 体験~3D プリンタ×鑄造技術~, イベント開催, 名古屋市立工業高等学校, 2023 年 8 月.
- (9) 萩野将広: (公財)永井科学技術財団, 科学技術育成教育助成金, 400 千円, 2023.
- (10) 萩野将広: (公財)永井科学技術財団, 大学院生国際会議発表支援助成金, 400 千円, 2022.
- (11) 田中淑晴: リニアモーション機器の Q&A<sup>⑬</sup>, ベアリング新聞 第 241 号 5 面, 2023 年 4 日 5 日.
- (12) 田中淑晴: リニアモーション機器の Q&A<sup>⑭</sup>, ベアリング新聞 第 243 号 5 面, 2023 年 5 日 5 日.
- (13) 田中淑晴: リニアモーション機器の Q&A<sup>⑮</sup>, ベアリング新聞 第 245 号 10 面, 2023 年 6 日 5 日.
- (14) 田中淑晴: リニアモーション機器の Q&A<sup>⑯</sup>, ベアリング新聞 第 247 号 10 面, 2023 年 7 日 5 日.
- (15) 田中淑晴: リニアモーション機器の Q&A<sup>⑰</sup>, ベアリング新聞 第 249 号 12 面, 2023 年 8 日 5 日.
- (16) 田中淑晴: リニアモーション機器の Q&A<sup>⑱</sup>, ベアリング新聞 第 251 号 10 面, 2023 年 9 日 5 日.
- (17) 田中淑晴: リニアモーション機器の Q&A<sup>⑲</sup>, ベアリング新聞 第 253 号 10 面, 2023 年 10 日 5 日.

- (18) 橋口宏衛：愛知県 あいちロボット産業クラスター推進協議会 無人飛行ロボットWG, 座長, 2015年4月～継続.
- (19) 橋口宏衛：豊川・新城市 東三河ドローン・リバー構想推進協議会, アドバイザー, 2021年4月～継続.
- (20) 橋口宏衛：愛知県 あいちモビリティイノベーションプロジェクト「空と道がつながる愛知モデル2030」, アドバイザリーボードメンバー, 2023年5月～継続.
- (21) 橋口宏衛：国土交通省 無人航空機等を活用した ラストワンマイル配送実証事業（名古屋鉄道・愛知県・アイサンテクノロジー）, アドバイザー, 2023.
- (22) 中島貴光：「世界劇場会議名古屋 フォーラム 2022」実行委員長, 大同大学 ゴビーホール, 2022年11月.
- (23) 武藤隆：長久手市ホテル等建築審議会委員・副会長, 2023.
- (24) 武藤隆：第18回公共建築賞中部地区審査員, 2023.
- (25) 船橋仁奈：令和5年度 長久手市景観審議会委員, 愛知県長久手市, 2023.
- (26) 船橋仁奈：令和5年度 第31回愛知まちなみ建築賞選考委員, 愛知県, 2023.
- (27) 船橋仁奈：令和5年度 愛知県建築士審査会委員, 愛知県, 2023.
- (28) 船橋仁奈：令和5年度 愛知県屋外広告物審議会委員, 愛知県, 2023.
- (29) 船橋仁奈／NI&Co. Architects 一級建築士事務所：DEFRAGMENTATION, 国際建築展「TIME SPACE EXISTENCE」, イタリア ヴェネチア, 2023年5月～11月.
- (30) 船橋仁奈／NI&Co. Architects 一級建築士事務所：DEFRAGMENTATION, ISBN 9789082943474 , European Cultural Centre, 2023年5月.
- (31) 棚橋秀行：地盤工学会中部支部・「地盤調査ボーリング見学会」を、セミナ部会長として中部土質試験協同組合と共同運営, 2023年4月.
- (32) 棚橋秀行：地盤工学会中部支部・「土質試験体験実習」を、セミナ部会長として中部土質試験協同組合と共同運営, 2023年6月.
- (33) 棚橋秀行：地盤工学会中部支部・地盤工学セミナ「実務・最近の話題に関するセミナー第1回」をセミナ部会長として企画・運営, 2023年7月.
- (34) 棚橋秀行：地盤工学会中部支部・地盤工学セミナ「実務・最近の話題に関するセミナー第2回」をセミナ部会長として企画・運営, 2023年10月.
- (35) 樋口恵一：講演タイトル「安全・安心で住みやよい地域づくりに向けて」, 知多建設協議会特別講演会, 2023年7月.
- (36) 樋口恵一：講演タイトル「身近な道路交通手段の近未来」, アスファルト舗装技術講習会, 2023年6月.
- (37) 颯田尚哉：一般財団法人角文・鈴木環境財団 令和3年度（第1回）助成, 芳樟（クスノキ科）の都市緑化木としての持続的利用可能性調査, 角文・鈴木環境財団 令和3年度（第1回）助成研究報告書, 2023.
- (38) 光田恵：排泄物（便・尿）のにおいケア-においの基礎知識と対策-特集にあたって, WOC Nursing, 医学出版, 第106号, pp.2-3, 2023年2月.
- (39) 光田恵：おむつ交換時のにおいの拡がりと対策, WOC Nursing, 医学出版, 第106号, pp.43-49, 2023年2月.
- (40) 宮島千代美：自動車技術会 2022年春季大会および秋季大会参加報告, IEEE ITS Society Nagoya Chapter 2022年第3回講演会, 2022年12月6日, オンライン開催.
- (41) 宮島千代美：自動車技術会アクティブセイフティ部門委員会, 幹事, 2019年4月～継続.
- (42) 宮島千代美：IEEE ITS Society Nagoya Chapter, Secretary, 2021年1月～2022年12月まで.
- (43) 宮島千代美：FAST-zero'23 実行委員会幹事, International Scientific Committee, 2022年9月～継続.
- (44) 萩野正雄：電磁場解析に対する PINNs 適用の初期検討, 日本計算工学会第9回機械学習の工学問題適用に関する研究会, 2022年12月, 東京.
- (45) 萩野正雄：【依頼講演】偏微分方程式ソルバとしての物理法則に基づくニューラルネットワーク PINN, スーパーコンピューティング技術産業応用協議会 第53回産応協セミナー, 2023年9月, オンライン開催.
- (46) 萩野正雄：【依頼講演】偏微分方程式ソルバとしての物理法則に基づくニューラルネットワーク PINN, 第5回インサイト・データサイエンスカンファレンス, 2023年9月, 東京.
- (47) 上岡和弘：愛知県産業振興課 愛知ブランド選定委員会委員長, 愛知ブランド申請企業の選定, 2021～.
- (48) 上岡和弘：愛知県産業振興課 愛知ブランドイノベーションアワード選定委員会委員長, コンテスト審査, 2022～.
- (49) 上岡和弘：名古屋市社会福祉協議会 広報アドバイザー, 広報戦略立案及び執行全般のアドバイザー, 2017～.
- (50) 岡田心：公益財団法人名古屋産業振興公社、名古屋市工業研究所主催ものづくりデザインプラットフォームワーク

ショップ「Cross Labo」にて講演, 2022 年 11 月、12 月、2023 年 1 月、2 月.

- (51) 岡田心: NIPPON MONODZUKURI DESIGN AWARD 2023 主催実行委員、審査員, 2023 年 4 月.
- (52) 岡田心: 名古屋市中小企業グリーン・イノベーション構築推進事業「中小企業グリーンイノベーション創出協議会協議委員, 2023 年 6 月~2024 年 3 月.
- (53) 竹川侑吾, 宮川幸太郎, 境谷慎吾, 横山弥生: 産学官連携デザイン展「Creative Collaboration」参加, 2023 年 2 月.
- (54) 舟橋慶祐, 若園康行: Nagoya Musubu Tech Lab デザインセミナー「伝統的な素材に挑戦し、新しい素材は丁寧に扱う」講演, 名古屋市工業研究所, 2023 年 3 月.
- (55) 桐山岳寛: 大同大学発行印刷物デザインプロデュース (情報デザイン学科生との企画・制作, 2022 年 12 月~2023 年 11 月.
  - ・大同大学学内報「Daido Campus」106 号表紙デザイン, 入試広報室、デザイン: 秋田詩織, 2022 年 12 月.
  - ・大同大学「資格講座案内 2023」表紙デザイン, キャリアセンター、デザイン: 齋藤ひかり, 2023 年 1 月.
  - ・大同大学「求人のための大学案内 2023」表紙デザイン, キャリアセンター、デザイン: 長谷川太一, 2023 年 1 月.
  - ・大同大学デザイン専攻リレー展示 vol.11 (X4 DESIGN) 展覧会告知フライヤー, 建築学科・情報デザイン学科、デザイン: 嶋田菜帆, 2023 年 1 月.
  - ・大同大学デザイン専攻リレー展示 vol.11 (X4 DESIGN)「サウンドアートコンサート」告知フライヤー, ポスター, 入場チケット, プログラムリーフレット, 情報デザイン学科, デザイン: 松原知里, 2023 年 2 月.
  - ・大同大学学内報「Daido Campus」107 号表紙デザイン, 入試広報室, デザイン: 齋藤ひかり, 2023 年 4 月.
  - ・大同大学オープンキャンパス用ペットボトルスリーブデザイン, 入試広報室, デザイン: 秋田詩織, 2023 年 5 月.
  - ・大同大学学部プロモーションフライヤーデザイン, 入試広報室, デザイン: 秋田詩織, 齋藤ひかり, 内山紗希), 2023 年 4 月.
  - ・大同大学「奨学金案内」フライヤーデザイン, 入試広報室, デザイン: 両星杏美, 2023 年 5 月.
  - ・大同大学「入学金減免」案内チラシデザイン, 入試広報室, デザイン: 今枝聖苗, 2023 年 5 月.
  - ・大同大学「2024 年入試試験募集要項」表紙デザイン, 入試広報室, デザイン: 宮川大輝, 2023 年 5 月.
  - ・大同大学・名古屋市南区「ものづくり体験講座」参加募集 フライヤー, 研究産学連携支援室・名古屋市南区、デザイン: 村瀬理紗, 2023 年 6 月.
  - ・大同大学学内報「Daido Campus」108 号表紙デザイン, 入試広報室、デザイン: 寛はる, 2023 年 7 月.
  - ・大同大学・名古屋市「なごや健康カレッジ」案内冊子デザイン, 研究産学連携支援室・名古屋市, デザイン: 今井拓実, 2023 年 7 月.
- (56) 桐山岳寛: 2022 年度 FD 講演会, 見やすい講義スライドや資料の作成, 大同大学教育開発・学習支援センター, 2023 年 3 月 6 日.
- (57) 桐山岳寛: 名古屋市保育情報提供サイト開発・運用保守業務委託における総合評価委員, 名古屋市, 2023 年 4 月~5 月.
- (58) 桐山岳寛: 大同大学・名古屋市南区, ものづくり体験講座, 2023 年 8 月 23 日.
- (59) 藤井浩明他, 法政大学大原社会問題研究所: 2023 年版日本労働年鑑第 93 集, pp.218-223, 旬報社, 2023.
- (60) 中村裕哲: 法務省民事判決情報データベース化検討会 (第 3 回会議) 有識者ヒアリング, 「民事判決情報の利活用の現状について」報告, [https://www.moj.go.jp/shingi1/shingi09900001\\_00006.html](https://www.moj.go.jp/shingi1/shingi09900001_00006.html), 2023 年 12 月, オンライン開催.
- (61) 岡康之: 第 4 回大同大学若手微分方程式セミナー世話人代表, 2023 年 8 月 29 日~2023 年 8 月 30 日.
- (62) 加藤聡一: 小学 5 年生—思春期を登りはじめる〈集团的自己〉の集団, 生活教育, 2022 年 12-01 月号 870 号 (74 巻 6 号) p.60, 2022 年 12 月.
- (63) 加藤聡一: 「enjoy!生活教育 いのちのカリキュラム編 中学 1 年生」, 生活教育, 2023 年 02-03 月号 871 号 (75 巻 1 号) pp.38-45, 2023 年 2 月.
- (64) 加藤聡一: 大蔵大根を食べて育てて、河原さんにつづいて生きる, 生活教育, 2023 年 08 -09 月号 874 号 (75 巻 4 号) p.60, 2023 年 8 月.

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル2階 学術著作権協会  
TEL: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.  
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA  
Phone: (978) 750-8400 FAX: (978) 750-4744

Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)  
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan  
TEL: 81-3-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc.  
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA  
Phone: (978) 750-8400 FAX: (978) 750-4744

---

大同大学紀要 第59巻

2024年3月 印刷

2024年3月 発行

編集兼発行者 大同大学  
研究・社会連携推進室

〒457-8530 名古屋市南区滝春町10-3

代表者 渡邊 慎一  
印刷所 (株) コームラ  
代表者 鴻村 健司

# BULLETIN OF DAIDO UNIVERSITY

---

Vol.59 March 2024

---

## CONTENTS

Nao Hidaka

- Mothers' Experiences and Subjectivity of Children with Developmental Disabilities:  
From Ms. A's Narrative ..... 1

Akinori KONISHI

- Christopher Holland's *The Old Women*: A Translation with Commentary ..... 11